

# (受観振7-2)

## 天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事（休憩施設等）

図面番号	図面名称	縮尺
A01	図面リスト	NON
A02	共通特記仕様書	NON
A03	建築工事特記仕様書 - 1	NON
A04	建築工事特記仕様書 - 2	NON
A05	建築工事特記仕様書 - 3	NON
A06	建築工事特記仕様書 - 4	NON
A07	建築工事特記仕様書 - 5	NON
A08	建築工事特記仕様書 - 6	NON
A09	建築工事特記仕様書 - 7	NON
A10	建築工事特記仕様書 - 8	NON
A11	仕上表	NON
A12	配置図・付近見取図	1/2500, 1/500
A13	建物求積図・平均GL検討図	1/100
A14	平面図・屋根伏図	1/100
A15	立面図・断面図	1/100
A16	断面詳細図	1/50
A17	平面詳細図	1/50
A18	天井伏図	1/50
A19	展開図1	1/50
A20	展開図2	1/50
A21	建具表	1/50
A22	部分詳細図1	1/10
A23	部分詳細図2	1/10
A24	部分詳細図3	1/10
A25	現況撤去図	1/500, 1/100

図面番号	図面名称	縮尺
A26	木質工事特記仕様書	NON
A27	木造軸組接合部標準図(1)	NON
A28	木造軸組接合部標準図(2)	NON
A29	木造軸組接合部標準図(3)	NON
A30	木造軸組接合部標準図(3A)	NON
A31	木造軸組接合部標準図(3B)	NON
A32	木造軸組接合部標準図(3C)	NON
A33	木造軸組接合部標準図(4)	NON
A34	木部 基礎伏図	1/50, 1/20
A35	木部 伏図	1/50
A36	木部 軸組図1	1/50
A37	木部 軸組図2	1/50
S01	構造特記仕様書	NON
S02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	NON
S03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	NON
S04	鉄骨工作標準図(1)	NON
S05	鉄骨工作標準図(2)	NON
S06	H形鋼継手標準図	NON
S07	プレース仕口標準図	NON
S08	ボーリング柱状図	NON
S09	伏図	1/100
S10	軸組図	1/100
S11	部材リスト、架構詳細図	1/40
S12	地盤改良 標準図	NON

図面番号	図面名称	縮尺
M01	機械設備工事特記仕様書 - 1	NON
M02	機械設備工事特記仕様書 - 2	NON
M03	機械設備 給排水計画 平面図	1/100
M04	機械設備 衛生・給排水 平面図	1/50
M05	浄化槽 配置・配管図	1/100, 1/20
M06	浄化槽 一次処理槽・消毒貯留槽図	1/50
M07	浄化槽 土壤浸潤槽図	1/50
M08	浄化槽 電気設備図	NON
M09	浄化槽 一次処理槽・消毒貯留槽 施工図	1/50
M10	浄化槽 土壤湿潤槽 施工図	1/50
E01	電気設備工事特記仕様書 - 1	NON
E02	電気設備工事特記仕様書 - 2	NON
E03	電気設備 引込 平面図	1/50
E04	電気設備 外灯 詳細図	1/50, 1/30
E05	電気設備 コンセント・電灯 平面図	1/50

工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No.	A-01
図面名	図面リスト	令和7年度	

宇治市役所建設部施設建築課

A 工事概要	m 官公庁その他への手続き	工事の施工に必要な官公庁その他への手続きは、受注者の責任において速やかに行うものとする。		
1 工事名称 (受觀振7-2) 天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	n 技術者及び現場代理人	なお、これに要する費用は受注者の負担とする。		
2 工事場所 宇治市宇治金井戸15番地の15	o 工事完了時の整地	受注者は、主任技術者及び監理技術者並びに現場代理人について、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者から選任し、配置しなければならない。		
3 工事期間 入札通知書による。	p 建設発生土の処分	受注者は工事完了時に、工事敷地内及び車両通行部分は、必要に応じ砂を搬入し、整地を行う。既設コンクリート舗装、アスファルト舗装等の損傷箇所については、原状復旧する。		
4 規模構造 鉄骨造平屋建て	q 解体等工事の事前調査	・建設発生土を搬出する場合は「残土処理計画書(報告書)」を提出する。同計画書には処理場所の位置図及び経路図、受入承諾書を添付する。同報告書には処分したことが判明する資料(受入証明書)及び写真等を添付する。 ・その他の建設発生土の取扱いについては、現場説明書による。		
5 建築面積 82.36m <sup>2</sup>	2 発生材等処分	・受注者は、改正大気汚染防止法第18条の15第1項・第4項に基づき、改修工事対象となる全ての部材について、特定建築材料の使用の有無について調査し、その結果を発注者に説明する。 また、第18条の15第3項・第4項に基づき、事前調査結果の記録を作成し、保存しなければならない。		
6 延床面積 81.23m <sup>2</sup>	工事に伴う撤去材	調査方法は、分析による調査、目視、設計図書等による。		
7 工事範囲 休憩施設等新築に伴う建築工事 一式 浄化槽新設工事 一式 既存浄化槽撤去工事 一式 上記に伴う電気設備工事 一式 上記に伴う機械設備工事 一式 上記に伴う撤去・処分 一式	・撤去材・発生材は、場外搬出し関係法令を遵守し処理するものとし、「廃棄物処理計画書(報告書)」を適時提出する。同計画書には、当該廃棄物の処分業の許可証の写し、受注者と処分業者の契約書の写しに加えて、処分地の位置図及び経路図を添付する。また廃棄物を委託して運搬する場合は、該当する収集運搬業の許可証(搬出地と搬入地)の写しと受注者と運搬業者との契約書の写しを添付する。同報告書には処分したことが判明する資料として、運搬管理表(又はマニフェストの写し)及び写真等を添付する。 ・本工事の施工により発生するアスファルト塊、コンクリート塊及び木材は再資源化施設に搬出する。 ・その他の建築副産物の取扱いについては、現場説明書による。 ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」による産業廃棄物の収集運搬車に係る表示及び書面添え付けを行う。 ・工事完了時に産業廃棄物の収集運搬車両への表示状況が確認できる写真を提出する。			
B 特記仕様書	産業廃棄物税	「京都府産業廃棄物税条例」に基づき導入される産業廃棄物税(以下「産廃税」という)は京都府内の最終処分施設に搬入される産業廃棄物について課税されるものである。また、中間処理施設に搬入された産業廃棄物においてもリサイクル後の処理残渣(ゼンサイ)等が最終処分場に搬入される場合は、最終処分場に搬入される量に対して課税される。 なお、本工事においても、産廃税相当額を見込んでいる。(産廃税も本工事に含む)		
1 共通事項 a 施工基準 本工事は契約書及び質疑回答書、現場説明書、特記仕様書、設計図、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・機械設備工事編・電気設備工事編)及び公共建築工事標準仕様書(建築工事編・機械設備工事編・電気設備工事編)(国土交通省大臣官房官房営繕部監修令和4年版)により施工する。なお、設計図書間に相違がある場合の優先順位は上記記載の順とする。	3 仮設工事	現場説明書による。 工事用電力設備の保安責任者を定め報告する。当該施設に電気主任技術者が専任されている場合はその指示を仰ぐ。持込電動機器は整備された機器以外は持込させてはならない。また、仮設分電盤内に漏電遮断器を取り付け事故の防止に努める。		
b 監理基準 本工事は建築改修工事監理指針及び建築・機械設備・電気設備・各工事監理指針(国土交通省大臣官房官房営繕部監修令和4年版)により監理する。	工事電力・工事用水	現場説明書による。		
c 提出書類等 契約書及び設計図書に定められた提出書類等を監督職員の指示により、定められた期日までに提出する。受注者は、下請契約を締結する場合には、下請金額に間わらず、施工体制台帳を提出する。また、施工体系図においては、すべての下請負人及び監督業者を記載する。 なお、施工体制台帳には監督職員が指示する書類を添付して提出する。	工事用電力設備	施工範囲・資材置場等に対する侵入防止策を講じる。(フェンスバリケード(シート貼り共)等) 詳細については仮設計図面による。		
d 建設業退職金共済制度 受注者は建設業退職金共済制度(建退共)に加入の上、掛金収納書を提出する。工事現場には「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場標識」を掲示し、工事完成時には「建退共運営実績報告書」、「労働者の就労日報」及び「共済証紙受払簿」を提出する。また、下請負人に対しても同共済制度加入を奨励する。	の保安責任者	足場等は、労働安全衛生法・建築基準法・建設工事公衆災害防止対策要綱その他の関係法令に従い適切な材料および構造のものとし、適切な保守管理を行う。高所作業車使用時含む。また、仮設計画を作成し監督職員と協議を行う。		
e 工事実績情報 受注者は、着工時、変更時及び完成時の各時点において、あらかじめ登録内容について監督職員の確認を受けた上で、それぞれ1日以内に(一財)日本建築情報総合センターへ工事実績情報サービス入力システム(CO R I N S)の登録申請を行う。	設置・維持管理	近接する他の部材や工作物の部分を損傷しないようにメッシュシート又は工事用シート等で養生を行う。外部足場については、手摺先行型枠組本足場(W=900以上)とする。足場の設置に関しては、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省 平成15年4月制定・平成21年6月1日改正)」に基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと幅木の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場型とするか、または改善措置機材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保する。また、外部足場には昇降足場を設置する。		
f 建設工事保険等 受注者は、工事目的物・工事材料等を建設工事保険等(第三者保険を含み、火災による損害が見込まれる場合は火災保険を含む)に付し、その保険証書の写し又はこれに代わるものと提出する。なお、その保険の加入期間は、工事着工の時から、工事完成期日後14日迄とする。	内外足場・養生等	受注者は、労働安全衛生法施行令、労働安全衛生規則等の改正(平成31年2月)に伴い、高所作業を行なう場合には、「墜落防止用器具の安全な使用に関するガイドライン」に基づき、墜落、転落による労働災害の防止に努める。		
g 労災補償に必要な法定外の保険契約について 受注者は、「公共工事の品質確保の促進に関する法律の一部を改正する法律」(令和元年法律第35号)に基づき、公共工事等に從事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険(法定外の労災保険)に付する。	4 その他	「学校環境衛生基準」により、工事着工前及び工事完成時に於いて、該居室における空間のホルムアルデヒド・トルエン・キシリソ・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレンの濃度を測定し分析結果を監督職員に提出する(検査方法・判定基準とも「学校環境衛生基準」(平成21年4月1日施行)による)。		
h 工事写真・完成写真 工事写真撮影ガイドブック(国土交通省大臣官房官房営繕部監修令和5年版)を参考に、着工前・工事中の各段階の工程の内容が充分把握できるよう撮影する。工事完成時には、完成写真を撮影し、着工前・工事中と共に工事用アルバムに整理の上1部提出する(データ共)。	-ホルムアルデヒド等の-放散量測定について	分析機関・測定器具については、国土交通省住宅局「ホルムアルデヒド、トルエン、パラジクロロベンゼン、キシリソ、エチルベンゼン及びスチレン用バッジ採取機器(サンプラー)一覧表(学校用)」による。(平成21年4月1日改訂版)		
i 不正軽油使用防止の徹底 受注者は建設機械等の燃料としての軽油はJIS規格軽油以外のものを使用してはならない。	電気・機械設備工事	測定場所: 管所 工事着工に際し、事前に必要な機器(照明機器、放送設備、空調機器、受信設備等)器具の機能確認を行い、その結果を書面にて監督職員に報告する。		
j 一般事項 また、下請負人等に対しても不正軽油使用防止の指導・監視を徹底する。受注者は、京都府税務調査員による燃料検査に協力しなければならない。	5 完成図書	完成に際しては以下の図書を提出する。		
k その他	名称	内容	サイズ	部数
l 過積載防止 受注者は本工事における材料等の搬出入に伴う、工事車両の過積載防止について、十分注意を払うと共に、下請負人への指導を徹底する。	完成図(背張り製本)	特記仕様書・完成図・施工図	A2版	2部
	完成図書	機器完成図・機器保証書・取扱説明書・各種試験成績書・諸官庁提出書類(写)	A4版	2部
	諸官庁提出書類	副本		一式
	完成図データ	CADデータ(ファイル形式は任意とするが、JWW形式で出力したもの添付する)、PDF	C D-R	1部

工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No.	A-02
図面名	共通特記仕様書	令和7年度	

宇治市役所建設部施設建築課

# 建築工事特記仕様書

【1】工事概要																																									
1. 工事場所 宇治市宇治金戸																																									
2. 敷地面積 _____ m <sup>2</sup>																																									
3. 建築物概要																																									
<table border="1"> <tr> <td>棟名</td><td>構造</td><td>階数</td><td>建築面積(m<sup>2</sup>)</td><td>延べ面積(m<sup>2</sup>)</td><td>備考</td></tr> <tr> <td>便所</td><td>鉄骨造</td><td>1階</td><td>82.36</td><td>81.23</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>						棟名	構造	階数	建築面積(m <sup>2</sup> )	延べ面積(m <sup>2</sup> )	備考	便所	鉄骨造	1階	82.36	81.23																									
棟名	構造	階数	建築面積(m <sup>2</sup> )	延べ面積(m <sup>2</sup> )	備考																																				
便所	鉄骨造	1階	82.36	81.23																																					
4. その他																																									
【2】適用範囲																																									
<p>現場説明書(質疑回答書を含む)、本特記仕様書、図面、標準仕様書に示す範囲とする。</p> <p>すべての設計図書は相互に補完するものとし、相違がある場合は、上記の順番を優先順位とする。</p> <p>上記の標準仕様書とは、国土交通省大臣官房官房営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)をいう。(以下、これを「標仕」という。)</p> <p>本書に特に記載のない事項にあっても、すべて、「標仕」の適用を受けるものとする。</p>																																									
【3】工事区分																																									
<p>設計図書による。</p> <p>別契約の施工上密接に関連する工事との取扱い部分が発生する場合は、別紙工事区分表による。</p>																																									
【4】工事仕様																																									
<p>1. 設計図書による。設計図書に記載されていない事項は、「標仕」のほか別記の適用基準による。</p> <p>2. 項目は、番号に印の付いたものを適用する。</p> <p>3. 特記事項は、印の付いたものを適用する。印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。</p> <p>印と印の付いた場合は、共に適用する。印が抹消された場合は、印のみ適用する。</p> <p>4. 項目及び特記事項に記載の( )内表示番号は「標仕」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>																																									

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	
1	特別な材料の工法	設計図書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。	14	発生材の処理等(アスベスト成形板)	処理を行う範囲 施工調査	図示(仕上げ表による)床・壁・天井毎に種別を確認 全ての室 アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査次の事項について行う。調査結果は図面により記録し監督職員に提出する。 (1) アスベスト成形板使用部位の確認 記載上の成形板及びその使用範囲以外についても監督職員と協議の上確認を行うこと。 (2) アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認 (3) アスベスト成形板使用量の確認 (4) 施工範囲等の確認	2	監督職員事務所(2.3.1)	規模 10m <sup>2</sup> 程度 20m <sup>2</sup> 程度 35m <sup>2</sup> 程度 65m <sup>2</sup> 程度 100m <sup>2</sup> 程度 仕上 床 合板張り素地 ピン床下敷き ハンガーベット敷き 内壁、天井 合板又はセッコウボード張り、合成樹脂パネル、イット塗り 屋根 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り 鋼板張り調合、イット塗り 休憩室 設けない 設ける(墨敷き)
一般共通事項	風圧力及び積雪に対する性能(8.4.3、8.5.3)(10.5.3)(13.2.3~13.4.3)	建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分等 風速(Vo) 3.2 (平成12年5月31日建設省告示第1464号) 地表面粗度区分 多雪地域の指定 なし あり	1	一般共通事項	確認方法 処理方法	成形板の製造年等の確認 X線解析法 「非飛散性アスベスト棄物の取扱いに関する技術指針」に従い、あらかじめ処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。	2	仮設工事	備品 机 いす 保護帽 ゴム長靴 雨がっぽ 衣類ロッカー(上記6品、人程度) 書棚 黒板 製図板 掛時計 溫度計 消火器 掃除具 懐中電灯 湯沸器 加入電話機 冷暖房機器 コピー機 ネット回線 流し台 標準(令和4年版) 建築工事監理指針(令和4年版) 建築工事施工チェックシート 建築工事標準詳細図(令和4年改定) 工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)
1	現場代理人	本工事の施工にあたっては、工事請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監理技術者と同様、受注者と直接かつ恒常的な雇用関係のある者を選任しなければならない。	15	技能士(1.5.2)	工事種別 仮設工事 鉄筋工事 コンクリート工事 鉄骨工事 ワッカ&ALCN'工事 カーテンウォール工事 防水工事 石工事 タイル工事 木工事 屋根及びとい工事 金属工事 左官工事 塗装工事 建具工事 内装工事 排水工事 舗装工事 植栽工事	適用する技能士の技能検定における選択作業 とび作業 鉄筋組立作業 左官作業 型枠工事作業 コンクリート压送工事作業 構造物鉄工事作業 ワッカ&ALCN'工事作業 金属製カーテンウォール施工業 ガス工事作業 アクリル系防水工事作業 シリカ系防水工事作業 セメント系防水工事作業 FRP防水工事作業 合成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 改質アクリル系シート防水工事作業 石張り作業 タイル張り作業 大工工事作業 家具手加工業 内外装板金作業 かわらぶき作業 スレート工事作業 鋼製下地工事作業 内外装板金作業 左官作業 建築塗装作業 ビル用カッティング作業(木下地) ガラス工事作業 自動ドア施工業 内装工事 プラスチック系床仕上工事作業 ポード仕上工事作業 カベット系床仕上工事作業 壁作業 建築配管作業 溶接&ワイヤードマーカ工事作業 加熱&イットマジック工事作業 造園工事作業	2	工事用水	構内既存の施設 利用できない 利用できる(有償 無償)
1	工事実績情報の登録(1.1.4)	適用する(適用事項は、現場説明書による)	3	土工事	埋め戻し及び盛土(3.2.3)	A種 砂質土(山砂の類)を水締め又は機器による締固め B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め その他(材料) 工法 建設発生土(盛土)の外部からの受入土量(m <sup>3</sup> ) 発生場所( )	3	工事用水	構内既存の施設 利用できない 利用できる(有償 無償)
1	設備工事との取扱い	図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強 図示した壁、天井の土材、下地材の切込み及び下地材の補強 駆動装置が電動による器具類の二次配線及び操作スイッチ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強	16	化学物質の濃度測定(1.5.9)	適用する(適用事項は、現場説明書による)	下記に定めるほかは、現場説明書による 構外指示の受入場所に処分 受入場所(一財)城陽山砂利採取地整備公社 土壤調査 行う(受入場所指定の検査) 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 施行規則第7条第3項1号及び第4項に規定する方法	3	仮設工事	5 仮囲い等 設計G.L 図示による
1	施工図等の取扱い(1.2.3)	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲される。	17	完成図(1.7.2)	適用する(提出部数2部) 詳細は監督職員の指示による。 完成図等の電子データによる提出については、現場説明書による。	4	基礎種別(4.2.2)~(4.5.8)	杭基礎 構造図による 杭の種別、本数等 構造図による 工法 構造図による 試験杭 行う(構造図による) 支持層の位置及び土質 構造図による 杭の支持地盤への掘削深さ 構造図による 杭継手 アクセス 無接続接頭(工法 ) 杭の水平方向位置ずれ精度 構造図による 杭の載荷試験 行う(構造図による) 継続溶接部試験 行う(浸透探傷試験 本) 直接基礎 載荷試験 行う(下記以外は構造図による)	
1	工事写真(1.2.4)	工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(最新版)(国土交通省大臣官房官房営繕部監修)によるほかは監督職員の指示による。 下記のものを監督職員に提出する。	18	保全に関する資料(1.7.3)	作成する(提出部数2部) 詳細は監督職員の指示による。 作成する(提出部数2部) 詳細は監督職員の指示による。 敷地、建物の構造規格、主要な設備構成等の建物概要 建物の主要な構造部及び外構についての説明 建物を使用する上での注意事項 建物に設置されている家具、機器等及び部位毎の仕上げの概要説明 建物、工作物、植栽等を管理する上での保全業務の要点 建物等の清掃の要点 主要材料の製造所名、所在地、連絡先、非常時の連絡体制一覧表 建設大臣官房官房営繕部監修「管理者のための建築物保全の手引き」建築保全業務共通仕様書を参考として作成すること。	4	地盤工事	2 地盤の載荷試験(4.2.4) 3 既製コンクリート杭地盤(4.3.1)~(4.3.5) 4 鋼杭地盤(4.4.3) 5 場所打ち(4.5.1)~(4.5.6)	4 基礎種別(4.2.2)~(4.5.8) 杭基礎 構造図による 杭の種別、本数等 構造図による 工法 構造図による 試験杭 行う(構造図による) 支持層の位置及び土質 構造図による 杭の支持地盤への掘削深さ 構造図による 杭継手 アクセス 無接続接頭(工法 ) 杭の水平方向位置ずれ精度 構造図による 杭の載荷試験 行う(構造図による) 継続溶接部試験 行う(浸透探傷試験 本) 直接基礎 載荷試験 行う(下記以外は構造図による) 2 地盤の載荷試験(4.2.4) 3 既製コンクリート杭地盤(4.3.1)~(4.3.5) 4 鋼杭地盤(4.4.3) 5 場所打ち(4.5.1)~(4.5.6)
1	11 電気保安技術者(1.3.3)	適用する	19	足場等(2.2.4)	足場は、「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省基準第0424001号)」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づき「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中柱及び橋脚の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり置換方式又は(3)手すり先行専用足場方式を採用すること。屋根工事及び小屋組の建方工事における墜落事故防止対策は、JIS A 8971(屋根工事用足場及び施工方法)の施工標準に基づく足場及び装備機材を設置すること。	5	工事	工事名 天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等) 図番	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等) 図名 建築工事特記仕様書1 A-03
1	施工条件(1.3.5)	現場説明書による	20						
1	発生材の処理等(1.3.11)	引渡しを要するもの(工事現場において再利用を図るもの、再生資源化を図るもの) 指定副産物の搬出(詳細は現場説明書による) アスファルトコンクリート塊 セメントコンクリート塊 建設発生木材 指定副産物の処分地(詳細は現場説明書による) 指定地処分 自由処分(最寄りの再資源化施設へ搬出すること) 指定副産物以外の搬出 構外搬出適切処理 特別管理産業廃棄物の処理 再生資源利用[促進]計画書、実施書の提出 詳細は現場説明書による 産業廃棄物管理票(マニフェスト)制度により、適正な処理を行うこと。 産業廃棄物の処理を委託する場合は、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と処理委託料を記載した「処理委託契約書」により委託契約すること。	21						
1			22						
1			23						
1			24						
1			25						
1			26						
1			27						
1			28						
1			29						
1			30						
1			31						
1			32						
1			33						
1			34						
1			35						
1			36						
1			37						
1			38						
1			39						
1			40						
1			41						
1			42						
1			43						
1			44						
1			45						
1			46						
1			47						
1			48						
1			49						
1			50						
1			51						
1			52						
1			53						
1			54						
1			55						
1			56						
1			57		</td				

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項			
地 業 工 事	4	砂利及び砂地業 (4.6.2) (4.6.3)	厚さ (mm) 材料 砂利 砂	図示による 再生クラッシャン 山砂 川砂 碎砂	60	切込砂利	切込碎石	コンクリート工事	6	コンクリートの種類 (6.2.1)	種類 普通コンクリート 類別 類 類	_____	(表6.2.1)	6	コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5)	フレッシュコンクリートの試験 省略する	7	工作図 (7.3.2)	高力ポルト、普通ポルトのゲーブ、ピザ、ハリキ等 図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)				
		捨てコンクリート地業 (4.6.4)	厚さ (mm)	図示による	50				6	コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1)	設計基準強度 (F c) 打設部位 F c (N/mm²) 構造体 基礎 上部 土間コンクリート 捨てコンクリート 軽量コンクリート 無筋コンクリート	スランプ (cm) 1.5 1.8 1.5 1.8 1.5 1.8 2.1 1.5 1.8	備考 土間スラブを含む 側溝・穴走り 標仕6.14.1による	11 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3)	常時土又は水に直接接する部分の使用 種類 1種 2種	可 不可	11 仮組 (7.3.10)	実施する 部位 (実施しない)					
		床下防湿層 (4.6.5)	ポリエチレンフィルム	厚さ 0.15mm	重ね幅縫及び基礎梁際のみ込み 250mm以上	施工範囲 図示による			6	気乾單位容積質量 t/m³			12 寒中コンクリート (6.11.1)	予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節 (寒中コンクリート)による。		溶接作業者における技能資格者 (7.6.3)	溶接作業者の技量付加試験 行わない						
		9 土間断熱材	押出法ポリスチレンフォーム 3種 bのスキン層付き			厚さ 2.5mm			6	構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 { F c + 構造体强度補正値 (S) } N/mm² (6.14.1)によるもの及び土間コンクリートは構造体强度補正は行わない)			13 暑中コンクリート (6.12.2)	暑中における構造体强度補正値 (S) 地域 日平均気温が25度を超える期間 (打設日) 补正値		13 鉄骨工事 (7.6.7)	溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)	開先の形状 図示による					
		地盤改良	現場生土を再利用する。 改良方法 混式柱状改良工法						6	セメントの類別 (6.3.1)	普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントのB種 (適用箇所 _____ ) シリカセメント フライアッシュセメントのB種 (適用箇所 _____ )		14 マスコンクリート (6.13.1) (6.13.2)	施工箇所 セメントの種類 中庸熟ポルトランドセメント シリカセメント 低熟ポルトランドセメント 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 普通ポルトランドセメント AE減水剤又は高性能AE減水剤 (JIS A 6204)		14 鉄骨工事 (7.6.12)	溶接部の試験 (7.6.12)	完全溶接溶接部の超音波探傷試験 行う 行わない					
			セメント及びセメント系固化材を使用した改良土を使用する場合、六価クロム溶出試験を実施し、土壤環境基準を勘案して必要に応じ適切な措置を講じること。また、再利用しようとする場合は、基準以下であることを確認すること。 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」((一財)日本建築センター)を参考すること。						6	セメント及びセメント系固化材を使用した改良土を使用する場合、六価クロム溶出試験を実施し、土壤環境基準を勘案して必要に応じ適切な措置を講じること。また、再利用しようとする場合は、基準以下であることを確認すること。 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」((一財)日本建築センター)を参考すること。			15 無筋コンクリート (6.14.1)	混和材料 混和剤 AE減水剤又は高性能AE減水剤 (JIS A 6204) フライアッシュの種 (JIS A 6201) 高炉スラグ微粉末の3000若しくは4000 (JIS A 6206)		15 耐火被覆 (7.9.2) ~ (7.9.7)	耐火被覆 種別 種別 材料・工法 適用箇所 (部位・部分)	H12建設省告示第1464号第二号に関する外観試験方法等 「突合せ継手の食い違い仕口のすれの検査・補強ニコア(独立行政法人建築研究所)」3.5.2による受入検査 抜き取り検査 JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付則3「溶接」に関する試験方法等 JASS 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1から5までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取り箇所は、超音波深傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による修復を行い、再試験する。					
	5	鉄筋工事	鉄筋の種類等 (5.2.1)	異形鉄筋	種類の記号 SD 2 9 5 SD 3 4 5	径 (mm) D 1 6 以下 D 1 9 以上	備考 一般建築物の柱・梁の主筋に適用する		6	骨材 (6.3.1)	粗骨材 砂利 (JIS A5308), 破碎 (JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 再生骨材H 細骨材 砂 (JIS A5308), 破砂 (JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 銅スラグ フロッカスラグ 再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 A (無害)		16 鉄骨の製作工場 (7.1.3)	建築基準法第6条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場 又は同等以上の能力のある工場 (S H M O R J )グレード以上)		16 鉄骨工事 (7.9.2) ~ (7.9.7)	耐火被覆 種別 耐火材吹付け 耐火材張り 耐火材巻付け △張り止め塗り 耐火塗料	耐火材吹付け 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール 織混入ケイ酸カルシウム板 高強度ロックウール △張り止め塗り 耐火塗料	材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする				
		溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 100×100			鉄線の径 6 mm			6	混和材料 (6.3.1)	混和剤 AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の種 (JIS A 6204) 防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025) 混和材 フライアッシュ (JIS A 6201) 種、種若しくは種 コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) コンクリート用シリカフォーム (JIS A 6207) コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)		17 施工管理技術者 (7.1.4)	監督職員の承諾する工場 (標準仕様書7.1.1以外の適用範囲に限る)		17 鉄骨工事 (7.9.2) ~ (7.9.7)	施工管理技術者 (7.1.4)	適用する	性能 性能 30分耐火 1時間耐火 2時間耐火 3時間耐火				
		鉄筋の継手及び定着 (5.3.4) (5.5.3) (5.6.3)	部位 接合方法 径 (mm)	柱・梁の主筋 機械式継手	重ね継手 機械式継手	D 1 9 以上	標仕表5.3.2による 溶接継手		6	構造体强度補正値 (6.3.2)	重ね継手の長さ 標仕表5.3.2による 溶接継手		18 鋼材 (7.2.1)	鋼材 形状及び寸法 図示による		18 鉄骨工事 (7.9.2) ~ (7.9.7)	鋼材 (7.2.1)	適用する	性能 性能 30分耐火 1時間耐火 2時間耐火 3時間耐火				
		鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (5.3.5)	鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ 構造図による 表5.3.6による (次の2項目のかぶり厚さを除く)						6	打継ぎ (6.6.4)	位置 構造図による 標仕6.6.4(1)による 目地の寸法 図示による		19 高力ボルト (7.2.2) (7.4.2)	ボルトの区分 トルシア形高力ボルト JIS S形高力ボルト ねじの呼び すべり係数試験 行わない 行う 試験方法等 図示による		19 鉄骨工事 (7.9.2) ~ (7.9.7)	高力ボルト (7.2.2) (7.4.2)	ボルトの区分 トルシア形高力ボルト JIS S形高力ボルト ねじの呼び すべり係数試験 行わない 行う 試験方法等 図示による	性能 性能 30分耐火 1時間耐火 2時間耐火 3時間耐火				
			溶接継手						6	型枠 (せき板) (6.2.5) (6.8.1) (6.8.2)	合板の規格 「合板の日本農林規格」の「コンクリート型枠用合板の規格」による合板 合板の材種 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 厚さ (mm) 1.2		20 溶接アーチ (7.2.4) (7.3.2) (7.10.3)	溶接アーチの形状及び寸法 標準仕様書7.2.4(1)(2)による 溶接アーチの材料 標準仕様書7.2.5(1)(2)による 溶接アーチの表面処理 プラスト処理 (表面粗度 5.0 μmRz以上) リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 すべり耐力試験 試験方法等 図示による		20 鉄骨工事 (7.9.2) ~ (7.9.7)	溶接アーチ (7.2.4) (7.3.2) (7.10.3)	溶接アーチの形状及び寸法 標準仕様書7.2.4(1)(2)による 溶接アーチの材料 標準仕様書7.2.5(1)(2)による 溶接アーチの表面処理 プラスト処理 (表面粗度 5.0 μmRz以上) リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 すべり耐力試験 試験方法等 図示による	性能 性能 30分耐火 1時間耐火 2時間耐火 3時間耐火				
		ガス圧接継手 (5.4.10)	試験方法 超音波探傷試験 引張試験 試験方法等				標仕 5.4.10(f)(b) ~ による		6	スリーブ (6.8.2)	コンクリートの仕上がりの平たんさ 種別 適用箇所		21 普通ボルト (7.2.3) (7.3.8)	ねじの呼び 呼び径 +1.0mm		21 鉄骨工事 (7.9.2) ~ (7.9.7)	普通ボルト (7.2.3) (7.3.8)	ねじの呼び 母屋又は胴眼の取付けに使用する普通ボルトの孔径 呼び径 +1.0mm	性能 性能 30分耐火 1時間耐火 2時間耐火 3時間耐火				
									6		外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法	図示による 2.0 mm 図示による	22 溶接材料 (7.2.5)	溶接材料 標準仕様書7.2.5(1)(2)による 溶接アーチの表面処理 プラスト処理 (表面粗度 5.0 μmRz以上) リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 すべり耐力試験 試験方法等 図示による		22 鉄骨工事 (7.9.2) ~ (7.9.7)	溶接材料 (7.2.5)	溶接アーチの表面処理 プラスト処理 (表面粗度 5.0 μmRz以上) リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 すべり耐力試験 試験方法等 国示による	性能 性能 30分耐火 1時間耐火 2時間耐火 3時間耐火				
									6		スリーブの材種 (6.8.1)		23 ターンバックル (7.2.6)	胴の種類 割栓式 ボルトの種類 羽子板ボルト ねじの呼び ねじの呼び		23 鉄骨工事 (7.9.2) ~ (7.9.7)	ターンバックル (7.2.6)	胴の種類 割栓式 ボルトの種類 羽子板ボルト ねじの呼び ねじの呼び	性能 性能 30分耐火 1時間耐火 2時間耐火 3時間耐火				
									6		上記以外の円形スリーブ	溶接アーチの表面処理 プラスト処理 (表面粗度 5.0 μmRz以上) リン酸塩処理 すべり耐力等の確認方法 すべり耐力試験 試験方法等 国示による		24 デッキプレート (7.2.7)(7.8)	材質、形状及び寸法 デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法		24 鉄骨工事 (7.9.2) ~ (7.9.7)	デッキプレート (7.2.7)(7.8)	材質、形状及び寸法 デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法	性能 性能 30分耐火 1時間耐火 2時間耐火 3時間耐火			
									6						25 柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3)	モルタルの種別 無収縮モルタル 材料・調合等 標示 7.2.9 (2)(7)から(I)による 厚さ 国示による 工法 A種 B種		25 鉄骨工事 (7.9.2) ~ (7.9.7)	柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3)	モルタルの種別 無収縮モルタル 材料・調合等 標示 7.2.9 (2)(7)から(I)による 厚さ 国示による 工法 A種 B種	柱底均しモルタルの厚さ 5.0 mm 3.0 mm		
									6						26 天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事 (休憩施設等)	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事 (休憩施設等)	図番						
									6						27 建築工事特記仕様書 2	建築工事特記仕様書 2	A-04						
									6						28 Ver. R04 (R05.02)	Ver. R04 (R05.02)							

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																																														
7	鉄骨工事	<p>錆止め塗料 (7.8.4) (18.3.2)</p> <p>塗料の種別 鉄鋼面の錆止め塗料 表18.3.1による A種 B種</p> <p>亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 表18.3.2による A種 B種 C種</p> <p>鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) 表18.3.1による A種 B種</p> <p>耐火被覆材の接着する面への塗装 行わない 行う (範囲) 図示による _____ )</p> <p>耐火被覆材の接着する面以外への塗装 行わない 行う (範囲) 図示による _____ )</p>	9	防水工事	<p>1 アスファルト防水 (9.2.2) ~ (9.2.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th><th>防水層</th><th>施 工 篠 所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-1</td><td>A-2</td><td>A-3</td></tr> <tr> <td>保護防水</td><td>表9.2.3</td><td></td></tr> <tr> <td>AI-1</td><td>AI-2</td><td>AI-3</td></tr> <tr> <td>B-1</td><td>B-2</td><td></td></tr> <tr> <td>BI-1</td><td>BI-2</td><td></td></tr> <tr> <td>露出防水</td><td>D-1</td><td>D-2</td></tr> <tr> <td></td><td>表9.2.7</td><td>施 工 篠 所</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>種 類</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>使 用 量</td></tr> <tr> <td>DI-1</td><td>DI-2</td><td></td></tr> <tr> <td>屋内防水</td><td>E-1</td><td>E-2</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>表9.2.9</td></tr> </tbody> </table> <p>断熱材(屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm</p> <p>断熱材(屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____</p> <p>ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材及び絶縁用シートの張りじまい位置 図示による _____</p> <p>絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15(保護防水工法) フラットヤーンクロス(70g/m<sup>2</sup>程度)(保護防水断熱工法)</p> <p>押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0</p> <p>立上り部の保護 乾式保護材 ( ) 普通れんが 化粧れんが モルタル押え(屋内)</p> <p>コンクリート(工法) _____</p> <p>保護層 平場のコンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm</p> <p>屋上排水溝 図示による 脱気装置(露出防水絶縁(断熱)工法) 設ける 材種( ) 設置数量(1箇所 / m<sup>2</sup>)</p>	種 別	防水層	施 工 篠 所	A-1	A-2	A-3	保護防水	表9.2.3		AI-1	AI-2	AI-3	B-1	B-2		BI-1	BI-2		露出防水	D-1	D-2		表9.2.7	施 工 篠 所			種 類			使 用 量	DI-1	DI-2		屋内防水	E-1	E-2						表9.2.9	9	防水工事	<p>可塑剤移行防止用シート 発泡ポリエチレンシート 脱気装置(接着工法) 設ける 材種( ) 設置数量(1箇所 / m<sup>2</sup>)</p> <p>固定金具の材質及び寸法形状 防錆処理した鋼板、マルブ鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した 鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの</p> <p>接着工法の場合 P Cコンクリート部材下地の場合の処理 目地処理 図示による 入隅部の増張り(S-F1、SI-F1の場合) 図示による 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。</p> <p>種別 (表9.5.1)(表9.5.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th><th>防水層</th><th>施 工 篠 所</th><th>使 用 量</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>X-1</td><td>表9.5.1</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>X-2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>Y-1</td><td>表9.5.2 地下外壁防水</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>Y-2</td><td>屋内防水</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>脱気装置(X-1) 設ける 材種( ) 設置数量(1箇所 / m<sup>2</sup>)</p> <p>保護層(Y-2) 設ける</p> <p>施工箇所 図示による _____</p> <p>標示9.6.4(2)(イ)、(ウ)以外の下地処理 図示による _____</p>	種 別	防水層	施 工 篠 所	使 用 量	X-1	表9.5.1			X-2				Y-1	表9.5.2 地下外壁防水			Y-2	屋内防水			10	石工事	<p>内壁石張り 工法 内壁空積工法(あと施工アンカーモルタル工法) 乾式工法(スライド方式) ロッキング方式</p> <p>石の厚さ _____ mm 浸透性吸水防止剤 専門工事業者の指定 裏面及び裏打ち処理 行わない 行う 目地 一般目地幅 _____ mm 伸縮調整目地位置 _____</p> <p>シーリング材の目地寸法 _____ mm あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 材質 寸法</p>
種 別	防水層	施 工 篠 所																																																																							
A-1	A-2	A-3																																																																							
保護防水	表9.2.3																																																																								
AI-1	AI-2	AI-3																																																																							
B-1	B-2																																																																								
BI-1	BI-2																																																																								
露出防水	D-1	D-2																																																																							
	表9.2.7	施 工 篠 所																																																																							
		種 類																																																																							
		使 用 量																																																																							
DI-1	DI-2																																																																								
屋内防水	E-1	E-2																																																																							
		表9.2.9																																																																							
種 別	防水層	施 工 篠 所	使 用 量																																																																						
X-1	表9.5.1																																																																								
X-2																																																																									
Y-1	表9.5.2 地下外壁防水																																																																								
Y-2	屋内防水																																																																								
8	コンクリートブロック・A	<p>1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) ~ (8.2.8)</p> <p>ブロックの種類 16(C種)普通ブロック 16-W(C種)防水ブロック モデュール呼び寸法及び正味厚さ 図示による _____</p> <p>コンクリートの設計基準強度 F<sub>o</sub>(N/mm<sup>2</sup>) _____</p> <p>充填用及びまぐさ 21以上 _____</p> <p>上記以外 21以上 _____</p> <p>各部の配筋 図示による 目地仕上げ 押し目地仕上げ 化粧目地仕上げ モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 図示による _____</p> <p>2 コンクリートロッカ帳壁及び塀 (8.3.2) ~ (8.3.4)</p> <p>ブロックの種類 (表8.3.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適 用 篠 所</th><th>種 類 の 記 号</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀</td><td>空洞ブロック 16</td></tr> <tr> <td>外壁の化粧積み</td><td>空洞ブロック 16-W</td></tr> </tbody> </table> <p>モデュール呼び寸法及び正味厚さ 図示による _____</p> <p>塀の厚さ 図示による _____</p> <p>壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状 図示による _____</p> <p>各部の配筋 国示による 塀化粧ブロック 有( ) ブロック塀の基礎及び控壁のコンクリートの設計基準強度 F<sub>o</sub>(N/mm<sup>2</sup>) 18 21</p> <p>3 ALCパネル (8.4.2) ~ (8.4.5)</p> <p>パネルの種類 (表8.4.2)(表8.4.3)(表8.4.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>単位荷重(N/m<sup>2</sup>)</th><th>厚さ(mm)</th><th>構 法</th><th>耐 火 性 能</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外壁庇</td><td>1180</td><td>1960</td><td>100</td><td>A種 有り( 時間) B種 無し</td></tr> <tr> <td>間仕切庇</td><td>640</td><td>100</td><td>C種 E種</td><td>有り( 時間) 無し</td></tr> <tr> <td>屋根庇</td><td>980</td><td>100</td><td>F種</td><td>有り( 時間) 無し</td></tr> <tr> <td>床庇</td><td>2350</td><td>3530</td><td>100</td><td>F種 有り( 時間) 150 無し</td></tr> </tbody> </table> <p>パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材 国示による _____</p> <p>外壁庇の工法 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。</p> <p>パネル幅の最小限度 300 mm _____ mm</p> <p>パネルの出隅及び人頭の庇接合部並びに庇と他部材との取り合い部の目地幅 _____ mm 伸縮目地への耐火目地材の充填 適用する 適用しない</p> <p>外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能 _____</p> <p>4 押出成形セメント板(ECP) (8.5.2) ~ (8.5.5)</p> <p>種類 無石綿タイプ(タイプ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th><th>表 面 形 状</th><th>厚さ (mm)</th><th>工 法</th><th>耐 火 性 能</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外壁</td><td>フラットパネル デザインパネル(国示) タイルベースパネル</td><td>3.5 5.0 6.0</td><td>A種 B種</td><td>有り( 時間) 無し</td></tr> <tr> <td>間仕切り</td><td>フラットパネル デザインパネル(国示) タイルベースパネル</td><td>3.5 5.0 6.0</td><td>B種 C種</td><td>有り( 時間) 無し</td></tr> </tbody> </table> <p>外壁庇の工法 本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。</p> <p>パネル幅の最小限度 300 mm _____ mm</p> <p>パネル相互の目地幅 国示による _____ mm</p> <p>出隅及び人頭の庇接合部目地の目地幅 15 mm _____ mm</p> <p>外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能 _____</p> <p>やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出すること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>孔あけ及び欠き込みの大きさ</th><th>切断後の庇の残り部分の幅</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>庇に孔あけを設ける場合</td><td>短辺 長辺</td><td></td></tr> <tr> <td>庇に欠き込みを設ける場合</td><td>短辺 長辺</td><td></td></tr> </tbody> </table>	適 用 篠 所	種 類 の 記 号	間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	空洞ブロック 16	外壁の化粧積み	空洞ブロック 16-W	区 分	単位荷重(N/m <sup>2</sup> )	厚さ(mm)	構 法	耐 火 性 能	外壁庇	1180	1960	100	A種 有り( 時間) B種 無し	間仕切庇	640	100	C種 E種	有り( 時間) 無し	屋根庇	980	100	F種	有り( 時間) 無し	床庇	2350	3530	100	F種 有り( 時間) 150 無し	施工箇所	表 面 形 状	厚さ (mm)	工 法	耐 火 性 能	外壁	フラットパネル デザインパネル(国示) タイルベースパネル	3.5 5.0 6.0	A種 B種	有り( 時間) 無し	間仕切り	フラットパネル デザインパネル(国示) タイルベースパネル	3.5 5.0 6.0	B種 C種	有り( 時間) 無し		孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後の庇の残り部分の幅	庇に孔あけを設ける場合	短辺 長辺		庇に欠き込みを設ける場合	短辺 長辺		9	防水工事	<p>4 塗膜防水 (9.5.3)</p> <p>5 ケイ酸質系塗布防水 (9.6.3)</p> <p>6 漏水試験</p> <p>7 保証書</p> <p>8 施工標識</p> <p>シーリング (9.7.2) (9.7.3) (9.7.5)</p> <p>10 止水板</p>	<p>可塑剤移行防止用シート 発泡ポリエチレンシート 脱気装置(接着工法) 設ける 材種( ) 設置数量(1箇所 / m<sup>2</sup>)</p> <p>固定金具の材質及び寸法形状 防錆処理した鋼板、マルブ鋼板及びそれらの片面又は両面に樹脂を積層加工した 鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの</p> <p>接着工法の場合 P Cコンクリート部材下地の場合の処理 目地処理 国示による 入隅部の増張り(S-F1、SI-F1の場合) 国示による 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定める。</p> <p>種別 (表9.5.1)(表9.5.2)</p> <p>施工箇所 国示による _____</p> <p>標示9.6.4(2)(イ)、(ウ)以外の下地処理 国示による _____</p> <p>脱気装置(X-1) 設ける 材種( ) 設置数量(1箇所 / m<sup>2</sup>)</p> <p>保護層(Y-2) 設ける</p> <p>施工箇所 国示による _____</p> <p>標示9.6.4(2)(イ)、(ウ)以外の下地処理 国示による _____</p> <p>水張り試験を行う ( 屋内 屋外 )</p> <p>受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事目的引渡しより10年間以上とする。)</p> <p>工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 真鍮製エッチング仕上 150×100 設置数量 _____ 箇所</p> <p>シーリングの種類 表9.7.1による 施工箇所 国示による MS-2 仕上げを行わない施工箇所( 国示による _____ )</p> <p>目地寸法 コンクリートの打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 幅20mm以上、深さ10mm以上 ガラス回りの目地 幅5mm以上、深さ5mm以上 その他の目地 幅10mm以上、深さ10mm以上</p> <p>シーリングの試験 簡易接着性試験 ( 部位 _____ ) 引張接着性試験 ( 部位 _____ )</p> <p>材質 _____ 形状 差込式 据置式 壁張り式 適用範囲 _____</p>	10	石工事	<p>5 特殊部位の石張り (10.2.2) (10.7.1) ~ (10.7.3)</p> <p>6 伸縮調整目地等 (11.1.3)</p> <p>7 タイル工事</p> <p>8 施工後の確認及び試験 (11.1.7)</p> <p>9 タイルの種類</p> <p>10 止水板</p>	<p>内壁石張り 工法 内壁空積工法(あと施工アンカーモルタル工法) 乾式工法(スライド方式) ロッキング方式</p> <p>石の厚さ _____ mm 浸透性吸水防止剤 専門工事業者の指定 裏面及び裏打ち処理 行わない 行う 目地 一般目地幅 _____ mm 伸縮調整目地位置 _____</p> <p>シーリング材の目地寸法 _____ mm あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 材質 寸法</p> <p>笠木、甲板等 取付工法 湿式工法 乾式工法</p> <p>取付金物 石の厚さ _____ mm 石裏面処理 行わない 行う</p> <p>石材裏面の補強用モルタル(乾式工法) 行く 行かない</p> <p>目地 一般目地幅 _____ mm 伸縮調整目地位置 _____</p> <p>シーリング材の目地寸法 _____ mm あと施工アンカーの材質、寸法等 種類 材質 寸法</p> <p>床板 石の厚さ _____ mm 行う 行かない</p> <p>外壁 屋内壁面 床面 表11.1.1による 国示による 表11.1.1による</p> <p>浮きの確認 全面打診による確認を行う 引張接着試験 油圧式接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない</p> <p>タイルの種類</p> <p>施工箇所・形状・寸法(種類) 生 地 軸 葉 耐凍害性 耐滑り性 役 物 色 工 法 その他</p> <p>便所 300×300 磁器 陶器 せっ器 有り 有り 有り 無し 標準 特注</p> <p>床腰壁 磁器 陶器 せっ器 有り 有り 有り 無し 標準 特注</p> <p>磁器 陶器 せっ器 有り 有り 有り 無し 標準 特注</p> <p>磁器 陶器 せっ器 有り 有り 有り 無し 標準 特注</p> <p>タイルの試験張り 行わない 行う</p> <p>タイルの見本焼き 行わない 行う</p> <p>既調合モルタル 便所床 LIXIL レストールキラミックIPF-300RSK-13W 同等品 便所腰壁 LIXIL エコカラットプラスECO-303/NN1 同等品</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理</p> <p>MCR工法 目荒工法 国示による</p> <p>張付け用材料 (11.3.3) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 外壁タイルの目地詰め 行う 行わない</p>								
適 用 篠 所	種 類 の 記 号																																																																								
間仕切壁、地下二重壁、外壁、塀	空洞ブロック 16																																																																								
外壁の化粧積み	空洞ブロック 16-W																																																																								
区 分	単位荷重(N/m <sup>2</sup> )	厚さ(mm)	構 法	耐 火 性 能																																																																					
外壁庇	1180	1960	100	A種 有り( 時間) B種 無し																																																																					
間仕切庇	640	100	C種 E種	有り( 時間) 無し																																																																					
屋根庇	980	100	F種	有り( 時間) 無し																																																																					
床庇	2350	3530	100	F種 有り( 時間) 150 無し																																																																					
施工箇所	表 面 形 状	厚さ (mm)	工 法	耐 火 性 能																																																																					
外壁	フラットパネル デザインパネル(国示) タイルベースパネル	3.5 5.0 6.0	A種 B種	有り( 時間) 無し																																																																					
間仕切り	フラットパネル デザインパネル(国示) タイルベースパネル	3.5 5.0 6.0	B種 C種	有り( 時間) 無し																																																																					
	孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後の庇の残り部分の幅																																																																							
庇に孔あけを設ける場合	短辺 長辺																																																																								
庇に欠き込みを設ける場合	短辺 長辺																																																																								

章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項			
12	揮発性有機化合物対策 (12.2.1) (12.2.2) (12.2.3)	材料(集成材、合板等)のホルムアルデヒド放散量 表示がある場合 F 表示がない場合 非ホルムアルデヒド系接着剤使用(塗装していないもの) 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用(塗装したもの) 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用(化粧加工したもの)  接着剤のホルムアルデヒド放散量 F	12	集成材 (12.2.1)	「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 造作用集成材 使用箇所 品名 樹種 見付材面数 寸法 見付材面の品質 甲板 2 t25 1等 2等 化粧ぱり造作用集成材 使用箇所 品名 樹種 寸法 化粧板厚 見付材面数 見付材面の品質 化粧材 芯材 1等 2等	12	木工事	MDF 使用箇所 厚さ 表裏面の状態による区分 曲げ強さ 接着剤による区分 難燃性による区分	12	接合具等 (12.2.2)	造作材の化粧面の釘打ち 隠し釘打ち 釘頭埋め木 つぶし頭丁釘 釘頭現し 諸金属の形状、寸法及び材質 かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表12.2.3から表12.2.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表14.2.2[鉄鋼の亜鉛めっきの種別]のF種程度の亜鉛めっきを施したもの 本部圓面による	14	一般事項 (14.1.3)	あと施工アンカーの引張試験 行う(箇所以上、N/箇所) 行わない
木工事	含水率 (12.2.1)	下地材 A種(15%以下) B種(20%以下) 造作材 A種(15%以下) B種(18%以下) 以下に規定されているものは、その規定による。	(表12.2.1)	「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 造作用集成材 使用箇所 樹種 寸法 見付材面の品質 含水率 15%以下	「JAS1083(製材)による製材 下地用製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 1級 2級 造作用製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 内装壁 スギ 図示による 無節 上小節 小節 並 天井 広葉樹製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 特等 1等 10%以下 2等	「JAS0701(単板積層材)による造作用単板積層材 造作用単板積層材 使用箇所 品名 寸法 表面の品質 防虫処理 表面化粧加工なし 1等 2等 3等 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工	防腐、防蟻及び 防虫処理 (12.3.1) ~ (12.3.2) 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 土台 K2 K3 K4 K2 K3 ○ K4 薬剤の塗布による防腐・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 薬剤の製造所の仕様による JIS K 1571に適合又は同等品 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部材 合板等の加圧注入処理等の通用 適用部材 防虫処理 行う(範囲: ラワン材等 「製材の日本農林規格」による保存処理の性能区分KI) 行わない	14	金属工事	2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2) 陽極酸化皮膜の着色方法 二次電解着色 三次電解着色 色合等				
製材	「JAS1083(製材)による製材 下地用製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 1級 2級 造作用製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 内装壁 スギ 図示による 無節 上小節 小節 並 天井 広葉樹製材 使用箇所 樹種 寸法 等級 含水率 保存処理 特等 1等 10%以下 2等	(表12.2.2)	「JAS1083(製材)以外の製材 使用箇所 樹種 寸法 材面の品質 防虫処理 含水率 A種 B種	「JAS0701(単板積層材)による造作用単板積層材 造作用単板積層材 使用箇所 寸法 表面の品質 含水率 防虫処理 表面化粧加工なし 14%以下 表面化粈加工あり 天然木化粈加工 塗装加工	「JAS3079(直交集成板) 使用箇所 品名 曲げ強度 種別 接着性能 樹種 寸法	性能 (13.2.1) 長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3) 屋根及びとい工事 (12.2.1)	本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 (表13.2.1) 屋根葺形式 材料の種類等 厚さ(mm) 下葺材料 心木なし 瓦棒葺 JIS G 3322の屋根用(着色有) 0.4 ○アスファルトルーフィング940 立平葺 改質アスファルトルーフィング下葺材 蟻掛葺 一般タイプ 横葺 複層基材タイプ 粘着層付タイプ 専門工事業者 製造所の指定業者とする 建築基準法に基づき定まる風圧力・積雪荷重に対応した工法を品質計画により定める。 横葺きの場合のけらば納め つつみ込み納め ○けらば納め 雪止め ○設置する ○設置しない 元旦ビューティ工業㈱ 加ガルリム鋼板 標準色 GTNギングロ 同等品	13	性能 (13.2.1) 長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3) 屋根及びとい工事 (12.2.1)	5 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) スタッド、ランナー等の種類 表14.5.1における「 」の高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 図示による				
樹種	使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。 工事完成までに、ウッドマイレージC02京都の木認証書(京都府産木材証明書及びカットマイレージC02計算書)(注1)を提出することを原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木認証書(京都府産木材証明書)(注2)を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 一般社団法人京都府木材組合連合会 TEL: 075-802-2991 注1) 認証書は製材所、流通業者の全てが取扱い事業体でなければ発行されない。 注2) 認証書は製材所、流通業者の全てが取扱い事業体又は認証機関登録事業体でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。 工事完成までに、京都府内産木材の产地証明書を提出すること。 京都木材規格(KTS)材を使用する場合は、京都木材規格(KTS)材証明書(発行機関:(一社)京都府木材組合連合会)を提出すること。	(12.2.1)	合板等 (12.2.1)	「合板の日本農林規格」による普通合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 その他処理 押入れ、物入れ 5.5mm 1類 広葉樹 防虫処理 2類 2等以上 針葉樹 C-D以上 「合板の日本農林規格」による構造用合板 使用箇所 品名 等級 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 保存処理 その他処理 壁下地材 2級以上 12mm 1類 C-D以上 15mm 特類 防虫処理 强度等級 「合板の日本農林規格」による化粧ぱり構造用合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 その他処理 1類 特類 防虫処理 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 使用箇所 厚さ 樹種名 接着程度 その他処理 1類 2類 防虫処理 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 使用箇所 品目 厚さ 樹種名 接着程度 化粧加工の方法 その他処理 1類 オーバーレイ 2類 プリント 塗装 防虫処理 パーティクルボード 使用箇所 厚さ 各種区分 15mm 13Pタイプ又は13Mタイプ JAS0360に基づく構造用パネル 使用箇所 等級 厚さ	3 折板葺 (13.3.2) (13.3.3) 4 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3) 5 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) スタッド、ランナー等の種類 表14.5.1における「 」の高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 図示による	性能 (13.2.1) 長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3) 屋根及びとい工事 (12.2.1)	性能 (13.2.1) 長尺金属板葺 (13.2.2) (13.2.3) 屋根及びとい工事 (12.2.1)	6 金属成形板張り (14.6.2) (14.6.3) 形狀 製法 材種 寸法(mm) 表面処理(種別) スパンドレル形 押出し フルミン製 板厚 ロール パネル形 プレス 板幅 伸縮調整継手 設けない 設ける (施工箇所は図示)						
樹種	「合板の日本農林規格」による普通合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 その他処理 押入れ、物入れ 5.5mm 1類 広葉樹 防虫処理 2類 2等以上 针葉樹 C-D以上 「合板の日本農林規格」による構造用合板 使用箇所 品名 等級 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 保存処理 その他処理 壁下地材 2級以上 12mm 1類 C-D以上 15mm 特類 防虫処理 强度等級 「合板の日本農林規格」による化粧ぱり構造用合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 その他処理 1類 特類 防虫処理 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 使用箇所 厚さ 樹種名 接着程度 その他処理 1類 2類 防虫処理 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 使用箇所 品目 厚さ 樹種名 接着程度 化粧加工の方法 その他処理 1類 オーバーレイ 2類 プリント 塗装 防虫処理 パーティクルボード 使用箇所 厚さ 各種区分 15mm 13Pタイプ又は13Mタイプ JAS0360に基づく構造用パネル 使用箇所 等級 厚さ	(12.2.1)	3 折板葺 (13.3.2) (13.3.3) 4 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3) 5 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) スタッド、ランナー等の種類 表14.5.1における「 」の高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 図示による	6 金属成形板張り (14.6.2) (14.6.3) 形狀 製法 材種 寸法(mm) 表面処理(種別) スパンドレル形 押出し フルミン製 板厚 ロール パネル形 プレス 板幅 伸縮調整継手 設けない 設ける (施工箇所は図示)	7 アルミニウム製 笠木 (14.7.2) (14.7.3) 種類 板厚(mm) 表面処理(種別) 備考 250形 1.6 300形 1.8 350形 2.0 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 図示による									
樹種	「合板の日本農林規格」による普通合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 その他処理 押入れ、物入れ 5.5mm 1類 広葉樹 防虫処理 2類 2等以上 针葉樹 C-D以上 「合板の日本農林規格」による構造用合板 使用箇所 品名 等級 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 保存処理 その他処理 壁下地材 2級以上 12mm 1類 C-D以上 15mm 特類 防虫処理 强度等級 「合板の日本農林規格」による化粧ぱり構造用合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 その他処理 1類 特類 防虫処理 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 使用箇所 厚さ 樹種名 接着程度 その他処理 1類 2類 防虫処理 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 使用箇所 品目 厚さ 樹種名 接着程度 化粧加工の方法 その他処理 1類 オーバーレイ 2類 プリント 塗装 防虫処理 パーティクルボード 使用箇所 厚さ 各種区分 15mm 13Pタイプ又は13Mタイプ JAS0360に基づく構造用パネル 使用箇所 等級 厚さ	(12.2.1)	3 折板葺 (13.3.2) (13.3.3) 4 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3) 5 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) スタッド、ランナー等の種類 表14.5.1における「 」の高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 図示による	7 アルミニウム製 笠木 (14.7.2) (14.7.3) 種類 板厚(mm) 表面処理(種別) 備考 250形 1.6 300形 1.8 350形 2.0 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 図示による	8 天井点検口 アルミニウム製既製品(450×450) 箇所 アルミニウム製既製品(600×600) 箇所									
樹種	「合板の日本農林規格」による普通合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 その他処理 押入れ、物入れ 5.5mm 1類 広葉樹 防虫処理 2類 2等以上 针葉樹 C-D以上 「合板の日本農林規格」による構造用合板 使用箇所 品名 等級 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 保存処理 その他処理 壁下地材 2級以上 12mm 1類 C-D以上 15mm 特類 防虫処理 强度等級 「合板の日本農林規格」による化粧ぱり構造用合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 その他処理 1類 特類 防虫処理 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 使用箇所 厚さ 樹種名 接着程度 その他処理 1類 2類 防虫処理 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 使用箇所 品目 厚さ 樹種名 接着程度 化粧加工の方法 その他処理 1類 オーバーレイ 2類 プリント 塗装 防虫処理 パーティクルボード 使用箇所 厚さ 各種区分 15mm 13Pタイプ又は13Mタイプ JAS0360に基づく構造用パネル 使用箇所 等級 厚さ	(12.2.1)	3 折板葺 (13.3.2) (13.3.3) 4 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3) 5 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) スタッド、ランナー等の種類 表14.5.1における「 」の高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 図示による	7 アルミニウム製 笠木 (14.7.2) (14.7.3) 種類 板厚(mm) 表面処理(種別) 備考 250形 1.6 300形 1.8 350形 2.0 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 図示による	8 天井点検口 アルミニウム製既製品(450×450) 箇所 アルミニウム製既製品(600×600) 箇所									
樹種	「合板の日本農林規格」による普通合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 その他処理 押入れ、物入れ 5.5mm 1類 広葉樹 防虫処理 2類 2等以上 针葉樹 C-D以上 「合板の日本農林規格」による構造用合板 使用箇所 品名 等級 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 保存処理 その他処理 壁下地材 2級以上 12mm 1類 C-D以上 15mm 特類 防虫処理 强度等級 「合板の日本農林規格」による化粧ぱり構造用合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 その他処理 1類 特類 防虫処理 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 使用箇所 厚さ 樹種名 接着程度 その他処理 1類 2類 防虫処理 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 使用箇所 品目 厚さ 樹種名 接着程度 化粧加工の方法 その他処理 1類 オーバーレイ 2類 プリント 塗装 防虫処理 パーティクルボード 使用箇所 厚さ 各種区分 15mm 13Pタイプ又は13Mタイプ JAS0360に基づく構造用パネル 使用箇所 等級 厚さ	(12.2.1)	3 折板葺 (13.3.2) (13.3.3) 4 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3) 5 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) スタッド、ランナー等の種類 表14.5.1における「 」の高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 図示による	7 アルミニウム製 笠木 (14.7.2) (14.7.3) 種類 板厚(mm) 表面処理(種別) 備考 250形 1.6 300形 1.8 350形 2.0 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 図示による	9 床点検口 アルミニウム製既製品(600×600) 箇所 ステンレス製既製品(600×600) 箇所 鋳鉄製マンホール蓋 型 箇所									
樹種	「合板の日本農林規格」による普通合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 その他処理 押入れ、物入れ 5.5mm 1類 広葉樹 防虫処理 2類 2等以上 针葉樹 C-D以上 「合板の日本農林規格」による構造用合板 使用箇所 品名 等級 厚さ 樹種名 接着程度 板面の品質 保存処理 その他処理 壁下地材 2級以上 12mm 1類 C-D以上 15mm 特類 防虫処理 强度等級 「合板の日本農林規格」による化粧ぱり構造用合板 使用箇所 品名 厚さ 樹種名 接着程度 その他処理 1類 特類 防虫処理 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 使用箇所 厚さ 樹種名 接着程度 その他処理 1類 2類 防虫処理 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 使用箇所 品目 厚さ 樹種名 接着程度 化粧加工の方法 その他処理 1類 オーバーレイ 2類 プリント 塗装 防虫処理 パーティクルボード 使用箇所 厚さ 各種区分 15mm 13Pタイプ又は13Mタイプ JAS0360に基づく構造用パネル 使用箇所 等級 厚さ	(12.2.1)	3 折板葺 (13.3.2) (13.3.3) 4 粘土瓦葺 (13.4.2) (13.4.3) 5 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3) スタッド、ランナー等の種類 表14.5.1における「 」の高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 											

章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項			
15	左官工事	1 ラス系下地 (15.2.4)	下地の種類	二層下地通気構法			15	左官工事	複層仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1)	種類(呼び名)	仕上げ	工法	備考	16	建具工事	性能	本特記仕様書「1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足せざること。			16	建具工事	鋼製建具 (16.4.2) ~(16.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 簡易気密扉の気密性 水密性 適用する 適用しない 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級 ) 点検口の類のくつりの材料 ○ 標準型鋼製建具の形式及び寸法 図示による ステンレス製のくつりの仕上げ HL JISただし書き建具の寸法許容差 (これ以外は標仕による) 製造所標準製作規定寸法許容差による	(表16.2.1) (表16.4.1)						
モルタル塗り		ラスの材料	種類及び記号 ( )					2 防火戸 (16.1.3)	図示による					16	建具工事	鋼板類の厚さ	表16.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) mm													
(15.3.2) ~(15.3.5)	ラスシートの材料	単位面積当たりの質量 ( )					3 見本の製作等 (16.1.4)	建具見本の製作 行う (建具番号 ) 特殊な建具の仮組 行う (建具番号 )					16	建具工事	鋼製軽量建具 (16.5.2) ~(16.5.4)	簡易気密型ドアセットの気密性 適用する (A - 3 ) 適用しない 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級 )	(A - 3 ) (表16.4.1)													
3 石こうボードその他 他のボード下地	既製自地材	既製自地材	現場調合材料	既調合材料			4 防犯建物部品 (16.1.6)	開口部の進入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ドア 適用箇所 ( ) サッシ 適用箇所 ( ) シャッター 適用箇所 ( )					16	建具工事	鋼板	表面處理亜鉛めっき鋼板 ピニール被覆鋼板 カラー鋼板 ステンレス鋼板 ステンレス製のくつりの仕上げ HL mm														
4 こまい下地	適用する (形状 )	床塗り					アルミニウム製 建具 (16.2.2) ~(16.2.5)	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級(コンクリート系下地、鉄骨下地) (表16.2.1) 性能等級 A種 B種 C種 耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 気密性 A - 3 A - 4 水密性 W - 4 W - 5 枠見込み(mm) 図示 70 100 図示					16	建具工事	鋼板類の厚さ	表16.4.2 (片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) mm														
5 木すり下地	木すり用小幅板の種類 ( すぎ (心去り材) ○ )	既調合材料	内装塗材のホルムアルデヒド放散量 F				7 マスチック塗材 塗り (15.7.2)	種別 A種 B種 (表15.7.1)					16	建具工事	鋼製軽量建具 (16.5.2) ~(16.5.4)	簡易気密型ドアセットの気密性 適用する (A - 3 ) 適用しない 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級 )	(A - 3 ) (表16.4.1)													
6 仕上塗材仕上げ (15.6.2)	薄付け仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1)	種類(呼び名)	仕上げ	工法	備考		8 しつくい塗り (15.10.1) ~(15.10.3)	下地 せっこうボード ○せっこうラスボード モルタル塗り ○木すり ○こまい 下塗りをせっこうラスボードとし上塗りに使用する場合 ○ 材料 現場調合材料 既調合材料 色しつくい ○適用する ○適用しない					16	建具工事	鋼板	表面處理亜鉛めっき鋼板 ピニール被覆鋼板 カラー鋼板 ステンレス鋼板 ステンレス製のくつりの仕上げ HL mm														
	種類(呼び名)	外装薄塗材S1	砂壁状 ゆず肌状 吹付け	ゆず肌状 さざ波状 口-ラ-			9 こまい壁塗り (15.11.2) ~(15.11.8)	土壁用のり つのまた ふのり ぎんなんそう 粉末海藻 砂壁用のり ふのり つのまた こんにゃくのり にかわ 合成樹脂系混合剤					16	建具工事	召合せ、縦小口包み板等 鋼板 ステンレス鋼板 アルミニウム合金の押出形材															
	可とう形外装薄塗材S1	砂壁状 ゆず肌状 吹付け	ゆず肌状 さざ波状 口-ラ-				10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~(16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 簡易気密扉の気密性、水密性 適用する 適用しない 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級 )	(S - 4 ) (表16.2.1)					16	建具工事	10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~(16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 簡易気密扉の気密性、水密性 適用する 適用しない 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級 )	(S - 4 ) (表16.2.1)												
	外装薄塗材E	砂壁状 ゆず肌状 吹付け	ゆず肌状 さざ波状 口-ラ-				7 マスチック塗材 塗り (15.7.2)	種別 A種 B種 (表15.7.1)					16	建具工事	10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~(16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 簡易気密扉の気密性、水密性 適用する 適用しない 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級 )	(S - 4 ) (表16.2.1)													
	可とう形外装薄塗材E	砂壁状 ゆず肌状 吹付け	ゆず肌状 さざ波状 口-ラ-				8 しつくい塗り (15.10.1) ~(15.10.3)	下地 せっこうボード ○せっこうラスボード モルタル塗り下地 ○木すり ○こまい 下塗りをせっこうラスボードとし上塗りに使用する場合 ○ 材料 現場調合材料 既調合材料 色しつくい ○適用する ○適用しない					16	建具工事	10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~(16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 簡易気密扉の気密性、水密性 適用する 適用しない 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級 )	(S - 4 ) (表16.2.1)													
	外装薄塗材	砂壁状 ゆず肌状 吹付け	ゆず肌状 さざ波状 口-ラ-				9 こまい壁塗り (15.11.2) ~(15.11.8)	土壁用のり つのまた ふのり ぎんなんそう 粉末海藻 砂壁用のり ふのり つのまた こんにゃくのり にかわ 合成樹脂系混合剤					16	建具工事	10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~(16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 簡易気密扉の気密性、水密性 適用する 適用しない 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級 )	(S - 4 ) (表16.2.1)													
	内装薄塗材C	砂壁状 ゆず肌状 吹付け	ゆず肌状 さざ波状 口-ラ-				10 ロックワール 吹付け (15.12.2) (15.12.3)	吹付け仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1)	種類(呼び名)	仕上げ	工法	備考		16	建具工事	10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~(16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 簡易気密扉の気密性、水密性 適用する 適用しない 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級 )	(S - 4 ) (表16.2.1)												
	内装薄塗材L	砂壁状 ゆず肌状 吹付け	ゆず肌状 さざ波状 口-ラ-				10 ロックワール 吹付け (15.12.2) (15.12.3)	吹付け仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1)	種類(呼び名)	仕上げ	工法	備考		16	建具工事	10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~(16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 簡易気密扉の気密性、水密性 適用する 適用しない 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級 )	(S - 4 ) (表16.2.1)												
	内装薄塗材W	砂壁状 ゆず肌状 吹付け	ゆず肌状 さざ波状 口-ラ-				10 ロックワール 吹付け (15.12.2) (15.12.3)	吹付け仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1)	種類(呼び名)	仕上げ	工法	備考		16	建具工事	10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~(16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 簡易気密扉の気密性、水密性 適用する 適用しない 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級 )	(S - 4 ) (表16.2.1)												
	内装薄塗材S1	砂壁状 ゆず肌状 吹付け	ゆず肌状 さざ波状 口-ラ-				10 ロックワール 吹付け (15.12.2) (15.12.3)	吹付け仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1)	種類(呼び名)	仕上げ	工法	備考		16	建具工事	10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~(16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 簡易気密扉の気密性、水密性 適用する 適用しない 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級 )	(S - 4 ) (表16.2.1)												
	内装薄塗材E	砂壁状 ゆず肌状 吹付け	ゆず肌状 さざ波状 口-ラ-				10 ロックワール 吹付け (15.12.2) (15.12.3)	吹付け仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1)	種類(呼び名)	仕上げ	工法	備考		16	建具工事	10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~(16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 簡易気密扉の気密性、水密性 適用する 適用しない 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級 )	(S - 4 ) (表16.2.1)												
	内装薄塗材C	砂壁状 ゆず肌状 吹付け	ゆず肌状 さざ波状 口-ラ-				10 ロックワール 吹付け (15.12.2) (15.12.3)	吹付け仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1)	種類(呼び名)	仕上げ	工法	備考		16	建具工事	10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~(16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 簡易気密扉の気密性、水密性 適用する 適用しない 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 ) 耐震ドアの適用 (面内変形追随性の等級 )	(S - 4 ) (表16.2.1)												
	内装薄塗材L	砂壁状 ゆず肌状 吹付け	ゆず肌状 さざ波状 口-ラ-				10 ロックワール 吹付け (15.12.2) (15.12.3)	吹付け仕上塗材(JIS A 6909) (表15.6.1)	種類(呼び名)	仕上げ	工法	備考		16	建具工事	10 ステンレス製建具 (16.6.2) ~(16.6.4)	外部に面する建具の耐風圧性 S - 4 S - 5 S - 6 簡易気密扉の気密性、水密性 適用する 適用しない 防音ドア、防音サッシの適用 (遮音性の等級 ) 断熱ドア、断熱サッシの適用 (断熱性の等級 )<													

Page 10

年 月

かわまちづくり広場等整備工事（休憩施設等）

A-08

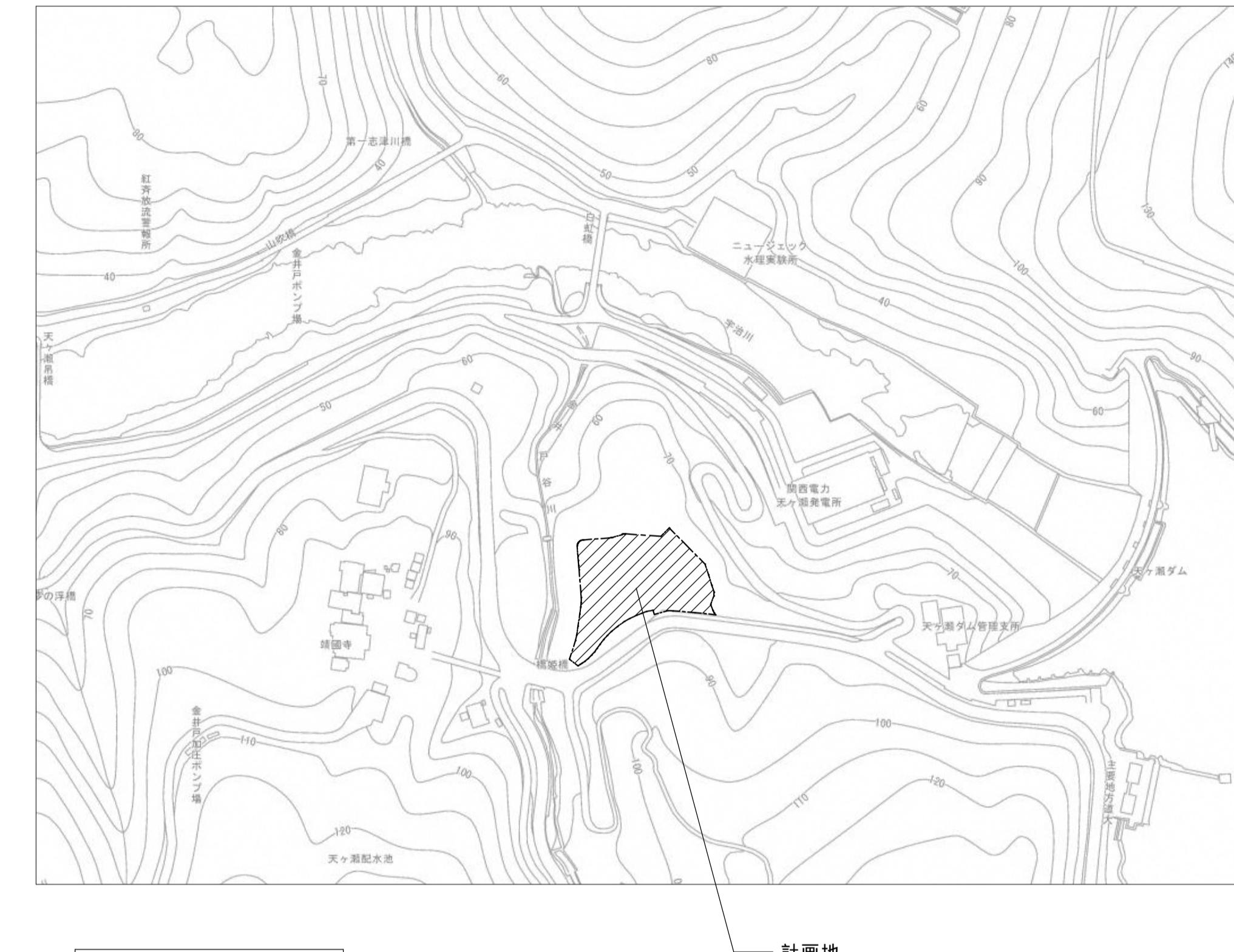
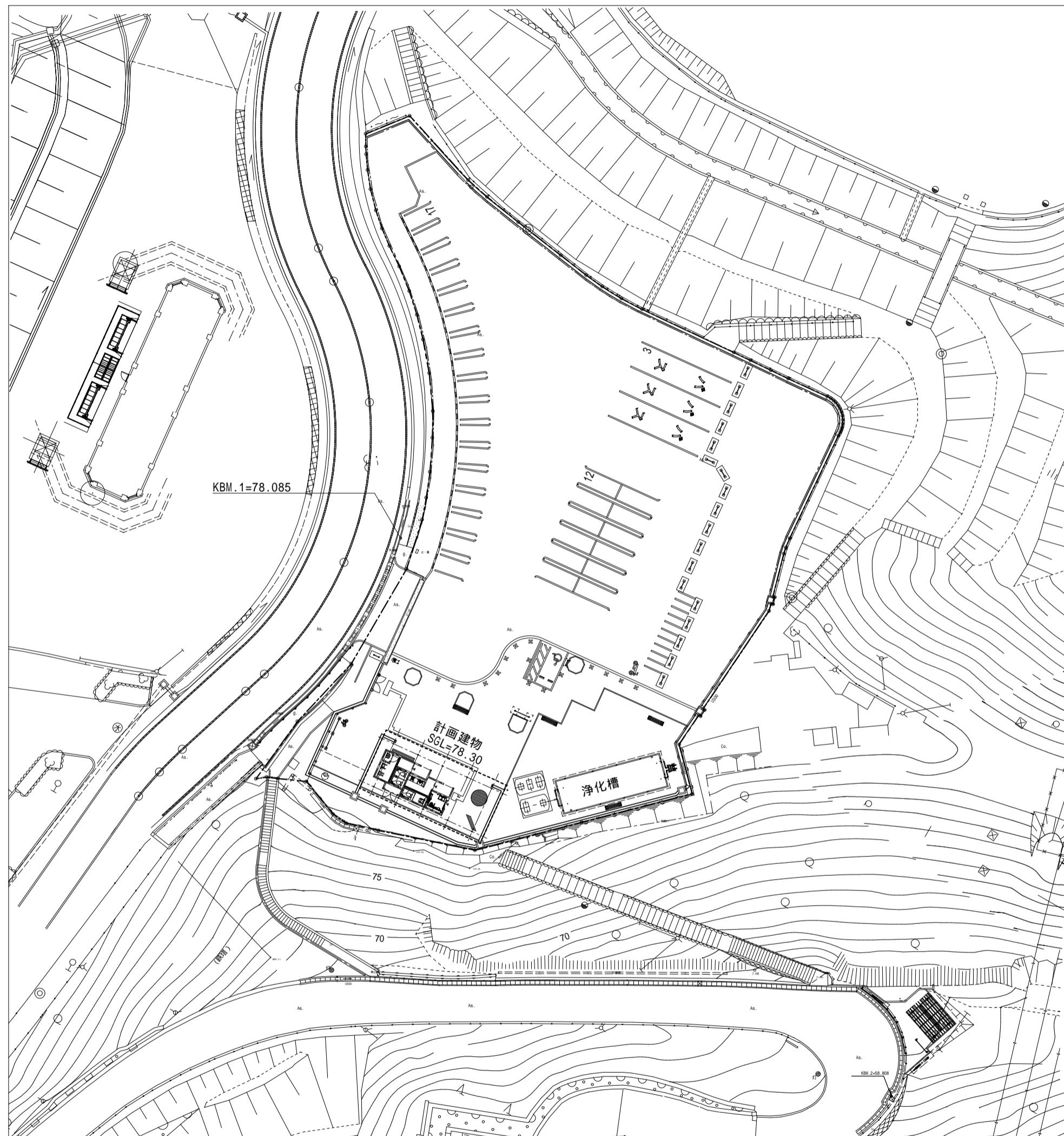
章	項	目	特記事項	章	項	特記事項	章	項	特記事項	章	項	特記事項												
19	内装工事	4 带電防止床シート、床タイル(19.2.2)	带電防止床シート 種類 性能 厚さ(mm) 体積抵抗値 $1 \times 10_7 \sim 1 \times 10_{10}$ 程度	19	内装工事	複合フローリング 種別 樹種 厚さ(mm) 工法 種別 備考 1×6タイプ なら 8 釘留め工法 A種 フローリング ボードタイプ なら 15 根太張り工法 B種 直張り工法 C種 接着工法	20	ユニット及びその他の工事	1 家具、エット等の揮発性有機化合物対策 収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板、化粧合板、MDF等の 耐火性ヒド等の放散量 F 収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤 耐火性ヒド等の放散量 F 含まれる可塑剤 フタル酸・ジチル等を含有しない、難揮発性のもの	20	ユニット及びその他の工事	案内板(館内、各階、便所) 厚さ(mm) 材質 色 書体 印刷等の種別 取付け形式 5 アクリル板 角太ゴシック シルク印刷 平付型 アルミ板 丸 図示による 持出型 外国語表現 行う ( 英語 ) 寸法(mm) 600×600 100×600 200×200 図示による 館名板等 品質・規格												
5	視覚障害者用床タイル(19.2.2)	種類 形状 備考 塗化ビニル系 300mm角 レジンコンクリート系 150mm角 磁器又はセラミックタイル	13 縁甲板張り(19.5.1)	接着工法のフローリング裏面の不陸緩和剤 合成樹脂泡シート 仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り(1液波)B種 オイルステインの上ワックス塗り 生地のままワックス塗り	14 畳敷き(19.6.2)	種別 A種 B種 C種 D種 (KT-____) (表19.6.1) 衝撃緩和畳(畳表 C1 C2)	15 セッコウボード、その他ボード及び合板張り(19.7.2)	種別 A種 B種 C種 D種 (KT-____) (表19.7.1) セッコウボードによるJIS規格品とする 種類 規格、厚さ(mm) 等 セッコウボード(GB-R) 12.5(不燃) 9.5(準不燃) 化粧セッコウボード(GB-D) 杉板模様 12.5(不燃) トーパーチン模様(軽鉄下地は専用のものとする) 不燃積層セッコウボード(GB-NC) トーパーチン模様 9.5(不燃) 模様なし シージングセッコウボード(GB-S) 15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃) 強化セッコウボード(GB-F) 21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃) ロックウール吸音ボード(RW-B) 25 グラスウール吸音ボード(GW-B) 25 吸音あわせセッコウボード(GB-P) 9.5(準不燃) ロックウール化粧吸音板(DR) 内部用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃) 軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃) 立体模様 15(不燃) 12(不燃) けい酸カルシウム板(0.8FK, 1.0FK) タイプ2(無石綿) 8.0 6.0 メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による 1.2 難燃木セメント板 30 25 20 15 断熱木セメント板 30 25 20 15 普通合板 厚さ 接着の程度 1類 表板樹種 面の品質 防虫処理 行う 天然木化粧合板 厚さ 接着の程度 化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う 特殊加工化粧合板 厚さ 接着の程度 化粧加工の方法 表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う その他下張り用合板	16 壁紙張り(19.8.2)(19.8.3)	天井のボード類(カバーカー吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 図示による 合板類の張付け A種 B種 (表19.7.3) セッコウボードの目地処理 目透かし 空突付け 繰目処理(表19.7.5) 突付け工法及び目透かし工法のエッジの種類 ベベルエッジ スクエアエッジ	17 天井廻り縁	材質 アルミニウム製 塩化ビニル製	18 断熱・防露(19.9.2)(19.9.3)	素地ごしらえ モルタル及びブリスター面 A種 B種 (表18.2.4) コンクリート面 A種 B種 (表18.2.5) セッコウボード面 目地縫目処理工法の場合 A種 B種 (表18.2.7) 突付け・目透し工法の場合 A種 B種 (表18.2.7)	19	内装工事	21 揭示板	22 カウンター	23 洗面カウンター	24 流し台ユニット	25 非常用救助袋等	26 鍵箱	27 定礎	28 旗竿受金物
6	耐動荷重性床シート(19.2.2)	種類 厚さ(mm) 備考	19	内装工事	20	ユニット及びその他の工事	20	ユニット及びその他の工事	21	内装工事	22	内装工事	23	内装工事	24	内装工事	25	内装工事	26	内装工事	27	内装工事	28	内装工事
7	防滑性床シート、床タイル(19.2.2)	種類 厚さ(mm) 備考	19	内装工事	20	ユニット及びその他の工事	20	ユニット及びその他の工事	21	内装工事	22	内装工事	23	内装工事	24	内装工事	25	内装工事	26	内装工事	27	内装工事	28	内装工事
8	ビニル幅木(19.2.2)	種類 高さ(mm) 厚さ(mm) 備考 軟質 硬質 60 75 100 1.5 2.0	19	内装工事	20	ユニット及びその他の工事	20	ユニット及びその他の工事	21	内装工事	22	内装工事	23	内装工事	24	内装工事	25	内装工事	26	内装工事	27	内装工事	28	内装工事
9	ゴム床タイル張り(19.2.2)	種類 色柄 厚さ(mm) 寸法(mm) 単層品 積層品	19	内装工事	20	ユニット及びその他の工事	20	ユニット及びその他の工事	21	内装工事	22	内装工事	23	内装工事	24	内装工事	25	内装工事	26	内装工事	27	内装工事	28	内装工事
10	カーペット敷き(19.3.2)(19.3.3)	織じゅうたん 種別 織り方 バイル形状 帯電性 色柄 接合方法 施工箇所 A種 B種 C種	19	内装工事	20	ユニット及びその他の工事	20	ユニット及びその他の工事	21	内装工事	22	内装工事	23	内装工事	24	内装工事	25	内装工事	26	内装工事	27	内装工事	28	内装工事
11	合成樹脂塗り床(19.4.2)(19.4.3)	タフティッドカーペット バイル形状 工法 帯電性 施工箇所 全面接着工法	19	内装工事	20	ユニット及びその他の工事	20	ユニット及びその他の工事	21	内装工事	22	内装工事	23	内装工事	24	内装工事	25	内装工事	26	内装工事	27	内装工事	28	内装工事
12	フローリング張り(19.5.2)~(19.5.6)	タイルカーペット 種別 バイル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 施工箇所 一種 ループバイル 500×500 6.5 二種	19	内装工事	20	ユニット及びその他の工事	20	ユニット及びその他の工事	21	内装工事	22	内装工事	23	内装工事	24	内装工事	25	内装工事	26	内装工事	27	内装工事	28	内装工事
13	厚膜型塗床材 弹性ウレタン樹脂系塗床材 平滑仕上げ 防滑仕上げ つや消し仕上げ 塗厚(mm)	19	内装工事	20	ユニット及びその他の工事	20	ユニット及びその他の工事	21	内装工事	22	内装工事	23	内装工事	24	内装工事	25	内装工事	26	内装工事	27	内装工事	28	内装工事	
14	エポキシ樹脂系塗床材 薄膜流しのべ仕上げ(平滑) 厚膜流しのべ仕上げ(平滑) 樹脂モルタル仕上げ(平滑)	19	内装工事	20	ユニット及びその他の工事	20	ユニット及びその他の工事	21	内装工事	22	内装工事	23	内装工事	24	内装工事	25	内装工事	26	内装工事	27	内装工事	28	内装工事	
15	薄膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床材 薄膜流しのべ仕上げ(平滑) 厚膜流しのべ仕上げ(平滑) 樹脂モルタル仕上げ(平滑)	19	内装工事	20	ユニット及びその他の工事	20	ユニット及びその他の工事	21	内装工事	22	内装工事	23	内装工事	24	内装工事	25	内装工事	26	内装工事	27	内装工事	28	内装工事	
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45
22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
23	24	25	26	27	28	29	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
24	25	26	27	28	29	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
25	26	27	28	29	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
26	27	28	29	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
27	28	29	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
28	29	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	30	31	32	33
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	30	31	32	33	34
31	32	33	34	35	36	37	38	39	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	30	31	32	33	34	35
32	33	34	35	36	37	38	39	30	31	32	33	34	35											



内部仕上表					
室名	床	巾木	壁	天井	備考
男子・女子便所	モルタル下地の上 300角ノンスリップ磁器質タイル貼	コンクリート打放の上 磁器質タイル貼300角	腰：ケイカル板t=6下地の上磁器質タイル貼300角 杉板横貼 15×125 (本実目透し) WP塗2 見切縁：杉40×25 H=1,200		トイレベース、ライニング甲板、洗面カウンター、手摺 荷物掛けフック、点字録、汚垂石、ベビーチェア、鏡、便座クリーナー、 大便器、小便器、手洗器、紙巻器
多目的便所	同 上	同 上	同 上		荷物掛けフック、ベビーシート、鏡 大便器、手洗器、手摺、可動手摺、紙巻器 ねストメイト、ベビーチェア、フィッティングポート
機械室	モルタル金ゴテ	コンクリート打放	ケイカル板t=6下地の上EP塗		固定棚
用具入	モルタル金ゴテ	コンクリート打放	ケイカル板t=6下地の上EP塗		固定棚、モップ掛けパネル 流し
備考	木部見掛けはWP塗とする。内部：WP塗2 WP塗2：キシラデコール やすらぎ色（白木用）同等品 室名札				

外部仕上表	
屋根	カラーガリバリウム鋼板t0.4 横葺き いぶし銀色 アスファルト・ルーフィング 22kg/m <sup>2</sup>
	木毛セメント板下地 t 25 棟換気
	破風板及び鼻隠し：杉板20×200 鋼板巻き（屋根同材）
	化粧破風板及び化粧鼻隠し：杉板20×200 WP塗2
外壁	杉板下見板貼 t15×150 WP塗1 ステンレス釘留め アスファルト・ルーフィング 22kg/m <sup>2</sup>
	耐水合板下地 t15 (一部構造用合板t15)
	壁出隅 千鳥納め
天井・軒天	化粧野地板 t12×100 WP塗2 耐水合板下地 t12 軒裏換気口
巾木	土壁調吹付仕上 コンクリート下地 下地調整材
樋	軒樋：ガルバリウム鋼板 落ち葉除け付き
	縦樋：ガルバリウム鋼板製 75
備考	サイン（多目的・男子・女子トイレ用ピクト 触知図案内板 室名札） 浄化槽基礎（建築工事）浄化槽図による。 既設浄化槽 撤去（建築工事） 木部見掛けはWP塗とする。外部：H2450以下WP塗1 WP塗1：キシラデコール オリーブ色 同等品 軒樋、縦樋、鉄骨柱の塗装色は屋根材と同等色 外部廻り鋼製建具塗装色は、外壁材と同等色  宇治市風致地区条例に従い、外観廻りの色については監督職員と協議の上決定すること。

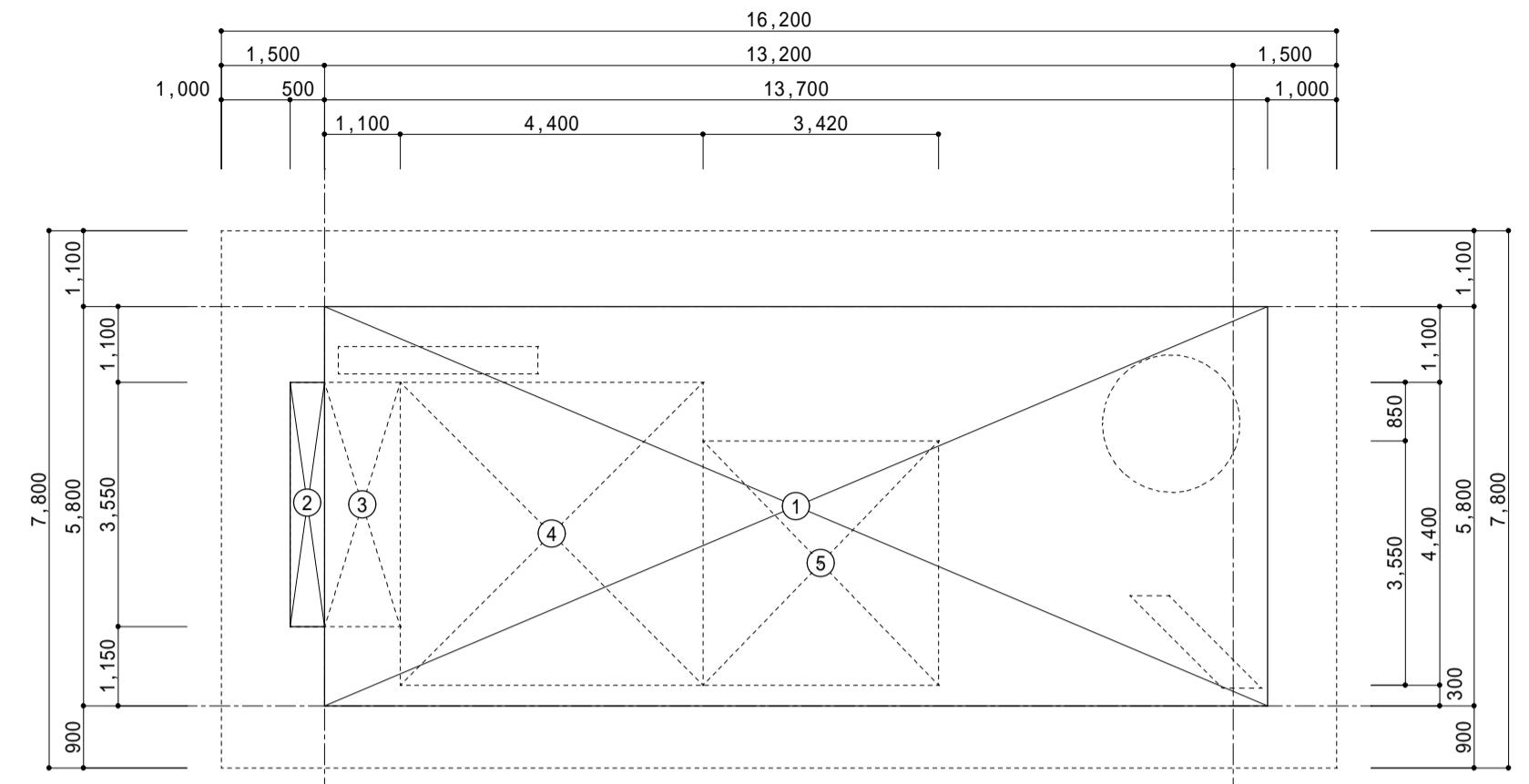
工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事（休憩施設等）	No.	A-11
図面名	仕上表	令和7年度	
宇治市役所建設部施設建築課			



工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事（休憩施設等）	No.	A-12
図面名	配置図・付近見取図	令和7年度	

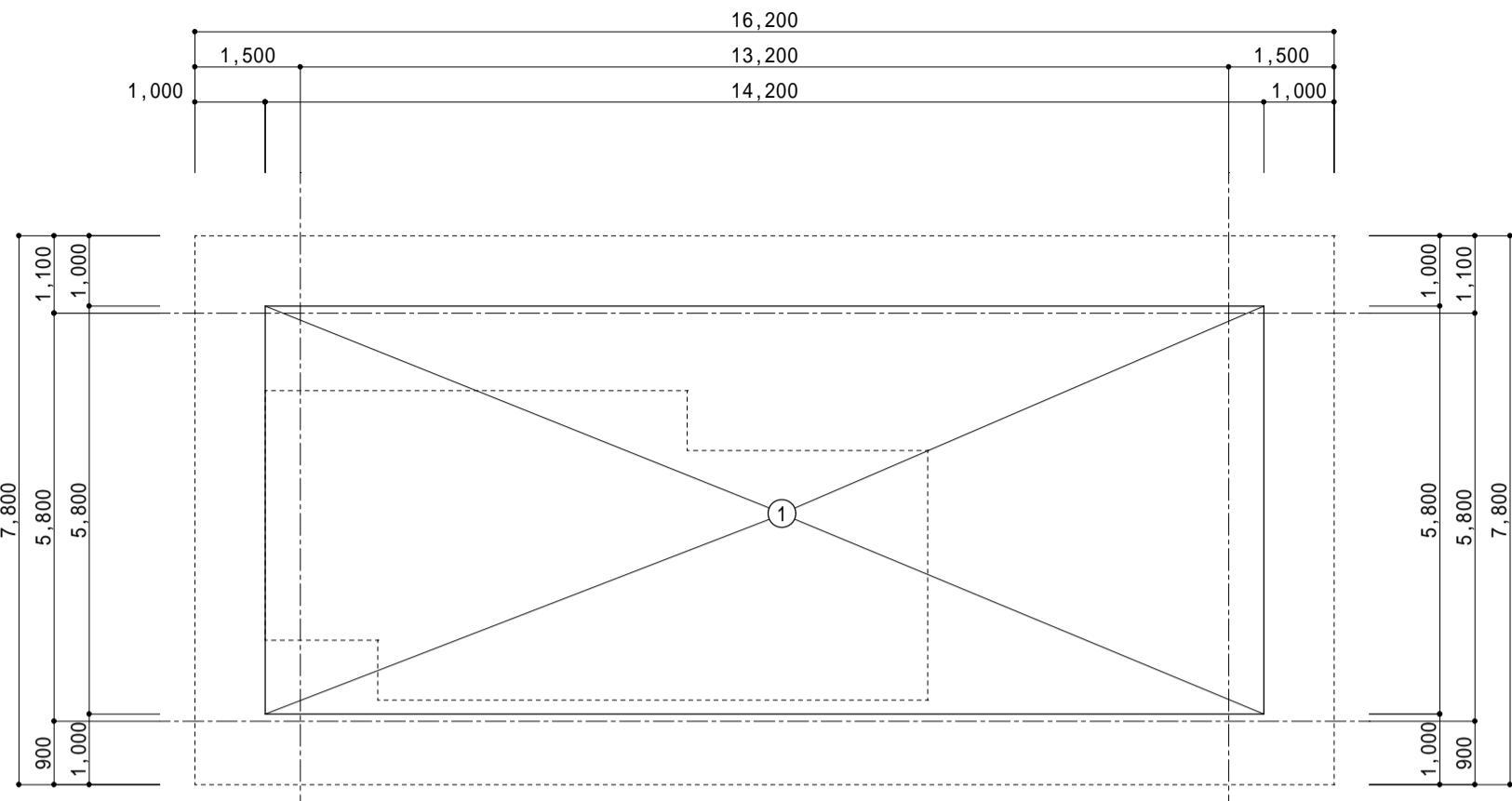
宇治市役所建設部施設建築課

床面積



床面積 S=1/100

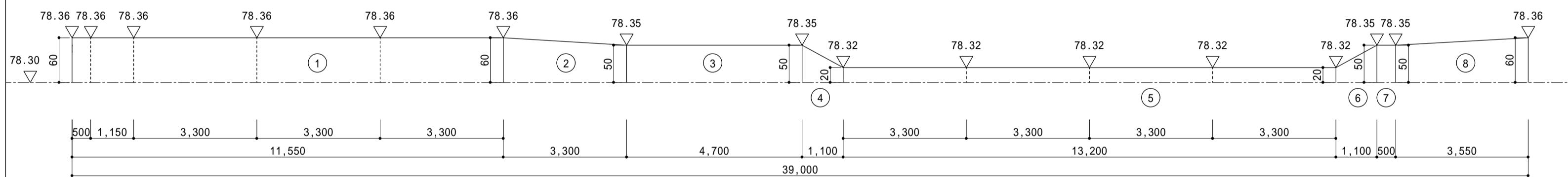
記号	計算式	面積(m <sup>2</sup> )
(2)	$0.50 \times 3.55$	1.775
(3)	$1.10 \times 3.55$	3.905
(4)	$4.40 \times 4.40$	19.360
(5)	$3.42 \times 3.55$	12.141
小計	床面積(公衆便所部分)	37.18 m <sup>2</sup>
	81.23 - 37.18	44.050
小計	床面積(休憩所部分)	44.05 m <sup>2</sup>



建築面積 S=1/100

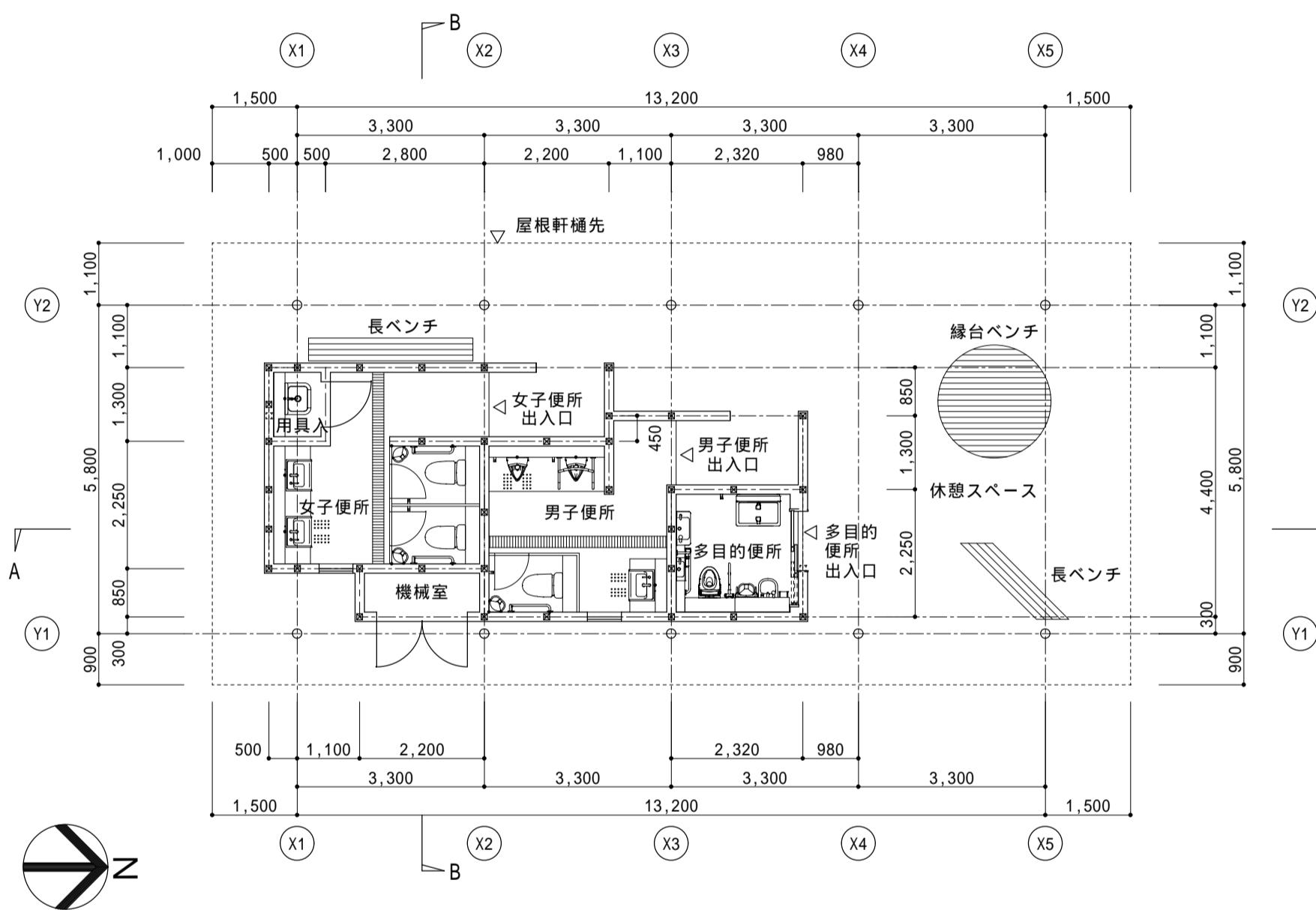
記号	計算式	面積
(1)	$13.70 \times 5.80$	79.460
(2)	$0.50 \times 3.55$	1.775
計	延床面積	81.23 m <sup>2</sup>

記号	計算式	面積
(1)	$14.20 \times 5.80$	82.360
計		82.36 $m^2$

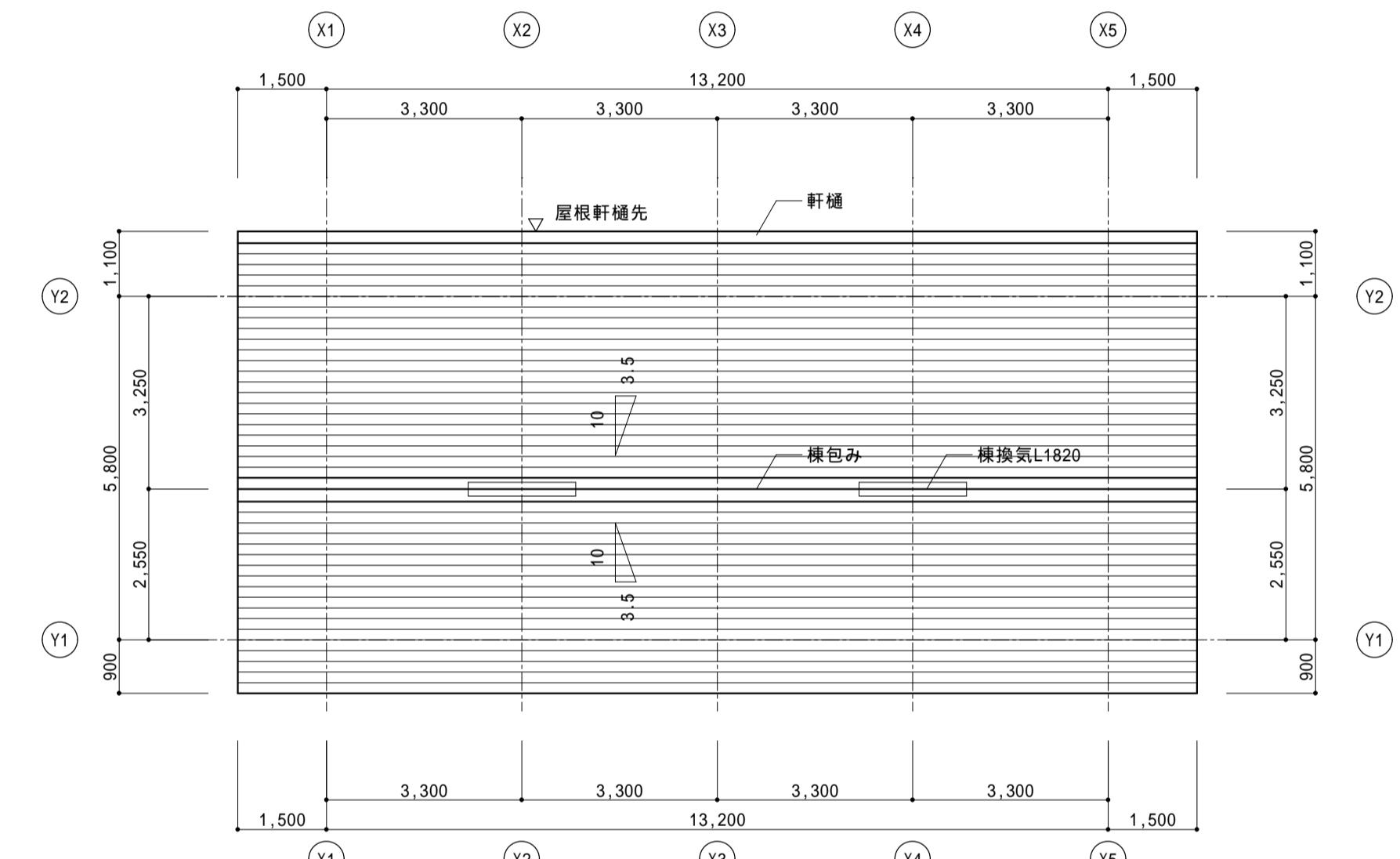


記号	計算式	面積(m <sup>2</sup> )
(1)	$0.060 \times 11.550$	0.6930
(2)	$(0.060 + 0.050) \times 3.300 \times 1/2$	0.1815
(3)	$0.050 \times 4.700$	0.2350
(4)	$(0.050 + 0.020) \times 1.100 \times 1/2$	0.0385
(5)	$0.020 \times 13.200$	0.2640
(6)	$(0.020 + 0.050) \times 1.100 \times 1/2$	0.0385
(7)	$0.050 \times 0.500$	0.0250
(8)	$(0.050 + 0.060) \times 3.550 \times 1/2$	0.1952
合計		1.6707
建物周長	39.000 m	
平均GL	$78.30 + (1.6707 \div 39.000) = 78.34$	78.30とする。

工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事（休憩施設等）	No.	A-13
図面名	建物求積図・平均GL検討図	令和7年度	
宇治市役所建設部施設建築課			

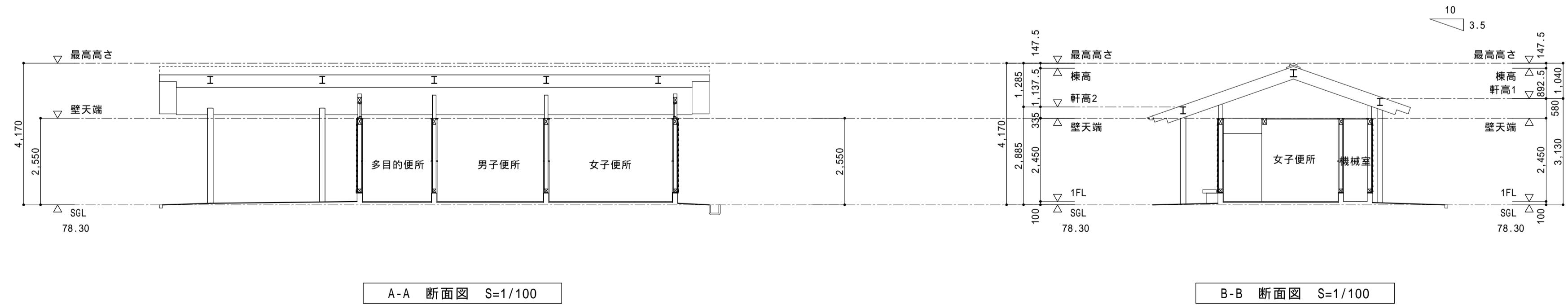
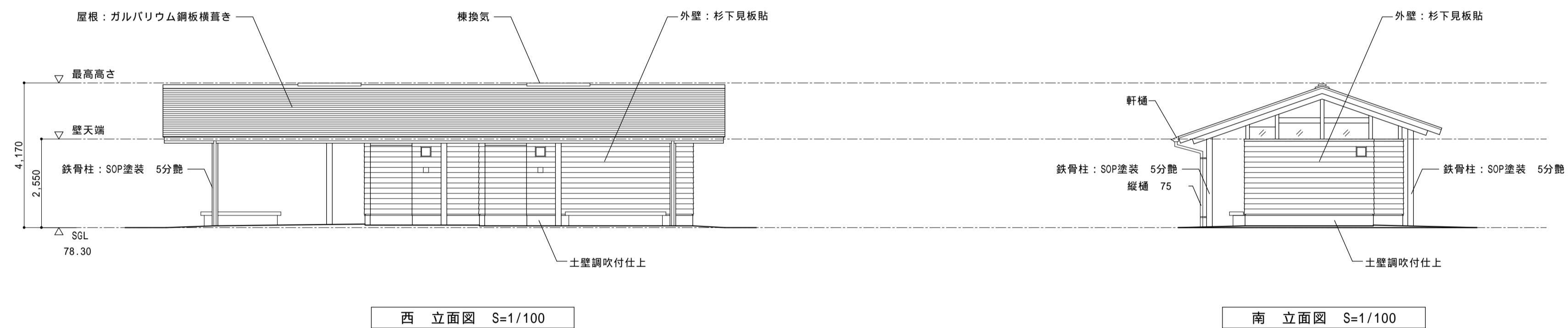
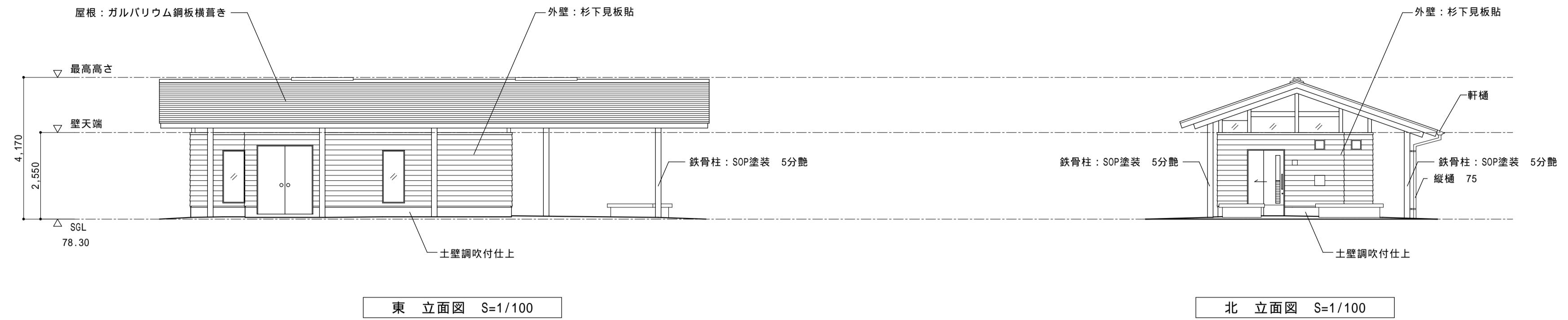


平面図 S=1/100



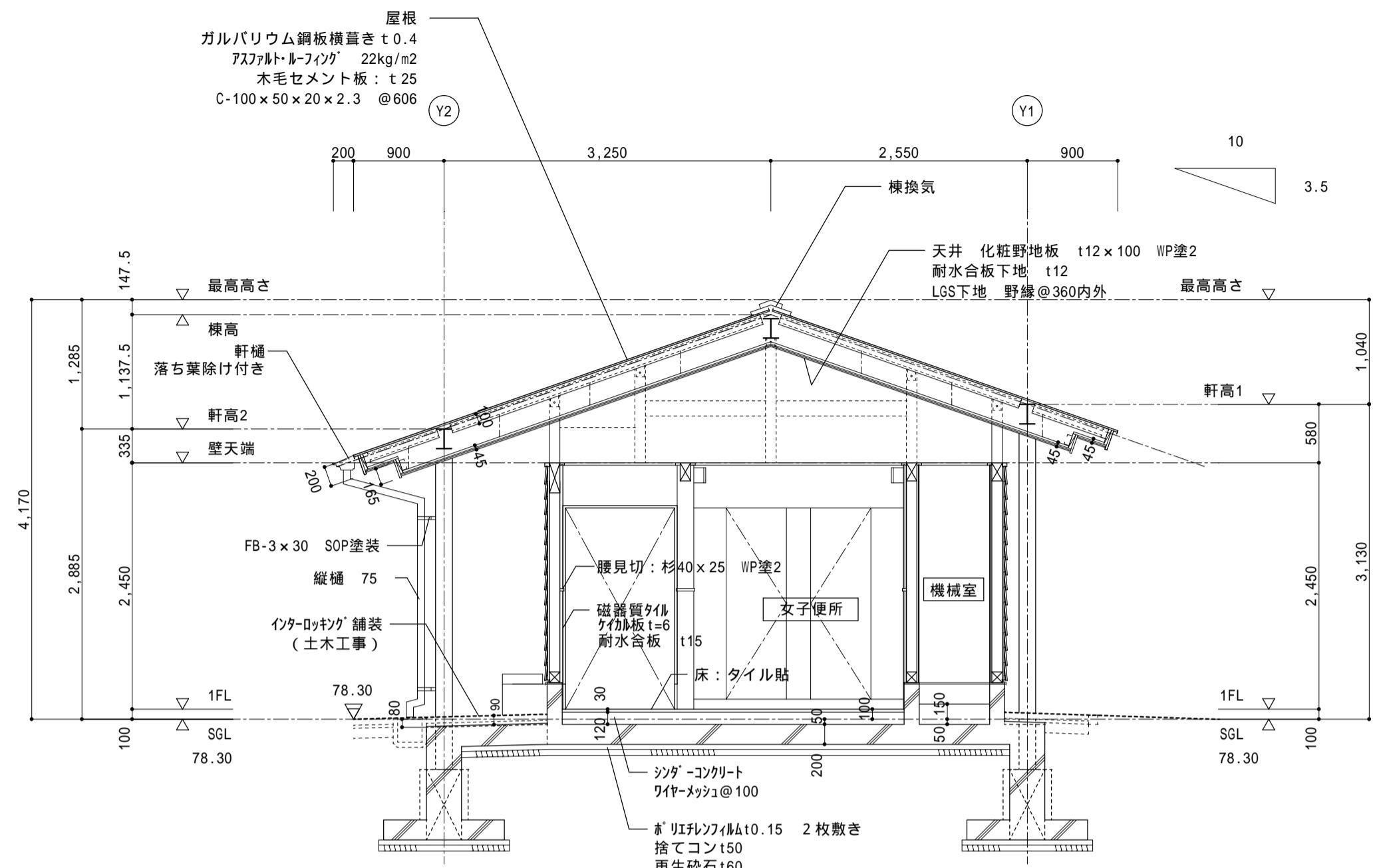
屋根伏図 S=1/100

工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事（休憩施設等）	No. A-14
図面名	平面図・屋根伏図	令和7年度

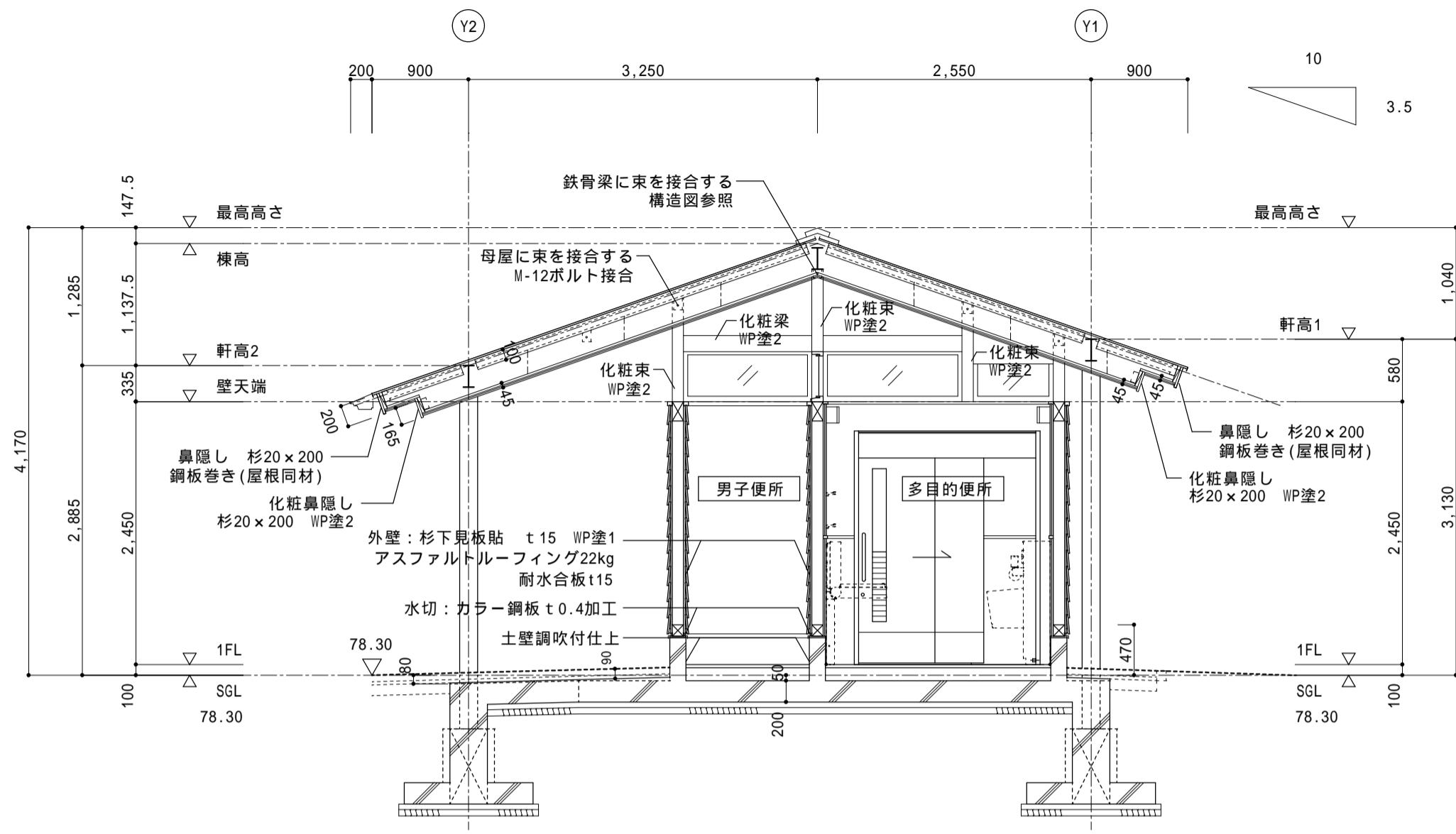


工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No.	A-15
図面名	立面図・断面図	令和7年度	

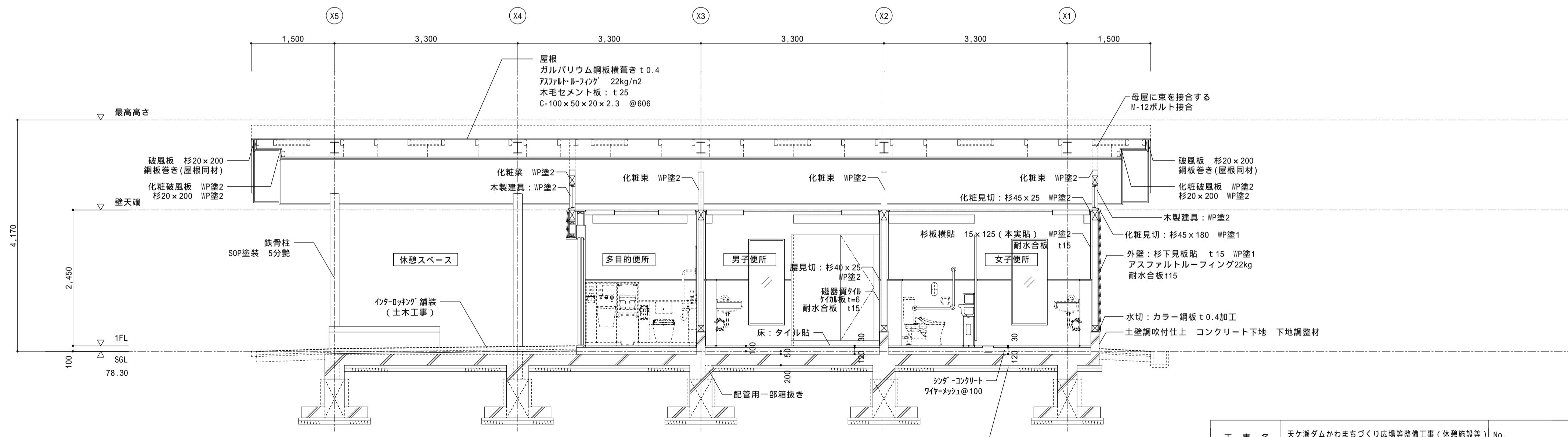
宇治市役所建設部施設建築課



B-B 断面詳細図 S=1/50

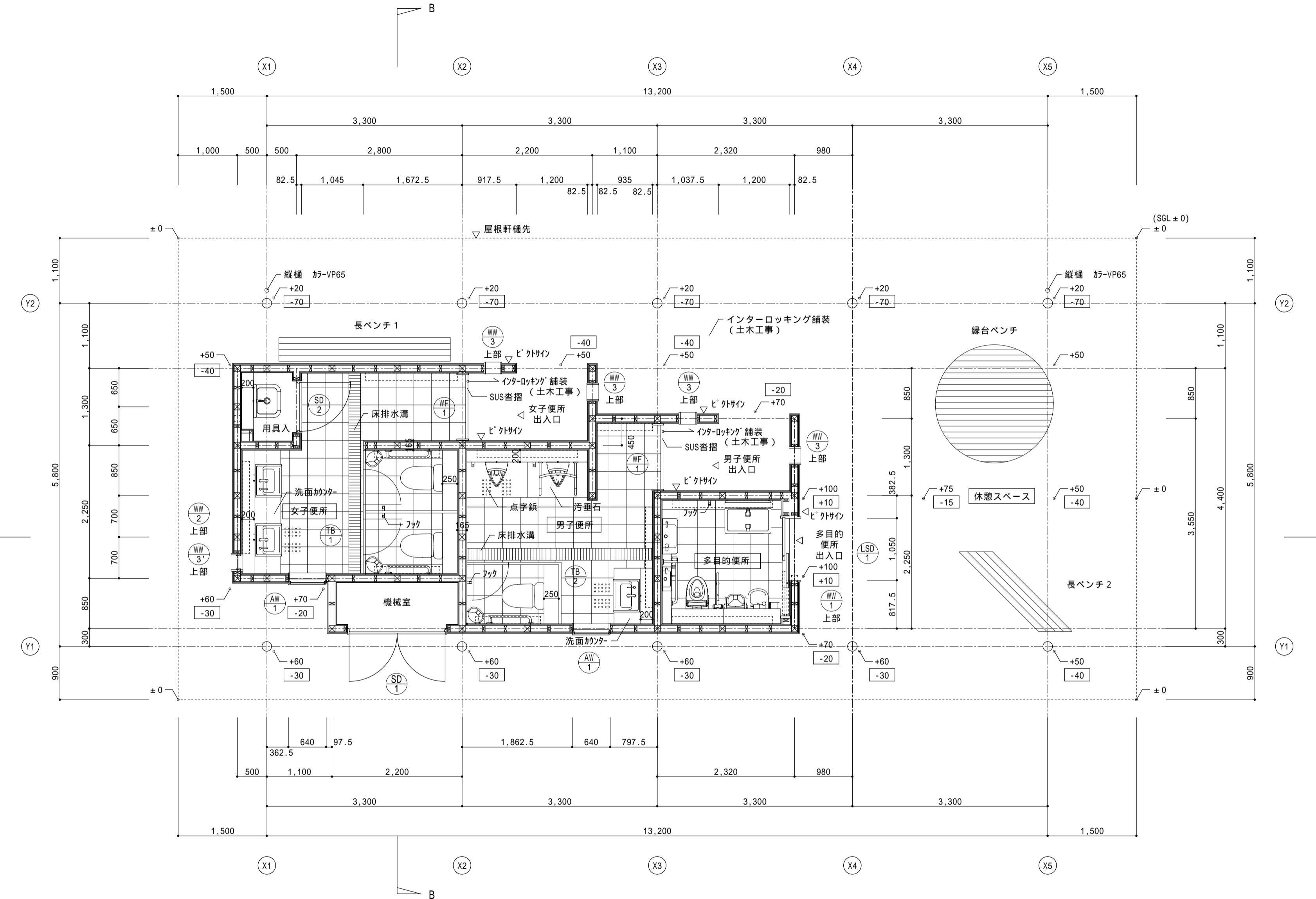


C-C 断面詳細図 S=1/50



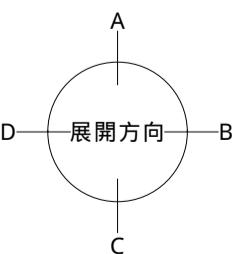
A-A 断面詳細図 S=1/50

工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事（休憩施設等）	No. A-16
図面名	断面詳細図	
		令和7年度
宇治市役所建設部施設建築課		

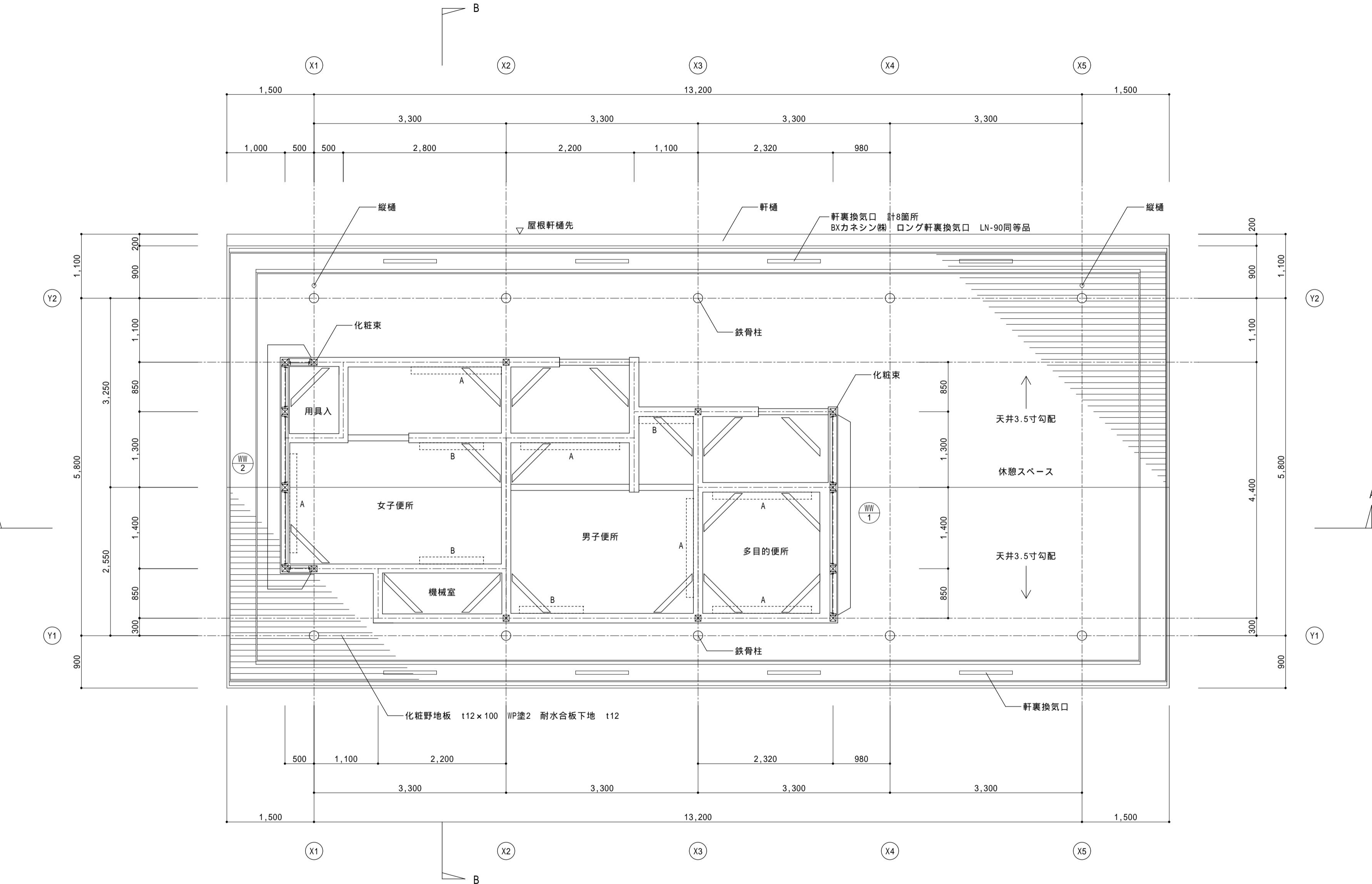


平面詳細図 S=1/50

+100 SGLからのインターロッキング舗装天端を示す(土木工事)  
+10 SGLからのコンクリート床スラブ天端を示す



工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No.	A-17
図面名	平面詳細図	令和7年度	

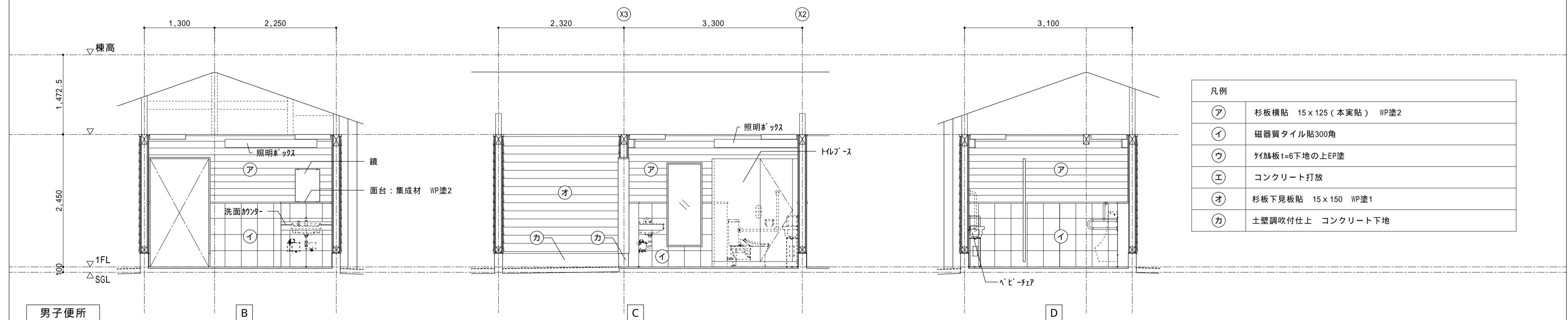
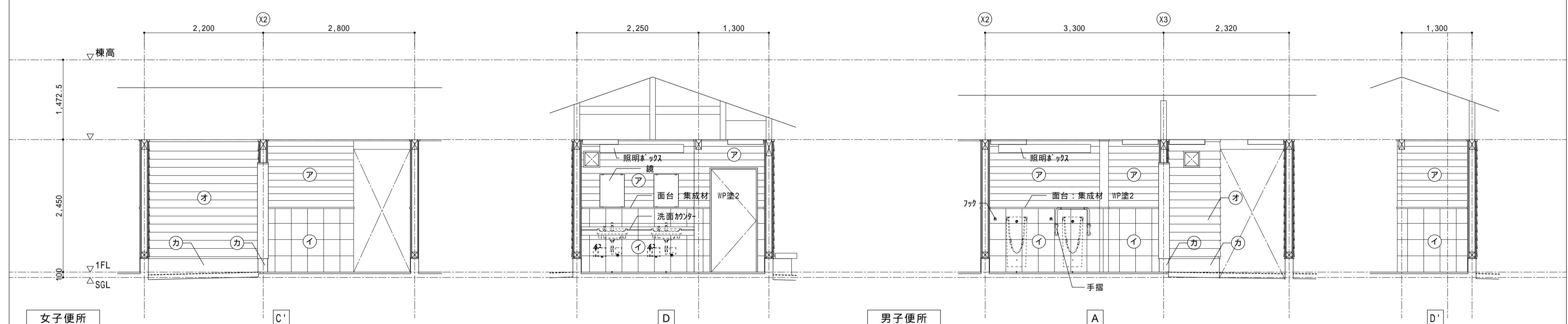
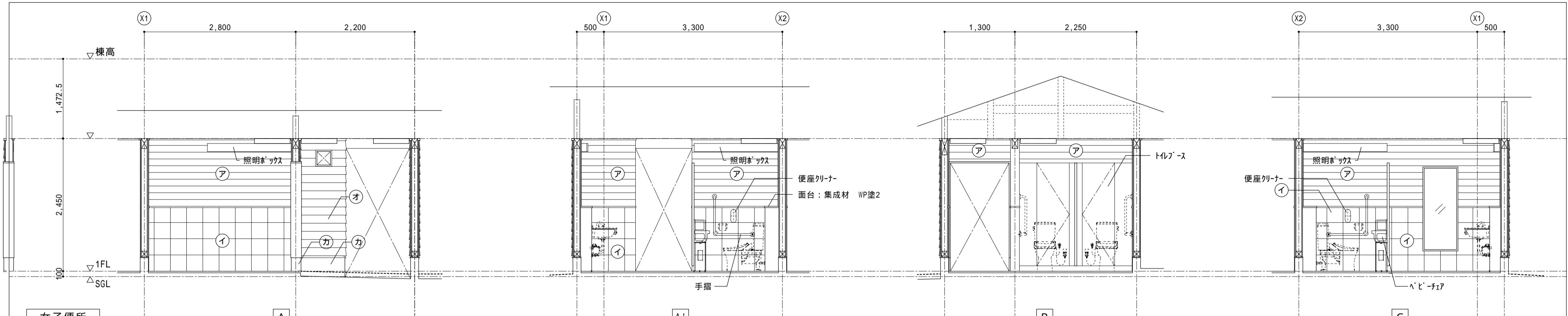


天井伏図 S=1/50

照明ボックス L1700 を示す。

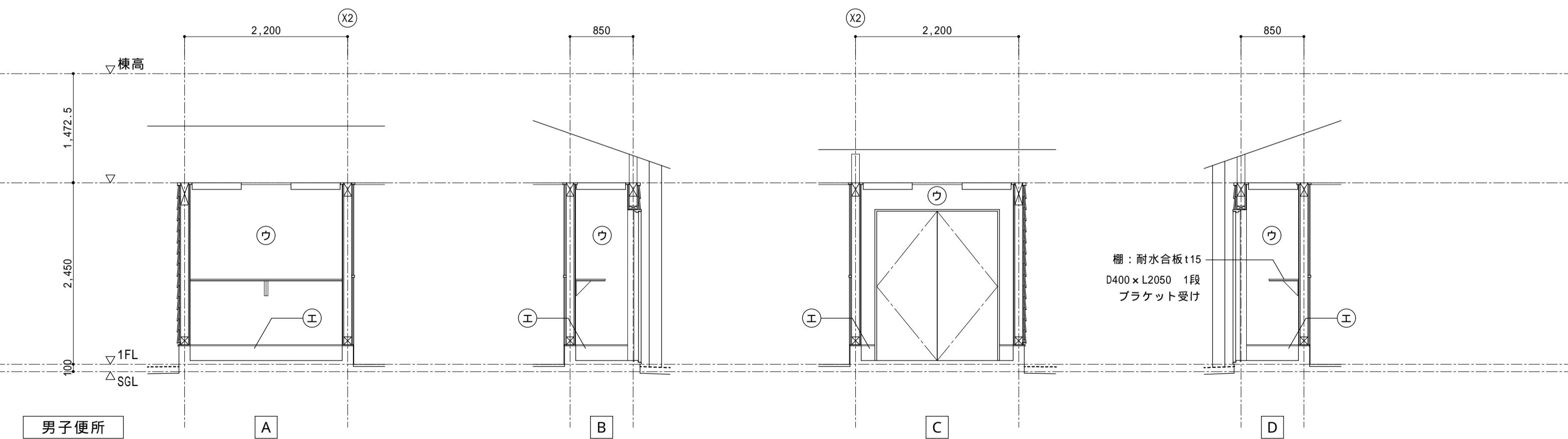
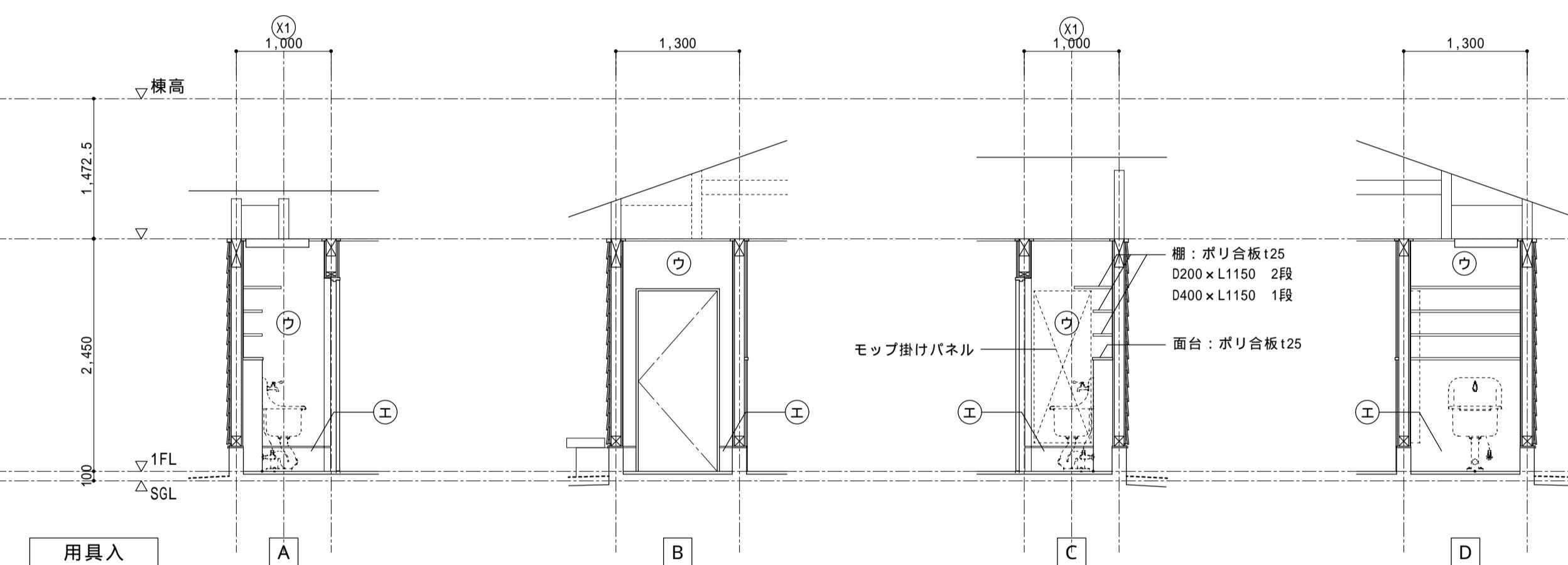
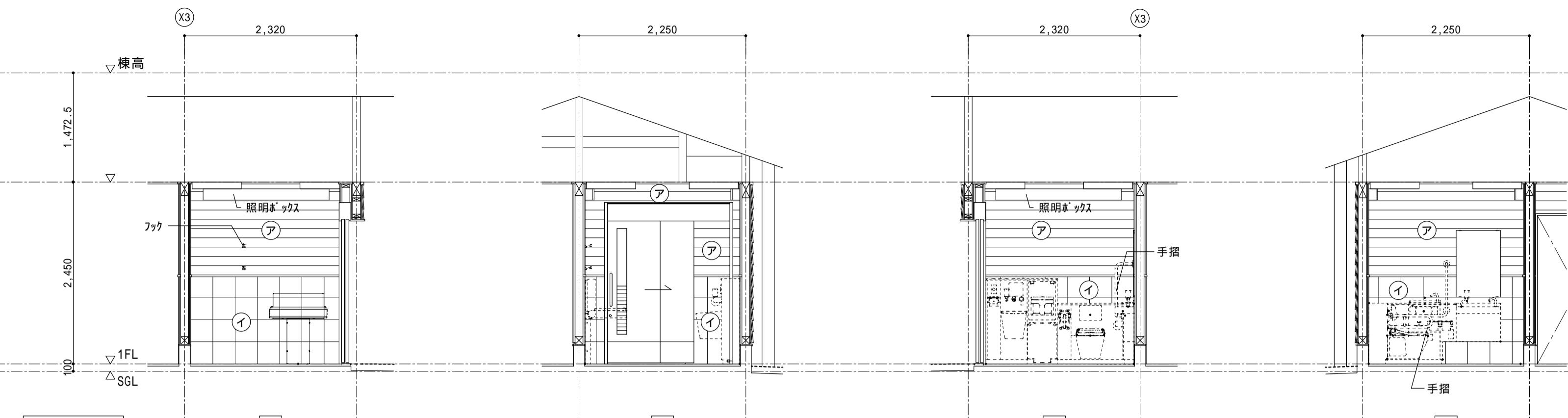
照明ボックス L1100 を示す。

工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No. A-18
図面名	天井伏図	令和7年度



凡例	
(ア)	杉板横貼 15×125 (本実貼) WP塗2
(イ)	磁器質タイル貼30角
(ウ)	ケイカル板t=6下地の上EP塗
(エ)	コンクリート打放
(オ)	杉板下見板貼 15×150 WP塗1
(カ)	土壁調吹付仕上 コンクリート下地

工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No.	A-19
図面名	展開図1		
令和7年度			
宇治市役所建設部施設建築課			

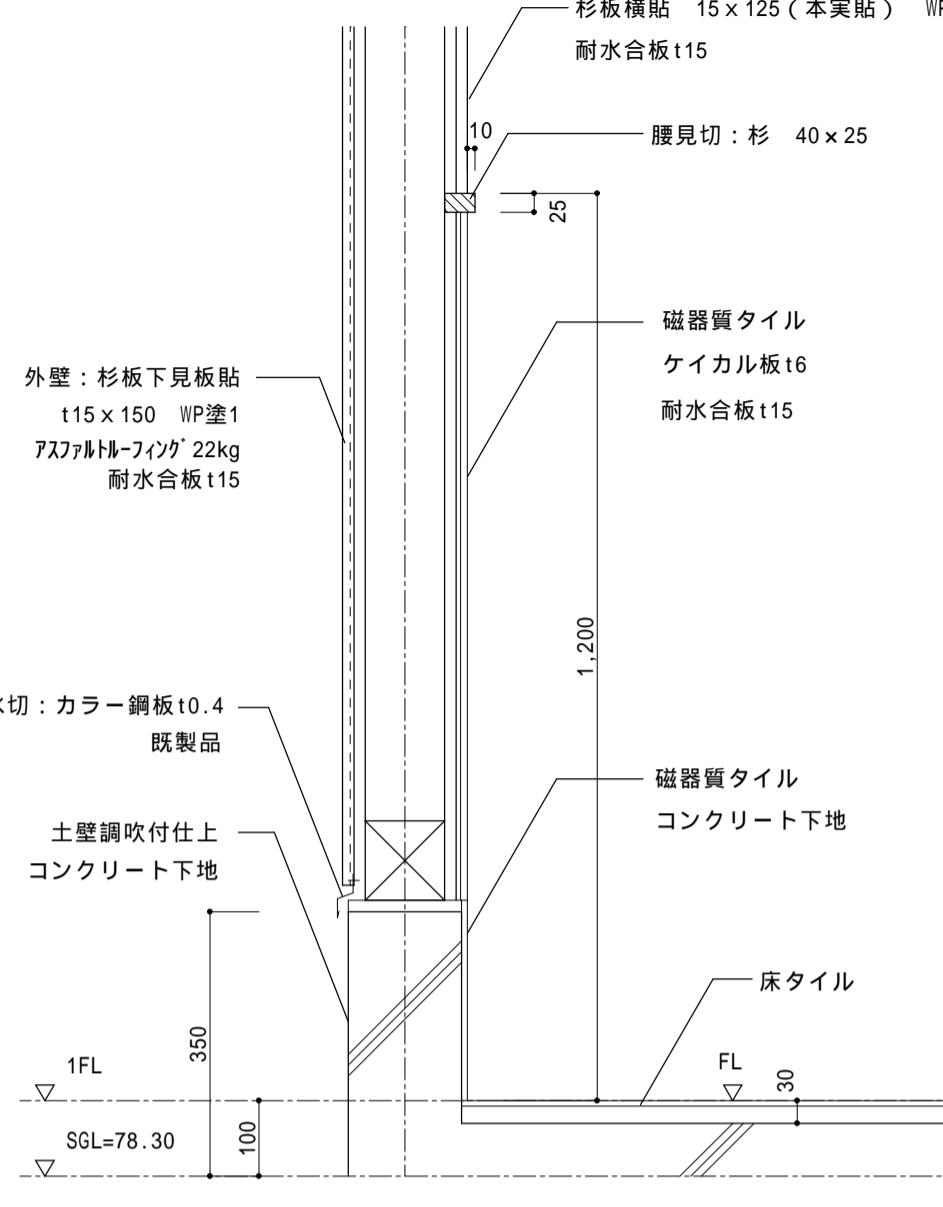
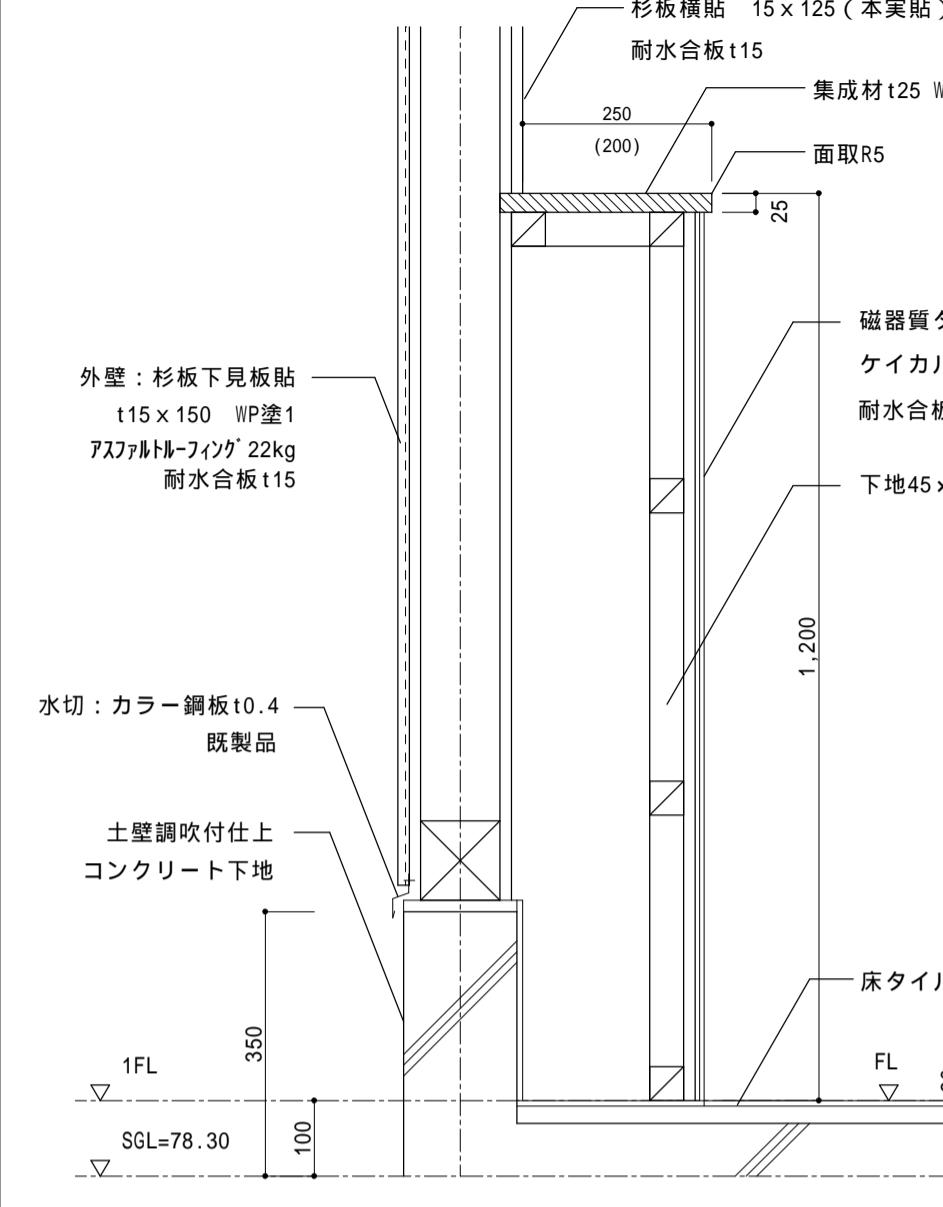
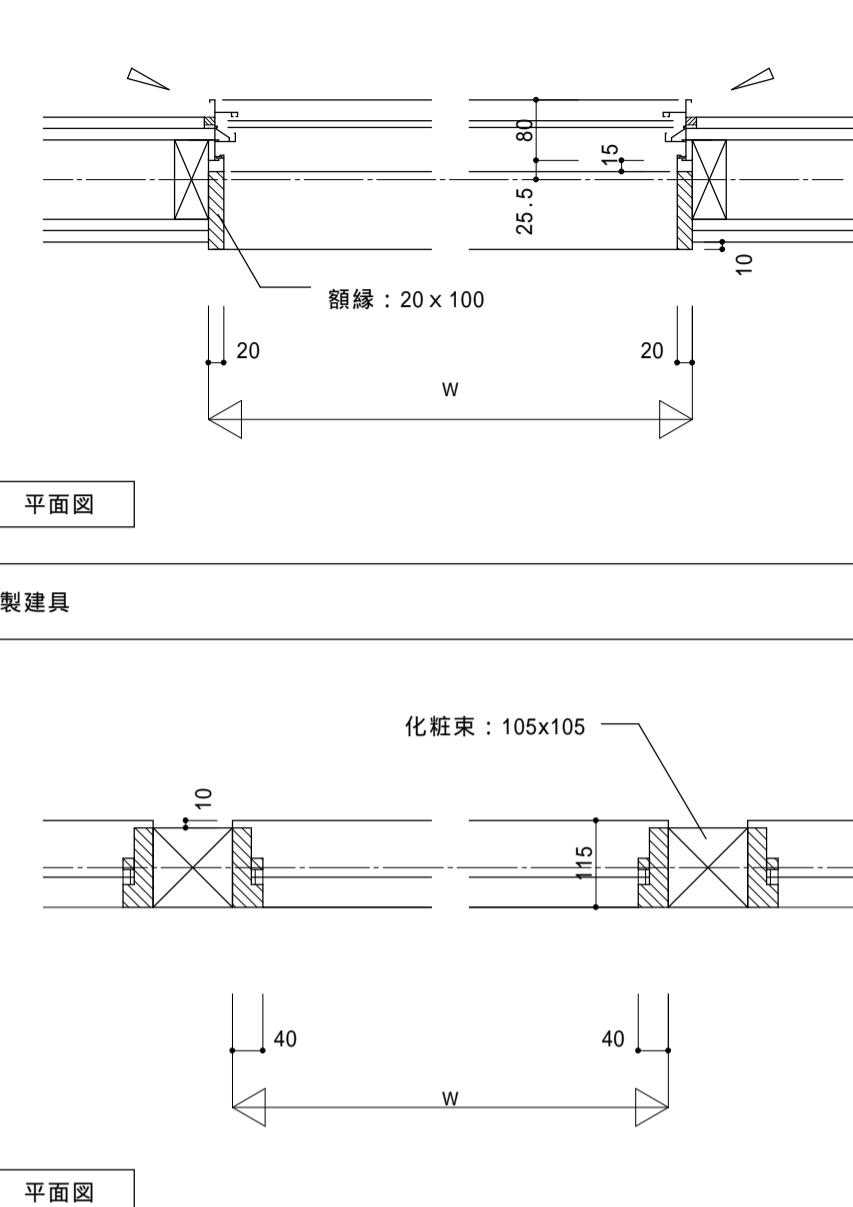
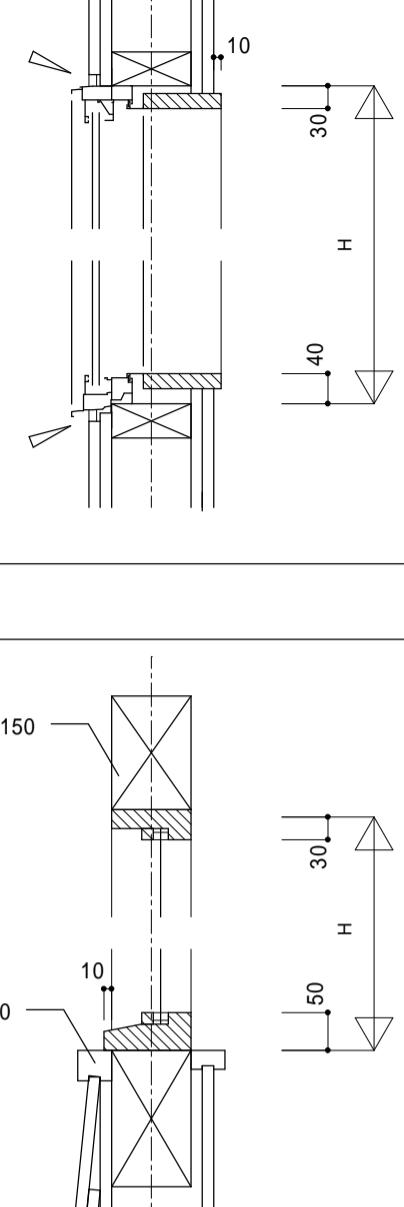
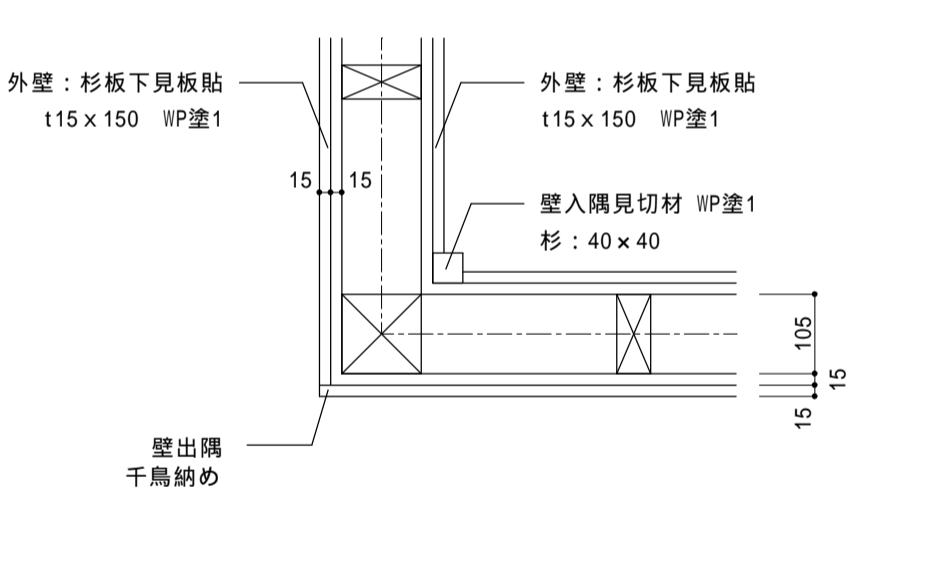
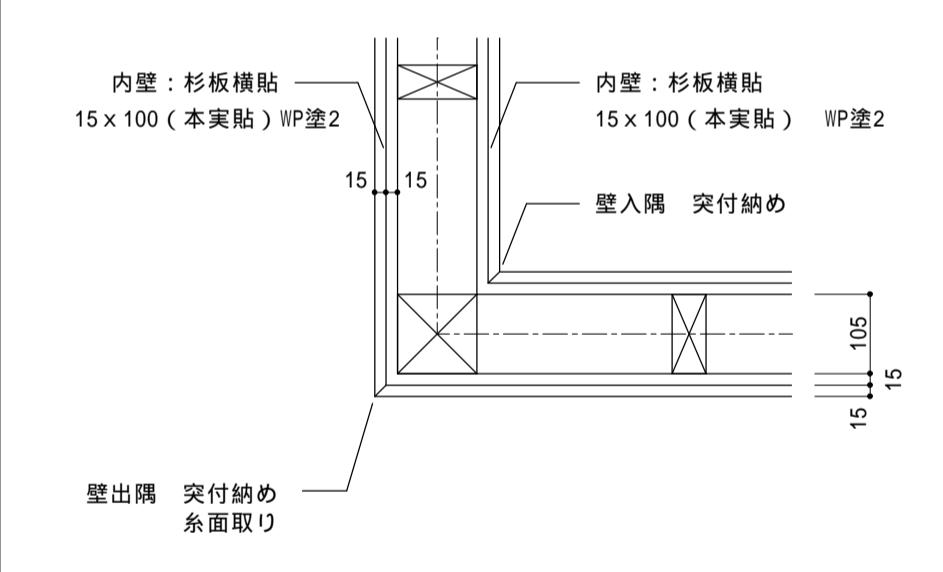
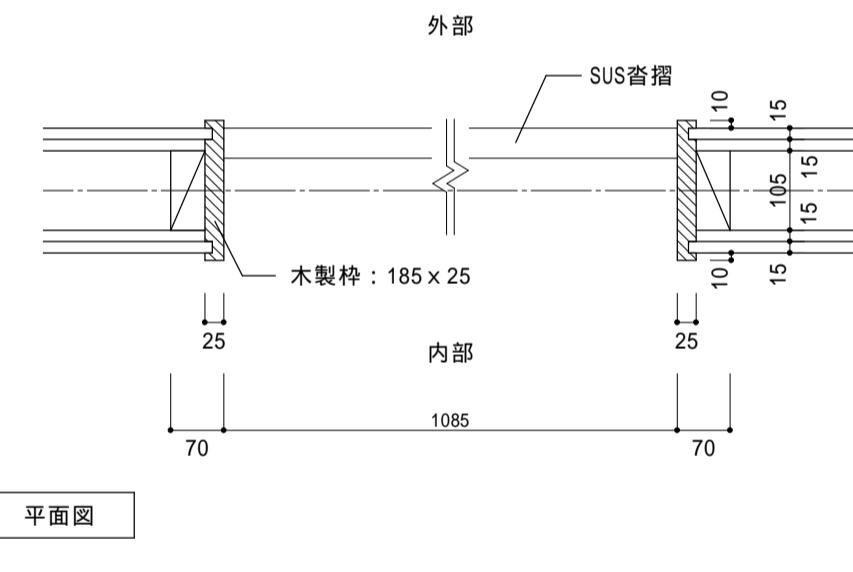
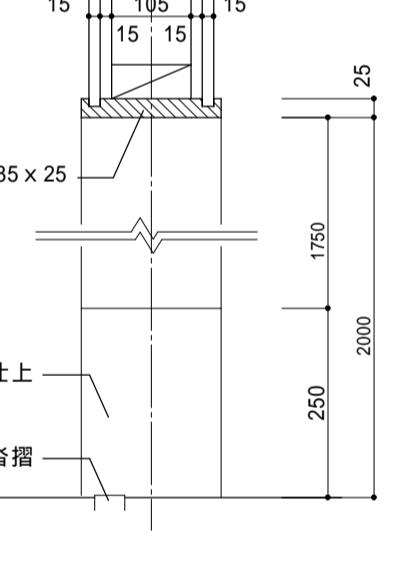
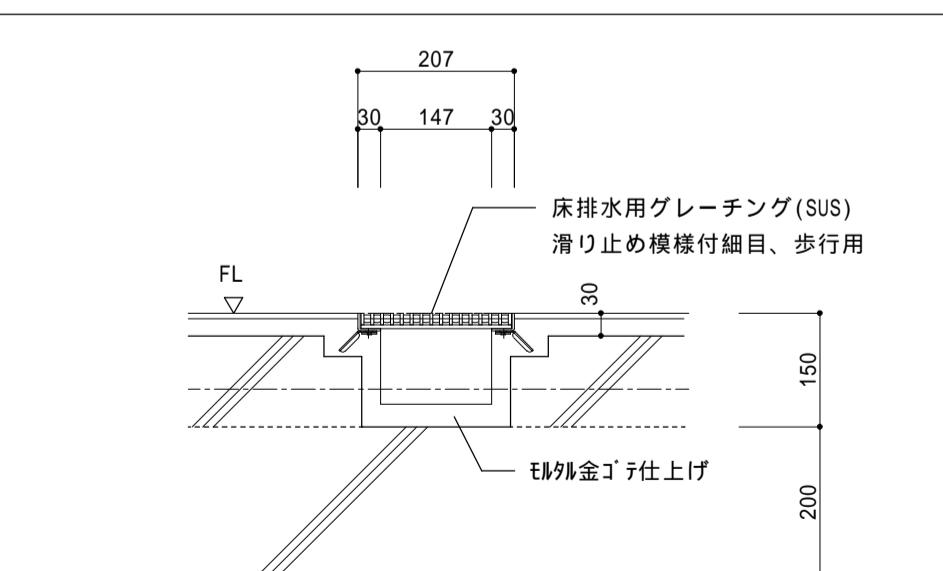
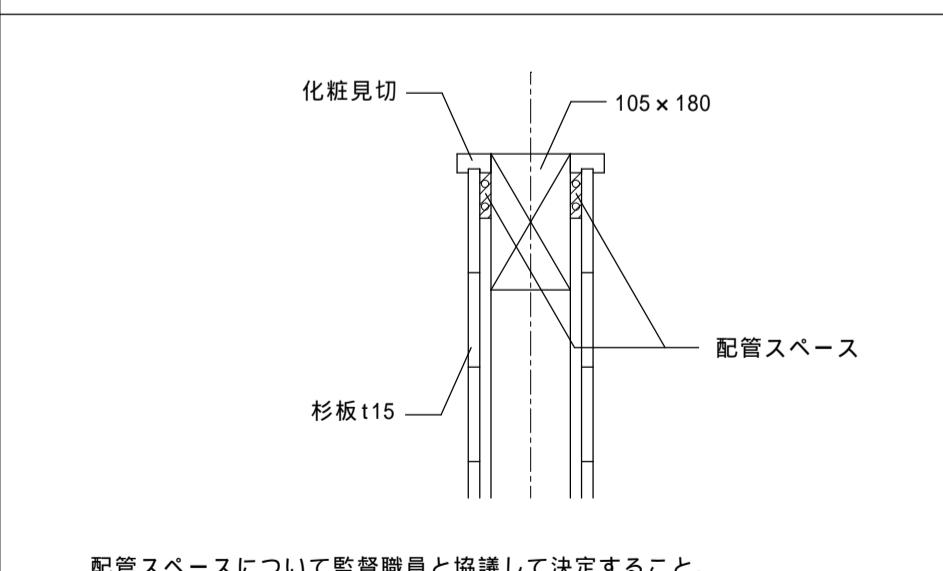
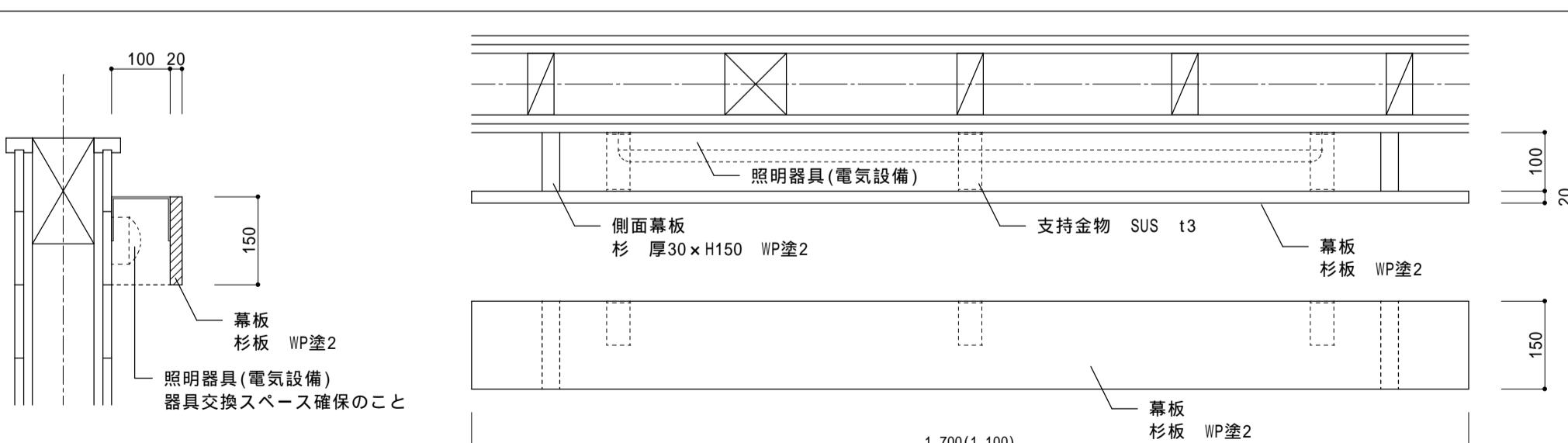


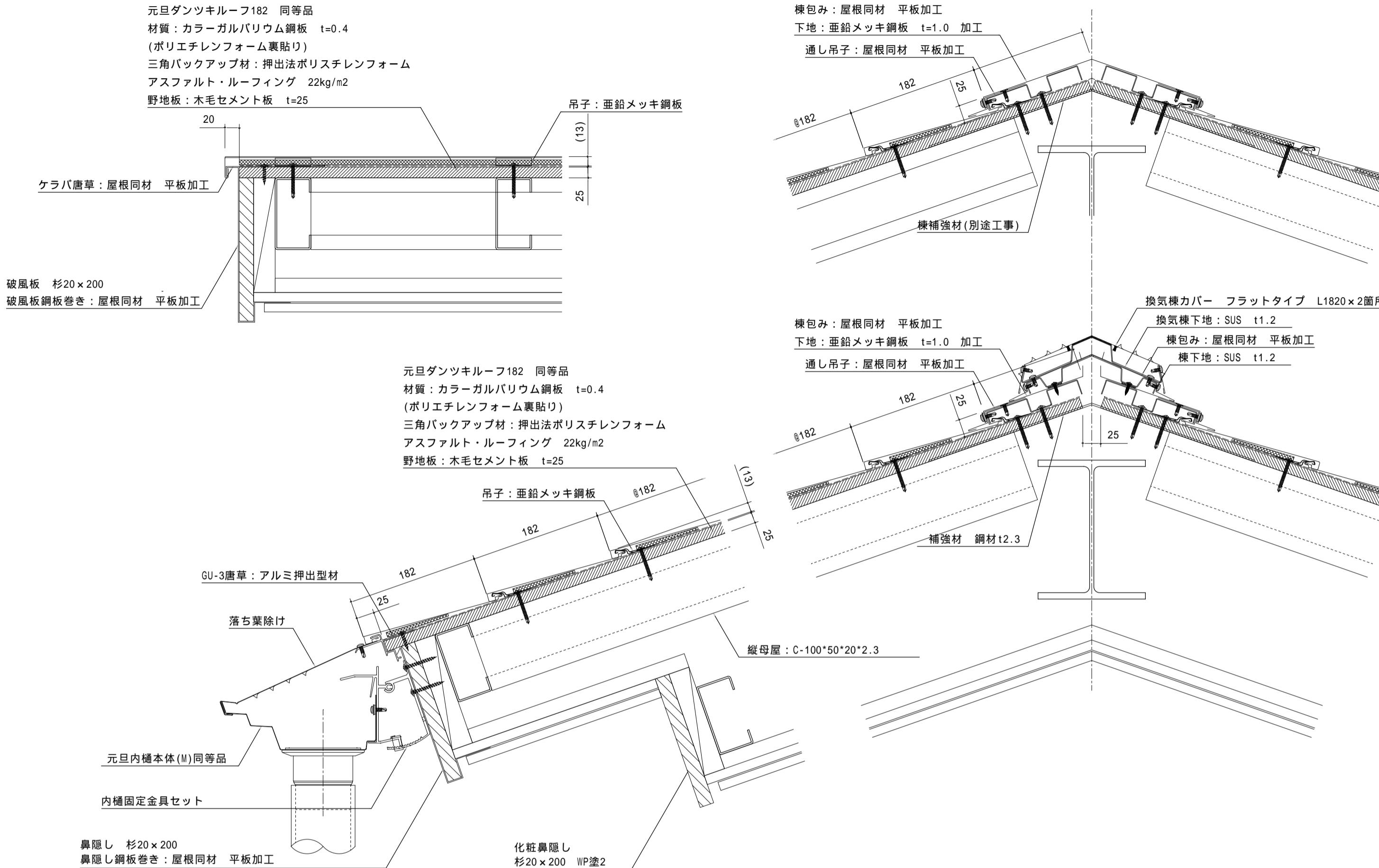
凡例	
(ア)	杉板横貼 15×125 (本実貼) WP塗2
(イ)	磁器質タイル貼30角
(ウ)	ケイカル板 t=6下地の上EP塗
(エ)	コンクリート打放
(オ)	杉板下見板貼 15×150 WP塗1
(カ)	土壁調吹付仕上 コンクリート下地

工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No.	A-20
図面名	展開図2	令和7年度	

宇治市役所建設部施設建築課

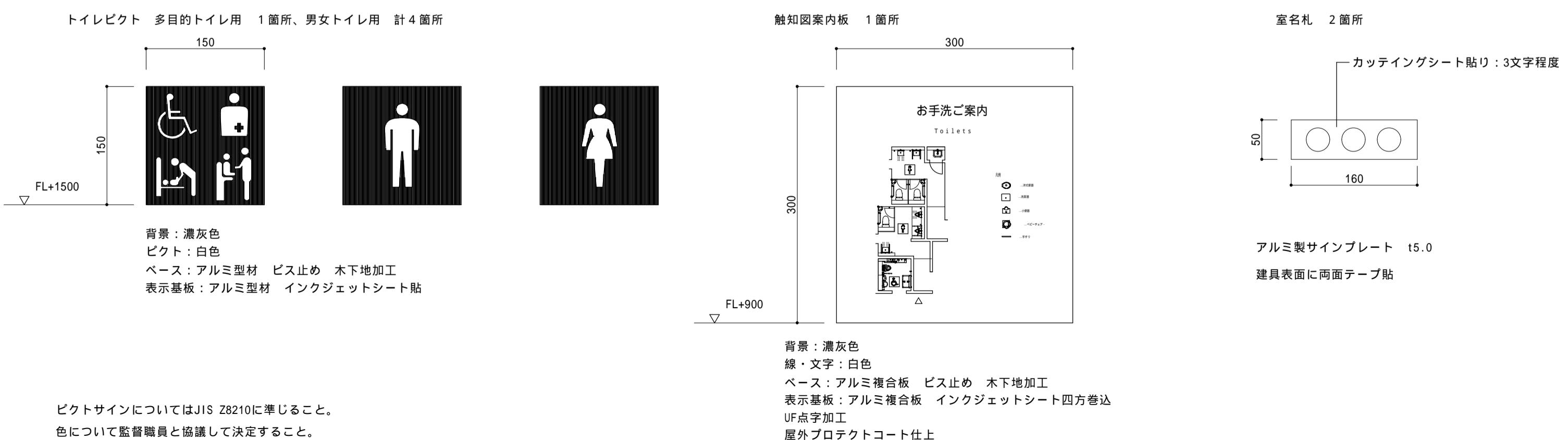
1 記号 位置		壁面上部 x 1		壁面上部 x 1		壁面上部 WW3 x 4、WW3' (女子便所内) x 1				
2 種別	木製FIX窓	木製FIX窓	木製FIX窓	木製FIX窓	木製FIX窓	木製FIX窓				
3 寸法状										
4 材質	木製	木製	木製	木製	木製	木製				
5 見込	【枠】105	【枠】105	【枠】200							
6 硝子	FL5	FL5	F4(WW3'のみ)							
7 仕上	WP塗装	WP塗装	WP塗装							
8 金物										
9 備考										
1 記号 位置		男子・女子便所 x 2		機械室 x 1		用具入 x 1		多目的便所 x 1		男子・女子便所 x 2
2 種別	三方枠	両開きフラッシュドア	片開きフラッシュドア	自閉式二重片引きハンガーフラッシュ戸	FIX窓					
3 寸法状										
4 材質	木製	【枠】スチール 【扉】スチール	【枠】スチール 【扉】スチール	【枠】スチール 【扉】亜鉛メッキ鋼板(ペーパーハニカム)	アルミ					
5 見込	【枠】200	【枠】100 【扉】40	【枠】100 【扉】40	【枠】344 【扉】40	【枠】80					
6 硝子				F4、ガラリ	F4					
7 仕上	WP塗装	SOP塗装	SOP塗装	化粧鋼板(縦木目)	二次電解着色					
8 金物	沓摺SUS 40×18×t2.0	ケースハンドル、本締錠、SUS丁番、フランス落し下枠SUS	ケースハンドル、本締錠、SUS丁番、戸当り 沓摺SUS 40×18×t2.0	戸当り、指挟みか防防止コム、棒状取手(木製クリップ) 引戸錠、内部サムターン ハンガーレール、ガイド金物、付属金物一式、沓摺SUS	付属金物一式					
9 備考			扉: アンダーカット							
1 記号 位置		共通		女子便所 x 1		男子便所 x 1				
2 種別	トイレブース	トイレブース	トイレブース							
3 寸法状										
4 材質		メラミン樹脂パネル+ペーパーコア	メラミン樹脂パネル+ペーパーコア							
5 見込		パネル厚40	パネル厚40							
6 硝子										
7 仕上		パネル表面材: メラミン樹脂化粧板	パネル表面材: メラミン樹脂化粧板							
8 金物		SUS サポート仕様 丁番他金物一式	SUS サポート仕様 丁番他金物一式							
9 備考										
							工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No.	A-21
							図面名	建具表	令和7年度	
							宇治市役所建設部施設建築課			

腰壁(内部)	S=1/10	ライニング詳細	S=1/10	アルミ製建具	S=1/10
					
壁コーナー部納まり(外部)	S=1/10	壁コーナー部納まり(内部)	S=1/10	木製出入口枠	S=1/10
					
床排水用グレーチング	S=1/10	電気配管スペース	S=1/10	照明ボックス	S=1/10
					
工事名 天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等) 図面名 部分詳細図1 宇治市役所建設部施設建築課					
No. A-22 令和7年度 					



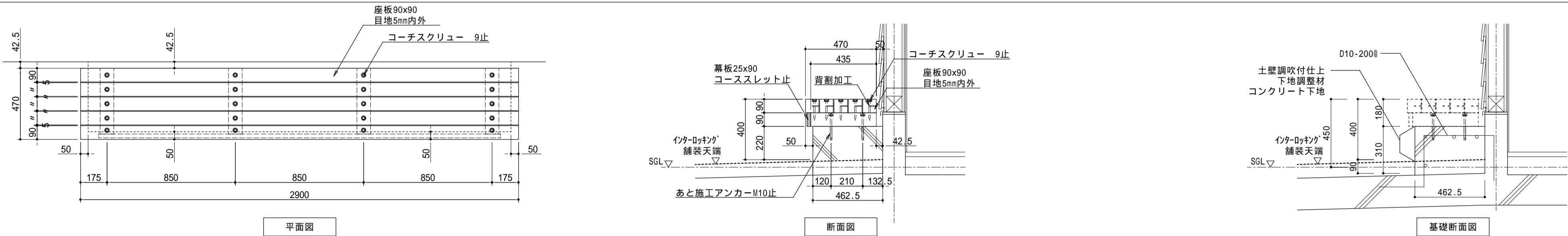
## 室名札・サイン

S=1/5



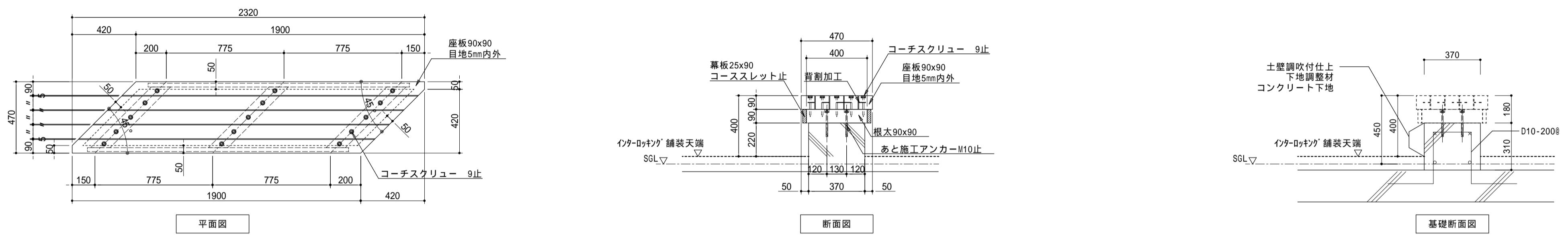
工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No.	A-23
図面名	部分詳細図 2	令和7年度	

宇治市役所建設部施設建築課



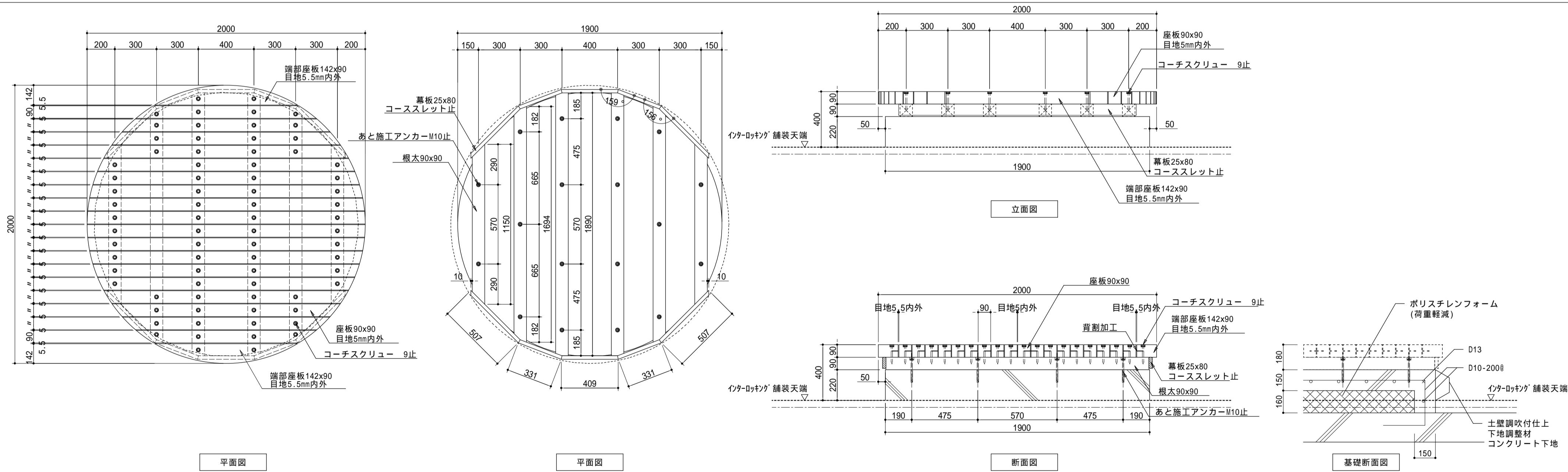
長ベンチ 2

S=1/20



縁台ベンチ

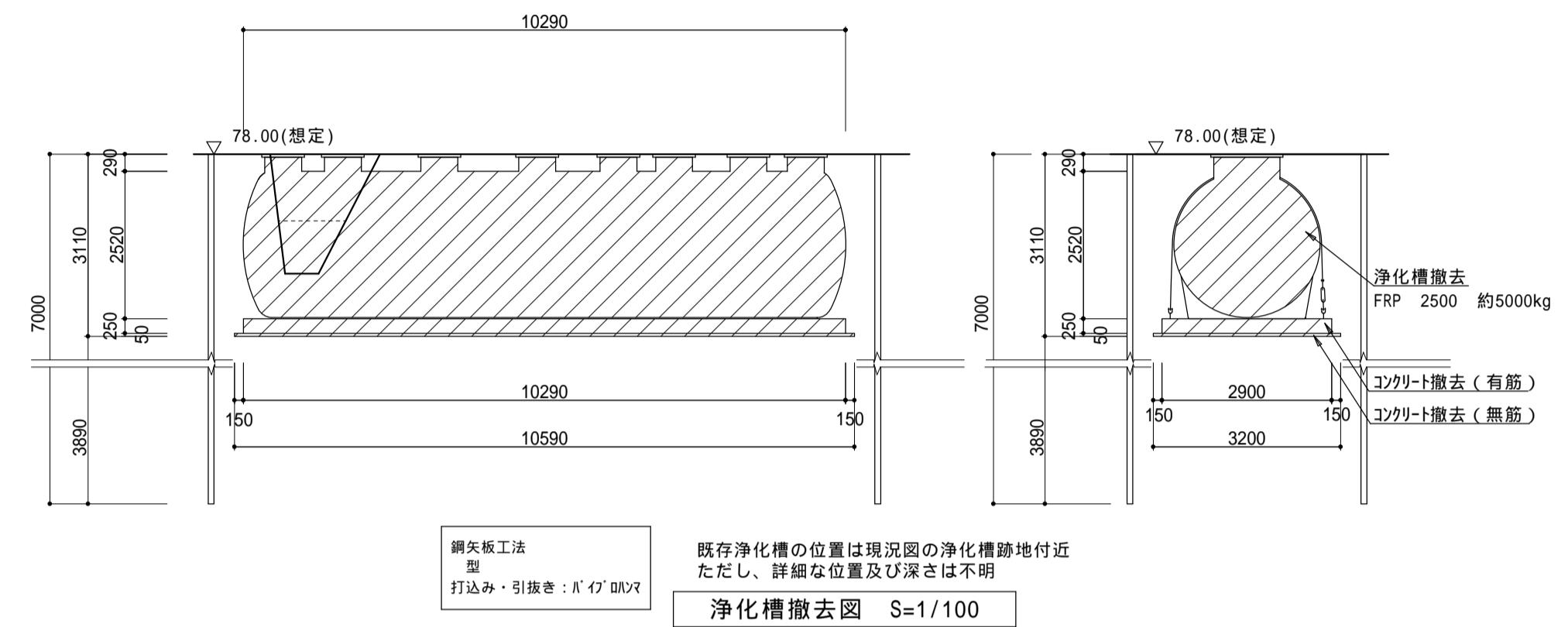
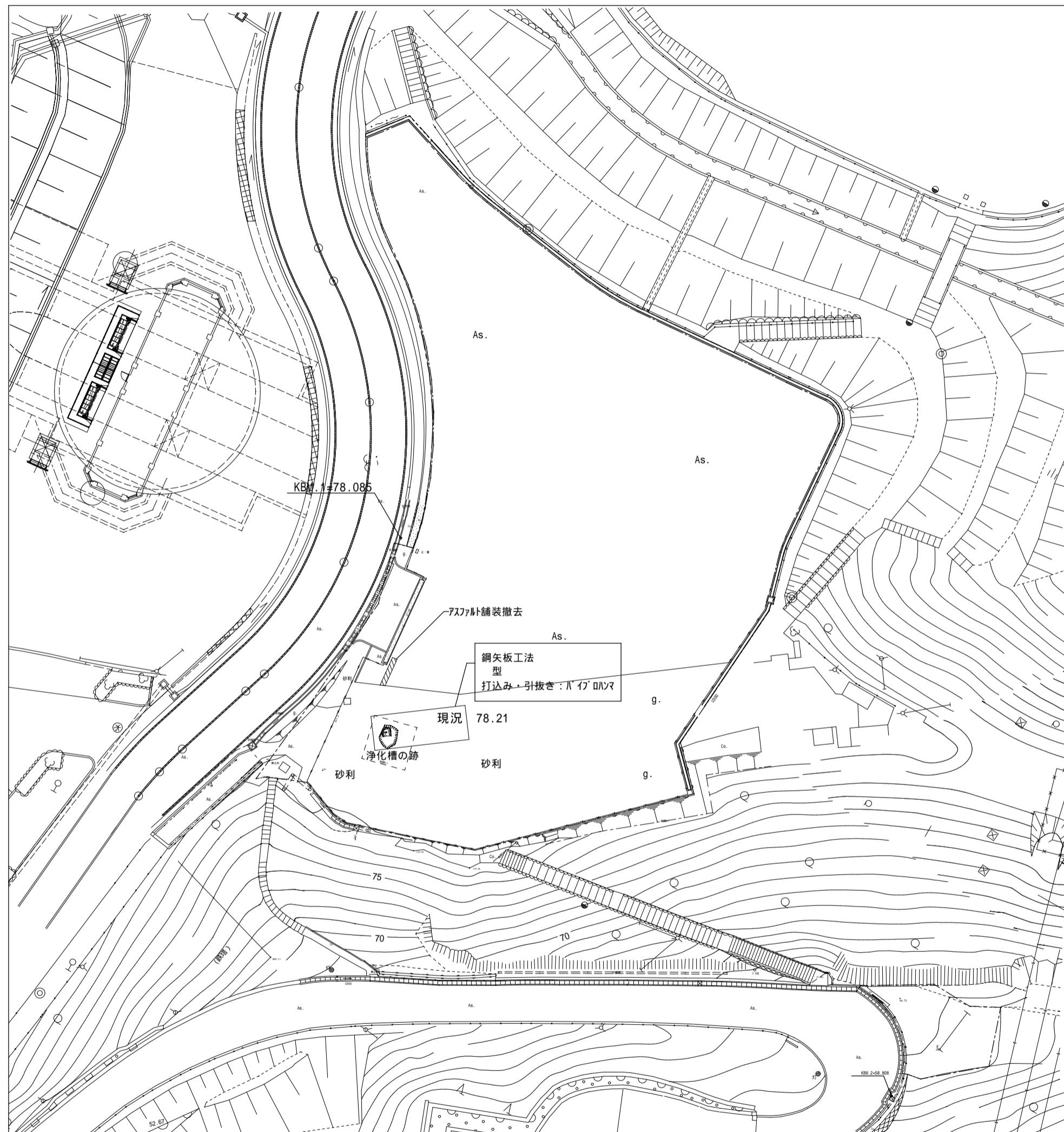
S=1/20



### 特記事項

木材	木材は京都府産杉材（角材はプレーナー加工）を使用する。	ボルト類	ボルト・コーチスクリューは、溶融亜鉛めっきとする。
	木材は薬剤注入に適するように天然、又は人工乾燥処理を行う。		木ねじ類は、ステンレスとする。
木材	木材は全て加工後、AZNA ベンタキュアECO30木材保存剤を加圧注入処理する。	座堀	見え掛け（木材表面）のボルト・コーチスクリューは座堀内に納める。
	加圧注入方法はJIS A 9002による。		見え掛けの座堀は、シリコンキャップをつける。
木材	木材の見え掛け部は面取を行なう。	製品保証	2年、木部の腐朽に関しては5年の保証とする。
	木材の見え掛け部は木材表面保護塗料ワーメックスS塗装とする。		本製品は（一社）日本公園施設業協会の総合賠償責任保険加入品とする。
木材	塗装色は、チークとする。	本製品	（一社）日本公園施設業協会のSP表示認定企業にて製作する。
	座板は側面に背割を行なう。深さは、図示無き限り、木材の1/2までとする。		設計条件や商品改良によって図面を変更する場合があります。
木材	根太上面にサンプレザーオーGR塗布する。	本製品	

工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事（休憩施設等）	No. A-24
図面名	部分詳細図3	
		令和7年度



現況図 S=1/500

0 10 20 50m



工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No.	A-25
図面名	現況撤去図	令和7年度	

宇治市役所建設部施設建築課

木質工事特記仕様書																																																																																																																																																																																																																																																																								
1. 一般事項																																																																																																																																																																																																																																																																								
<p>(1) 適用範囲 本仕様書は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。 木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造組工法に適用する。</p> <p>(2) 設計図書 設計図書とは標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。</p> <p>(3) 準拠する図書 設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（全て最新版による。）            「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）            「公共建築工事標準仕様書 平成25年版」（国土交通大臣官房営業部監修）            「木造計画・設計基準 平成23年版」（国土交通大臣官房営業部監修）            「木造組工法住宅の許容応力度設計（2008年版）（2017年版）」（日本住宅・木材技術センター）            「日本工業規格 JIS A3001-2015 木造校倉の構造設計標準」（2015年改訂版）            上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。</p> <p>(4) 設計図書の優先順位 設計図書の優先順位は下記による。            1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書） 3. 特記仕様書            2. 設計図 4. 標準図</p> <p>(5) 疑義 疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。</p> <p>(6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出 工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。</p> <p>(7) 施工図及びプレカット図の提出 工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。</p> <p>(8) 製作工場の選定・承諾 設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける。</p> <p>(9) 各種試験・検査報告書の提出 施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																								
2. 材料の品質 <input checked="" type="checkbox"/> は適用項目を示すものとする。																																																																																																																																																																																																																																																																								
2.1 木質材料																																																																																																																																																																																																																																																																								
<p>(1) 構造用製材 本項の内容は特記無き限り、構造用製材を対象とし、製材の日本農林規格に準拠する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>【構造用製材】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種名</th> <th>強度等級</th> <th>乾燥処理</th> <th>保存処理</th> <th>材面の美観</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土台</td> <td>桧</td> <td>無等級</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>柱・束</td> <td>杉</td> <td>無等級</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>梁・母屋</td> <td>杉</td> <td>無等級</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>筋かい・火打</td> <td>杉・桧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>間柱</td> <td>杉・桧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>杉・桧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>国産材とすること。九州産材を使用する場合は監理者に事前に相談すること。紹介コードは不可とする</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><input checked="" type="checkbox"/> 主要構造部には機械等区分製材を用いることを原則とする。 背割りを行なう部材の有無 <input type="checkbox"/> 有(背割りを行なう場合は、見えがかり部・相欠き部・構造用合板の釘接合面には行わない。) <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等に注意して材料を選定し、仕口や接合部に欠点が当たらないように注意する。 <input checked="" type="checkbox"/> 材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級1級相当とする。</p> <p>(2) 構造用集成材、構造用単板積層材(LVL) 本項の内容は特記無き限り、集成材及び単板積層材の日本農林規格に準拠する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>【構造用集成材・LVL】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種名</th> <th>品名 (LVLの場合に区分)</th> <th>強度等級 (LVLの場合に曲げ性能)</th> <th>材面の品質</th> <th>使用環境</th> <th>アルムアルビド 放散量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 構造用合板、構造用パネル(OSB)、パーティクルボード、MDF等 本項の内容は特記無き限り、合板及び構造用パネルの日本農林規格又はパーティクルボード及びMDF等の日本工業規格に準拠する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>【構造用合板・構造用パネル(OSB)、パーティクルボード、MDF等】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>强度等級 (OSBの場合に曲げ性能)</th> <th>板面の品質 (注1)</th> <th>接着の程度 (構造用合板の場合に記入)</th> <th>寸法</th> <th>ホルムアルビド 放散量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耐力壁</td> <td>1級、2級</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. 構造用合板の板面の品質は、通常は1級がB-C、2級がC-D OSBの場合は、表面及び裏面に木材の小片の浮き上がりがないこと及び側面の切断面が平滑であること。 注2. 特注品の場合は納期に注意すること(2ヶ月以上)</p>										部位	樹種名	強度等級	乾燥処理	保存処理	材面の美観	土台	桧	無等級				柱・束	杉	無等級				梁・母屋	杉	無等級				筋かい・火打	杉・桧					間柱	杉・桧					その他	杉・桧					共通	国産材とすること。九州産材を使用する場合は監理者に事前に相談すること。紹介コードは不可とする					部位	樹種名	品名 (LVLの場合に区分)	強度等級 (LVLの場合に曲げ性能)	材面の品質	使用環境	アルムアルビド 放散量																																				部位	强度等級 (OSBの場合に曲げ性能)	板面の品質 (注1)	接着の程度 (構造用合板の場合に記入)	寸法	ホルムアルビド 放散量	耐力壁	1級、2級																																																																																																																																																													
部位	樹種名	強度等級	乾燥処理	保存処理	材面の美観																																																																																																																																																																																																																																																																			
土台	桧	無等級																																																																																																																																																																																																																																																																						
柱・束	杉	無等級																																																																																																																																																																																																																																																																						
梁・母屋	杉	無等級																																																																																																																																																																																																																																																																						
筋かい・火打	杉・桧																																																																																																																																																																																																																																																																							
間柱	杉・桧																																																																																																																																																																																																																																																																							
その他	杉・桧																																																																																																																																																																																																																																																																							
共通	国産材とすること。九州産材を使用する場合は監理者に事前に相談すること。紹介コードは不可とする																																																																																																																																																																																																																																																																							
部位	樹種名	品名 (LVLの場合に区分)	強度等級 (LVLの場合に曲げ性能)	材面の品質	使用環境	アルムアルビド 放散量																																																																																																																																																																																																																																																																		
部位	强度等級 (OSBの場合に曲げ性能)	板面の品質 (注1)	接着の程度 (構造用合板の場合に記入)	寸法	ホルムアルビド 放散量																																																																																																																																																																																																																																																																			
耐力壁	1級、2級																																																																																																																																																																																																																																																																							
<p>(4) 丸太・そま角 <input checked="" type="checkbox"/>【丸太・そま角】 本項の内容は特記無き限り、素材の日本農林規格などに準拠する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種名</th> <th>継振動ヤング係数区分</th> <th>等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(記入例)</td> <td></td> <td>EF150など測定した継振動ヤング係数</td> <td>材の品質を1等、2等、3等、4等で示す</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2.2 接合具 接合具の材質は一般普及品を使用することを原則とし、特殊なものを使用したい場合は特記とする。 接合具に鋼を生じる恐れのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。標準めっき処理は溶融亜鉛めっき鋼板：Z27(JIS G 3302) 電気亜鉛めっき：Ep-Fe/Zn8/CM2とする。</p> <p>(1) くぎ、木ネジ <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>径(mm)</th> <th>長さ(mm)</th> <th>使用箇所</th> <th>頭部／脚部形状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> N釘</td> <td>JIS G 3532</td> <td>SIM-N</td> <td>N50 N90 N75 N125</td> <td>耐力壁、床板、屋根</td> <td>皿頭鋼自付き／スムース</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> CN釘</td> <td>JIS G 3532</td> <td>SIM-N</td> <td>CN75 CN90</td> <td></td> <td>平頭フラット</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ZN釘</td> <td>JIS G 3532</td> <td>SIM-N</td> <td></td> <td></td> <td>平頭フラット／バーフ</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> S釘</td> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4309</td> <td>SUS304</td> <td></td> <td>平頭フラット及び 頭部自付き／スムース</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> GN釘</td> <td>鉄</td> <td>JIS G 3532</td> <td>SIM-N</td> <td>GNF40</td> <td>平頭フラット</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 木質構造用ビス <table border="1"> <thead> <tr> <th>製品名</th> <th>径(mm)</th> <th>長さ(mm)</th> <th>使用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) ポルト、ナット、座金 ポルト・ナットはJIS B 1180、JIS B 1181の規格及び付属書JAによる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>径(mm)</th> <th>長さ(mm)</th> <th>防錆処理、使用箇所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 呼び径六角ボルト</td> <td>鉄</td> <td>JIS G 3101 JIS G 3505 JIS G 3507-1</td> <td>SS400 SIRMB-10 SIRCHB-10</td> <td>M12 M16</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 有効径六角ボルト</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 全ねじボルト</td> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4303</td> <td>SUS304</td> <td></td> <td>生地</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> アンカーボルト</td> <td>鉄</td> <td>JIS G 3101 JIS G 3138 JIS G 3505 JIS G 3507-1</td> <td>SS400 SIRAOB, 490B SIRMB-10 SIRCHB-10</td> <td>M12 M16</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4303</td> <td>SUS304</td> <td></td> <td>生地</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 角度金</td> <td>鉄</td> <td>JIS G 3131</td> <td>SPHC SS400</td> <td></td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 丸座金</td> <td>ステンレス</td> <td>JIS G 4303</td> <td>SUS304</td> <td></td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 生地</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・設計図及び標準図記載以外の座金は、特記なき限り用途ごとに引張、せん断)に下表により使い分ける。 尚、ボルトとの組み合わせにより耐力が決まっている羽子板ボルト等の座金は、その仕様に準ずる。(単位:mm)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>座金の大きさ</th> <th>ボルト径</th> <th>8</th> <th>10</th> <th>12</th> <th>16</th> <th>20</th> <th>24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>引張を受けるボルト</td> <td>厚さ</td> <td>4.5</td> <td>4.5</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td></td> <td>角座金の一辺</td> <td>40</td> <td>50</td> <td>60</td> <td>80</td> <td>105</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td></td> <td>丸座金の直径</td> <td>45</td> <td>60</td> <td>70</td> <td>90</td> <td>120</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>せん断を受けるボルト</td> <td>厚さ</td> <td>3.2</td> <td>3.2</td> <td>3.2</td> <td>4.5</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>角座金の一辺</td> <td>25</td> <td>30</td> <td>35</td> <td>50</td> <td>60</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>丸座金の直径</td> <td>30</td> <td>35</td> <td>38</td> <td>48</td> <td>58</td> <td>68</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ドリフトピンの先端テーパー部の長さ：10mm以下 ・木栓はナラ・ケヤキ・カシ等、氣乾比重0.6以上の広葉樹で、節や目切れ等の欠点の無いものとし先端は、3~5mm程度面取りすること。</p> <p>(4) ドリフトピン、ラグスクリュー、木栓 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>径(mm)</th> <th>長さ(mm)</th> <th>防錆処理、使用箇所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> ドリフトピン</td> <td>鉄</td> <td>JIS B 1180</td> <td>強度区分4.6又は4Tに適合する 炭素鋼</td> <td>M12</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ラグスクリュー (コーチボルト)</td> <td>鉄</td> <td>JIS B 1180</td> <td>強度区分4.6又は4Tに適合する 炭素鋼</td> <td></td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 木栓</td> <td>堅木(樹種：)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ドリフトピンの先端テーパー部の長さ：10mm以下 ・木栓はナラ・ケヤキ・カシ等、氣乾比重0.6以上の広葉樹で、節や目切れ等の欠点の無いものとし先端は、3~5mm程度面取りすること。</p> <p>(5) 接合金物、鋼材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>品名</th> <th>短期許容接合耐力</th> <th>メーカー等</th> <th>防錆処理、使用箇所など</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 節かい耐力量の接合部</td> <td>標準図による構造図による</td> <td></td> <td></td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 柱頭・柱脚接合部</td> <td>標準図による構造図による</td> <td></td> <td></td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 横架材接合部</td> <td>標準図による構造図による</td> <td></td> <td></td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 鋼材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ( )</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ( )</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table> <p>・現場または加工工場に搬入される全ての接合具について受け入れ検査を実施し、材質径、長さ、製品名等について特記仕様書等で指定された所定の製品であることを確認すること。 ・同等性能の接合具を用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得る。 □ 木製品の接合具については、予め曲げ試験などにより性能の確認を行いその結果を報告する。また必要に応じて立会による性能確認を実施する。</p> <p>(4) 接合金物 ・現場または加工工場に搬入される全ての接合金物について受け入れ検査を実施し、材質、形状、製品名等について特記仕様書等で指定された所定の製品であることを確認すること。 ・同等認定品や性能評価品等を用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得る。</p> </p></p></p></p>										部位	樹種名	継振動ヤング係数区分	等級	(記入例)		EF150など測定した継振動ヤング係数	材の品質を1等、2等、3等、4等で示す													種類	材質	径(mm)	長さ(mm)	使用箇所	頭部／脚部形状	<input checked="" type="checkbox"/> N釘	JIS G 3532	SIM-N	N50 N90 N75 N125	耐力壁、床板、屋根	皿頭鋼自付き／スムース	<input type="checkbox"/> CN釘	JIS G 3532	SIM-N	CN75 CN90		平頭フラット	<input type="checkbox"/> ZN釘	JIS G 3532	SIM-N			平頭フラット／バーフ	<input type="checkbox"/> S釘	ステンレス	JIS G 4309	SUS304		平頭フラット及び 頭部自付き／スムース	<input type="checkbox"/> GN釘	鉄	JIS G 3532	SIM-N	GNF40	平頭フラット							製品名	径(mm)	長さ(mm)	使用箇所	<input type="checkbox"/>				種類	材質	径(mm)	長さ(mm)	防錆処理、使用箇所など	<input checked="" type="checkbox"/> 呼び径六角ボルト	鉄	JIS G 3101 JIS G 3505 JIS G 3507-1	SS400 SIRMB-10 SIRCHB-10	M12 M16	<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき	<input type="checkbox"/> 有効径六角ボルト						<input type="checkbox"/> 全ねじボルト	ステンレス	JIS G 4303	SUS304		生地							<input checked="" type="checkbox"/> アンカーボルト	鉄	JIS G 3101 JIS G 3138 JIS G 3505 JIS G 3507-1	SS400 SIRAOB, 490B SIRMB-10 SIRCHB-10	M12 M16	<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき	<input type="checkbox"/>	ステンレス	JIS G 4303	SUS304		生地	<input checked="" type="checkbox"/> 角度金	鉄	JIS G 3131	SPHC SS400		<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき	<input checked="" type="checkbox"/> 丸座金	ステンレス	JIS G 4303	SUS304		<input checked="" type="checkbox"/> 生地							座金の大きさ	ボルト径	8	10	12	16	20	24	引張を受けるボルト	厚さ	4.5	4.5	6	9	9	13		角座金の一辺	40	50	60	80	105	125		丸座金の直径	45	60	70	90	120	140	せん断を受けるボルト	厚さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6	6		角座金の一辺	25	30	35	50	60	70		丸座金の直径	30	35	38	48	58	68	種類	材質	径(mm)	長さ(mm)	防錆処理、使用箇所など	<input checked="" type="checkbox"/> ドリフトピン	鉄	JIS B 1180	強度区分4.6又は4Tに適合する 炭素鋼	M12	<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ラグスクリュー (コーチボルト)	鉄	JIS B 1180	強度区分4.6又は4Tに適合する 炭素鋼		<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 木栓	堅木(樹種：)					種類	品名	短期許容接合耐力	メーカー等	防錆処理、使用箇所など	<input checked="" type="checkbox"/> 節かい耐力量の接合部	標準図による構造図による			<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき	<input type="checkbox"/> 柱頭・柱脚接合部	標準図による構造図による			<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき	<input type="checkbox"/> 横架材接合部	標準図による構造図による			<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき	<input type="checkbox"/> 鋼材				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ( )				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ( )				<input type="checkbox"/>												
部位	樹種名	継振動ヤング係数区分	等級																																																																																																																																																																																																																																																																					
(記入例)		EF150など測定した継振動ヤング係数	材の品質を1等、2等、3等、4等で示す																																																																																																																																																																																																																																																																					
種類	材質	径(mm)	長さ(mm)	使用箇所	頭部／脚部形状																																																																																																																																																																																																																																																																			
<input checked="" type="checkbox"/> N釘	JIS G 3532	SIM-N	N50 N90 N75 N125	耐力壁、床板、屋根	皿頭鋼自付き／スムース																																																																																																																																																																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> CN釘	JIS G 3532	SIM-N	CN75 CN90		平頭フラット																																																																																																																																																																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> ZN釘	JIS G 3532	SIM-N			平頭フラット／バーフ																																																																																																																																																																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> S釘	ステンレス	JIS G 4309	SUS304		平頭フラット及び 頭部自付き／スムース																																																																																																																																																																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> GN釘	鉄	JIS G 3532	SIM-N	GNF40	平頭フラット																																																																																																																																																																																																																																																																			
製品名	径(mm)	長さ(mm)	使用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																					
<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																								
<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																								
<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																								
<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																								
種類	材質	径(mm)	長さ(mm)	防錆処理、使用箇所など																																																																																																																																																																																																																																																																				
<input checked="" type="checkbox"/> 呼び径六角ボルト	鉄	JIS G 3101 JIS G 3505 JIS G 3507-1	SS400 SIRMB-10 SIRCHB-10	M12 M16	<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> 有効径六角ボルト																																																																																																																																																																																																																																																																								
<input type="checkbox"/> 全ねじボルト	ステンレス	JIS G 4303	SUS304		生地																																																																																																																																																																																																																																																																			
<input checked="" type="checkbox"/> アンカーボルト	鉄	JIS G 3101 JIS G 3138 JIS G 3505 JIS G 3507-1	SS400 SIRAOB, 490B SIRMB-10 SIRCHB-10	M12 M16	<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																			
<input type="checkbox"/>	ステンレス	JIS G 4303	SUS304		生地																																																																																																																																																																																																																																																																			
<input checked="" type="checkbox"/> 角度金	鉄	JIS G 3131	SPHC SS400		<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																			
<input checked="" type="checkbox"/> 丸座金	ステンレス	JIS G 4303	SUS304		<input checked="" type="checkbox"/> 生地																																																																																																																																																																																																																																																																			
座金の大きさ	ボルト径	8	10	12	16	20	24																																																																																																																																																																																																																																																																	
引張を受けるボルト	厚さ	4.5	4.5	6	9	9	13																																																																																																																																																																																																																																																																	
	角座金の一辺	40	50	60	80	105	125																																																																																																																																																																																																																																																																	
	丸座金の直径	45	60	70	90	120	140																																																																																																																																																																																																																																																																	
せん断を受けるボルト	厚さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6	6																																																																																																																																																																																																																																																																	
	角座金の一辺	25	30	35	50	60	70																																																																																																																																																																																																																																																																	
	丸座金の直径	30	35	38	48	58	68																																																																																																																																																																																																																																																																	
種類	材質	径(mm)	長さ(mm)	防錆処理、使用箇所など																																																																																																																																																																																																																																																																				
<input checked="" type="checkbox"/> ドリフトピン	鉄	JIS B 1180	強度区分4.6又は4Tに適合する 炭素鋼	M12	<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> ラグスクリュー (コーチボルト)	鉄	JIS B 1180	強度区分4.6又は4Tに適合する 炭素鋼		<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> 木栓	堅木(樹種：)																																																																																																																																																																																																																																																																							
種類	品名	短期許容接合耐力	メーカー等	防錆処理、使用箇所など																																																																																																																																																																																																																																																																				
<input checked="" type="checkbox"/> 節かい耐力量の接合部	標準図による構造図による			<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																				
<input type="checkbox"/> 柱頭・柱脚接合部	標準図による構造図による			<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																				
<input type="checkbox"/> 横架材接合部	標準図による構造図による			<input checked="" type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき <input checked="" type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき																																																																																																																																																																																																																																																																				
<input type="checkbox"/> 鋼材				<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																				
<input type="checkbox"/> ( )				<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																				
<input type="checkbox"/> ( )				<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																				
<p>(6) 接着剤(接着接合) ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>製品名</th> <th>使用箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 耐久性(防腐・防蟻・耐候処理)</p> <p>(1) 木材の防腐・防蟻処理 木材の防腐・防蟻処理は以下のいずれかとする。 ・高耐久材の使用(注：部材あるいは心持ち材または集成材とする) ○工場処理材(注：現場の加工、切断、穿孔箇所などは、現場処理に準じる) 保存処理材(性能区分) : K5 K4 <input checked="" type="checkbox"/> K2 K1 AO認証保存処理材 : 1種 2種 3種 ○現場処理：塗布、吹付、浸漬(特記無き場合は、処理量：300 ml/m<sup>2</sup>、処理回数：2回) (注：接合部、鈎部、コンクリートなどに接する部分は、特に入念な処理を行う。 給排水用塗化ビニル管に接する部分は、薬剤による損傷を防ぐため管を保護する。 処理方法は、日本しきあり対策協会の標準仕様書に準じる。)</p> <p>使用薬剤：日本しきあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用部位</th> <th>高耐久材</th> <th>工場処理材</th> <th>現場処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土台・大引き</td> <td>レ(栓)</td> <td>レ K3</td> <td>塗布</td> </tr> <tr> <td>外周柱下部1m</td> <td>( )</td> <td>K3</td> <td>レ(塗布)</td> </tr> <tr> <td>外周筋かい下部1m</td> <td>( )</td> <td>K3</td> <td>レ(塗布)</td> </tr> <tr> <td>外周木質系面材耐力壁下部1m</td> <td>( )</td> <td>K3</td> <td>レ(塗布)</td> </tr> <tr> <td>水周り</td> <td>( )</td> <td>K3</td> <td>レ(塗布)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>( )</td> <td>K3</td> <td>レ(塗布)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 土壌処理 レ防蟻薬剤による処理：薬剤( ) 特記無き場合は、日本しきあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。 レ防蟻薬剤による処理と同様以上の対策(構造スラブ) 土壤処理省略 北海道 東北 北陸 ( ) 注：処理範囲は、外周部布基礎の内側、内部布基礎の周辺20cm、東石等の周囲20cmを標準とし、処理方法は日本しきあり対策協会の標準仕様書に準じる。</p> <p>(3) 表面仕上げ 製材( ) 集成材-LVL( ) その他( )</p> <p>(4) 面取り 面取りを行う場合は協議による 柱：( ) mm 梁：( ) mm</p> <p>(5) 加工状況の検査 立ち会い検査 外観検査 加工寸法検査 施工者自主検査記録の提出( )</p>										製品名	使用箇所	備考	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			使用部位	高耐久材	工場処理材	現場処理	土台・大引き	レ(栓)	レ K3	塗布	外周柱下部1m	( )	K3	レ(塗布)	外周筋かい下部1m	( )	K3	レ(塗布)	外周木質系面材耐力壁下部1m	( )	K3	レ(塗布)	水周り	( )	K3	レ(塗布)	その他	( )	K3	レ(塗布)																																																																																																																																																																																																																							
製品名	使用箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																						
<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																								
<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																								
<input type="checkbox"/>																																																																																																																																																																																																																																																																								
使用部位	高耐久材	工場処理材	現場処理																																																																																																																																																																																																																																																																					
土台・大引き	レ(栓)	レ K3	塗布																																																																																																																																																																																																																																																																					
外周柱下部1m	( )	K3	レ(塗布)																																																																																																																																																																																																																																																																					
外周筋かい下部1m	( )	K3	レ(塗布)																																																																																																																																																																																																																																																																					
外周木質系面材耐力壁下部1m	( )	K3	レ(塗布)																																																																																																																																																																																																																																																																					
水周り	( )	K3	レ(塗布)																																																																																																																																																																																																																																																																					
その他	( )	K3	レ(塗布)																																																																																																																																																																																																																																																																					
<p>5. 木材の加工</p> <p>(1) 刻み時の注意 製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。</p> <p>(2) 加工寸法の精度 面表示は仕上がり寸法である。 下記を除き、2.1木質材料に示す材の仕上げ後の断面寸法の許容差は各々の農林規格の寸法許容差に準ずる。ただし、上限値が制限などとなっている場合は、協議による。</p> <p>材種：( ) ( ) ( )</p> <p>構造用材、構造用集成材、LVLの材長 接合部工法の継ぎ手仕口及び金物工法の場合：±1.0mm以下 調整代をとったボルト接合工法の場合(大断面集成材、LVL)：材長の±0.04%以下</p> <p>せん断用ボルト穴径 (dはボルト径) 集成材 : d+1.0mm (d M12)、d+2.0mm (d M16) 接合部等 : d+1.0mm (d M12)、d+1.5mm (d M16)</p> <p>ドリフトピン・木栓の木材の穴径 : d±0mm (dはドリフトピン・木栓径) ドリフトピンの接合部等の穴径 : d+1.0mm(d M12)、d+1.5mm(d M16)(dはドリフトピン径)</p> <p>(3) 表面仕上げ 製材( ) 集成材-LVL( ) その他( )</p> <p>(4) 面取り 面取りを行う場合は協議による 柱：( ) mm 梁：( ) mm</p> <p>(5) 加工状況の検査 立ち会い検査 外観検査 加工寸法検査 施工者自主検査記録の提出( )</p>																																																																																																																																																																																																																																																																								

# 木造軸組接合部標準図(1)

1. 一般事項	2. 材料	3. アンカーボルト	4. 接合一般
<p>(1) 適用範囲 本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。 木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。</p> <p>(2) 設計図書 設計図書とは本標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。</p> <p>(3) 準拠する図書 設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（全て最新版による。） 「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修） 「公共建築木造工事標準仕様書 平成25年版」（国土交通大臣官房官房営繕部監修） 「木造計画・設計基準 平成23年版」（国土交通大臣官房官房営繕部監修） 「木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2008年版）」（日本住宅・木材技術センター） 「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」（2015年改訂版）</p> <p>上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。</p> <p>(4) 設計図書の優先順位 設計図書の優先順位は下記による。 1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書） 2. 設計図 3. 特記仕様書 4. 本標準図</p> <p>(5) 疑義 疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。</p> <p>(6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出 工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。</p> <p>(7) 施工図及びプレカット図の提出 工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。</p> <p>(8) 製作工場の選定・承諾 設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける。</p> <p>(9) 各種試験・検査報告書の提出 施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。</p> <p>(10) 接合工法 本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合方法は、下記による。 ・継手仕口による在来工法 ・梁受け金物、及びホゾバイプ等による金物工法  なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。 また、本標準図は在来接合工法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。 本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監理者の承認を得ること。</p> <p>(11) 加工部材に関する留意事項 本標準図で扱う一般的な在来プレカット工場で加工可能な範囲は以下による。 ・梁: 部材断面が幅90mm~150mm、梁成が幅と同寸~450mm、及び材長6m以下 ・柱: 90角~150角の正方形断面、長さ6m以下  これらを超える場合は、一般プレカット工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。</p>	<p>(1) 木材及び木質材料 主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。</p> <p>(2) 接合具 a) くぎ 主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ（N釘）または大頭鉄丸くぎ（CN釘）または溶融亜鉛メッキ太め鉄丸くぎ（ZN釘）またはステンレス鋼釘（S釘）またはせっこうボード用くぎ（GN釘）を用いる。</p> <p>b) 木質構造用ビス 主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・韌性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス（コーススレッド等）を用いてはならない。使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。</p> <p>c) ポルト・ナット・座金 1) 主要構造部に使用するポルト及びナットについては以下による。 ・ポルトはJIS B 1051、ナットはJIS B 1052に規定される機械的性質を満たす炭素鋼 ・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するポルト及びナット 【Zマーク表示金物】 【Dマーク表示金物】 【Sマーク表示金物】 ・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するポルト及びナット 2) 主要構造部に使用するポルト・ナットのねじはJIS B 0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。 3) ポルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。 ポルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。</p> <p>d) ドリフトピン・ラグスクリュー 主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・韌性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。</p> <p>e) 木栓・木ダボ 主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。 樹種・径等については、特記仕様書で指定する。 節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。</p> <p>(3) 接合金物 a) 規格金物 構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。 ・JIS A 5531: 木構造用金物 ・公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物； Zマーク表示金物、又はCマーク表示金物 ・同等認定金物；Dマーク表示金物 ・性能認定金物；Sマーク表示金物  上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。 使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。</p> <p>b) 製作金物 製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、特記仕様書及び設計図による。</p> <p>(4) 接着剤 原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。 建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。</p> <p>(5) 防腐防蟻処理及び耐候処理 防腐防蟻処理及び耐候処理（塗装）は特記仕様書で指定する。 土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う。適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。</p>	<p>共通事項 ・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。</p> <p>(1) 土台固定用アンカーボルト a). アンカーボルトの埋設位置； アンカーボルトの埋設位置は以下による。  -1. 耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部； 耐力壁（筋交い、合板仕様共通）の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置（柱芯より200mm内外）とする。  b) 木質構造用ビス接合 ・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。 ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。 比重大が0.5以上の樹種・・・呼び径の60~75% 上記以外の樹種・・・呼び径の40~70% 先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2/3程度とする。</p> <p>(3) ポルト接合 ・締付けに先立ち、ポルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。 ・ポルトの締付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない。 ・締付け完了したポルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金が一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。 ・引張力を負担する構造上主要な箇所のポルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。</p> <p>(4) ラグスクリュー接合 ・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のポルト接合部における規定値を用いる。 ・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。 ・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。 比重大が0.5以上の樹種・・・呼び径の60~75% 上記以外の樹種・・・呼び径の40~70% 先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。 ・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。 一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。 ・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、軋造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。 ・呼び径M12以下；+1.0mm ・呼び径M16以上；+1.5mm</p> <p>(5) ドリフトピン接合 ・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあつてはならない。 ・ドリフトピンは、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、孔に対し打込み時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないよう注意し、無理な打撃を加えてはならない。</p> <p>(6) 木栓接合 ・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあつてはならない。 ・木栓は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、木栓を孔に対し打込み時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないよう注意し、無理な打撃を加えてはならない。 ・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。</p> <p>(7) グルードインロッド接合 ・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等を注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。 ・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。 ・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。</p>	

一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会

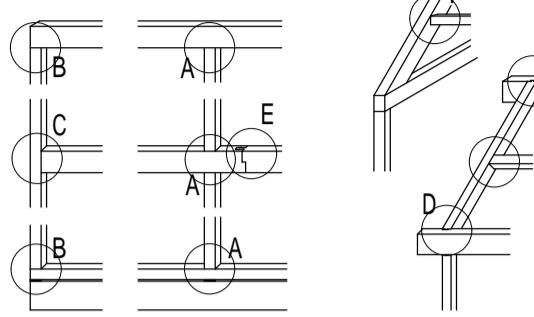
工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事（休憩施設等）	No.	A-27
図面名	木造軸組接合部標準図(1)	令和7年度	

宇治市役所建設部施設建築課

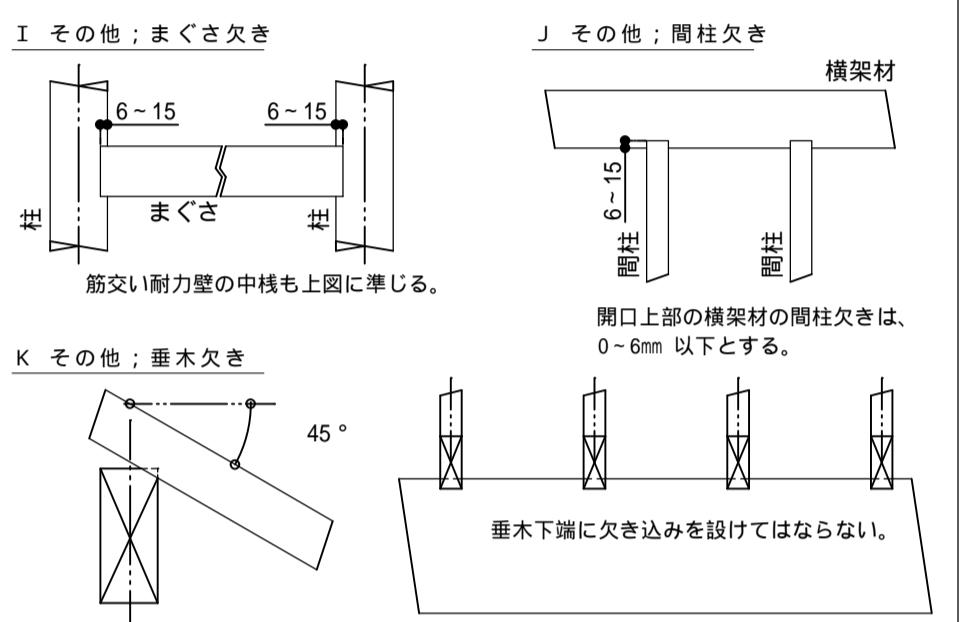
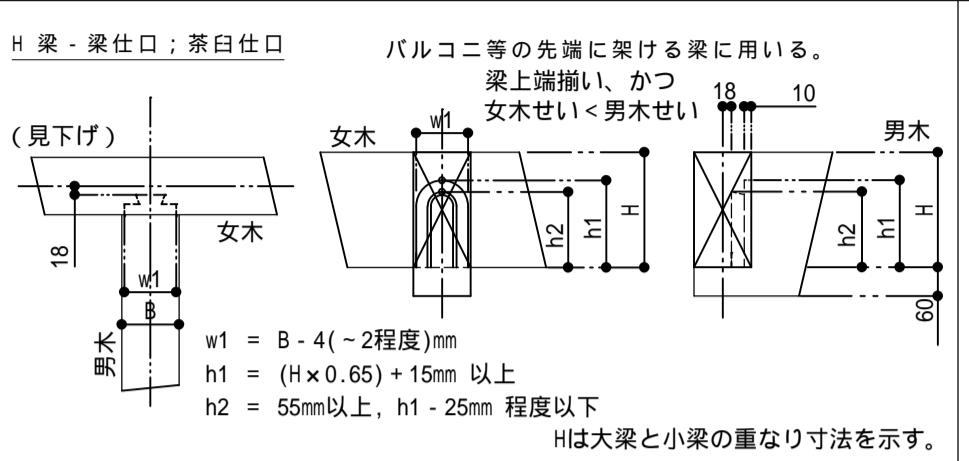
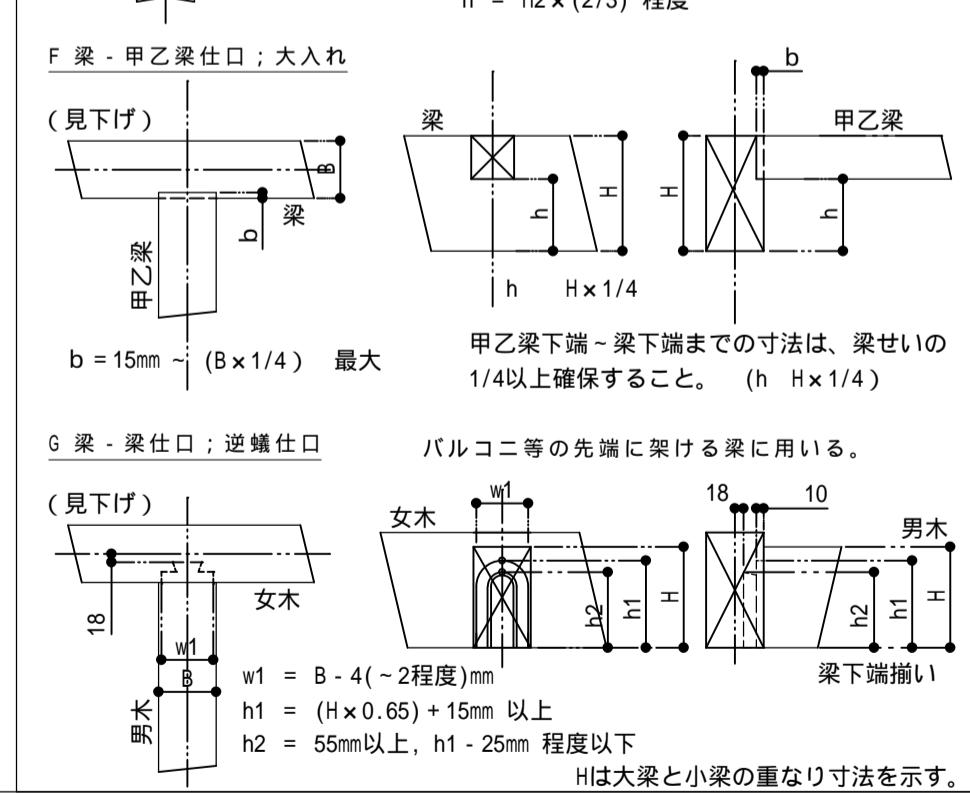
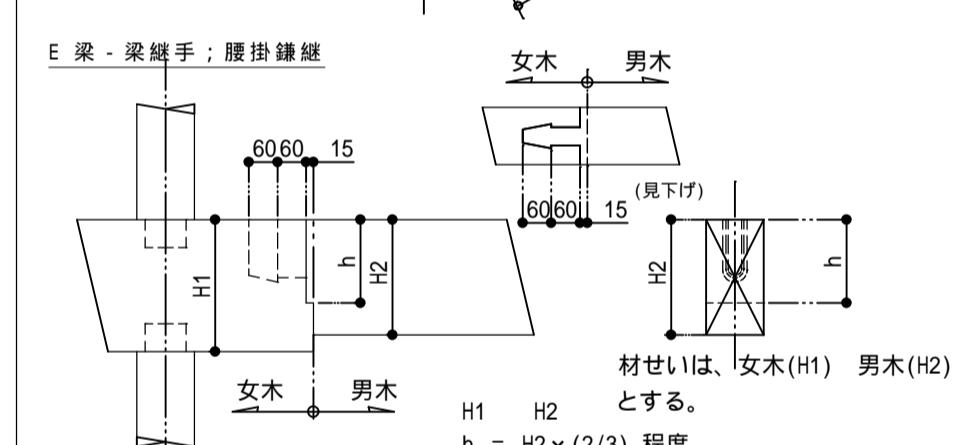
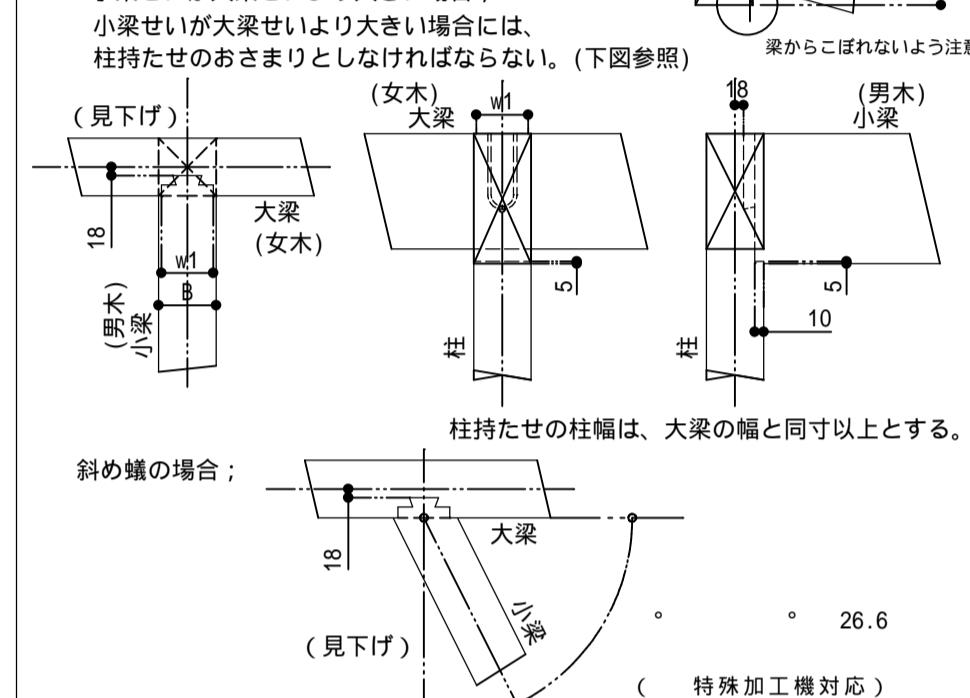
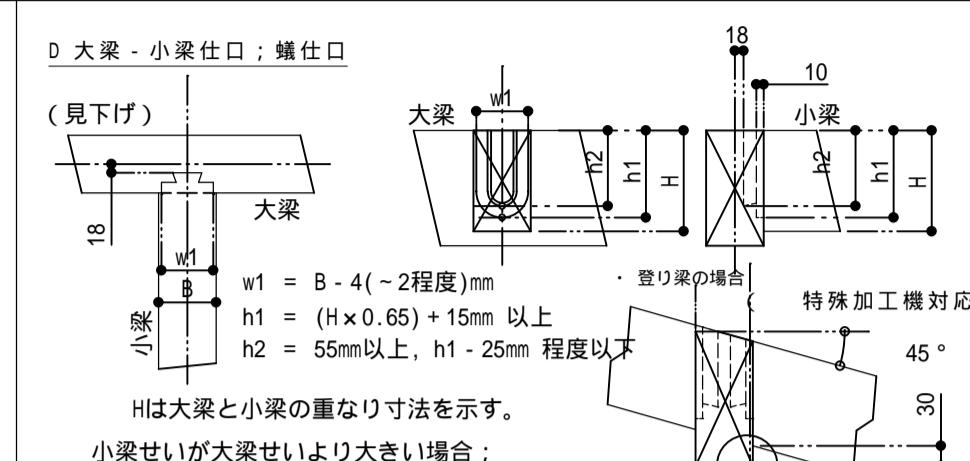
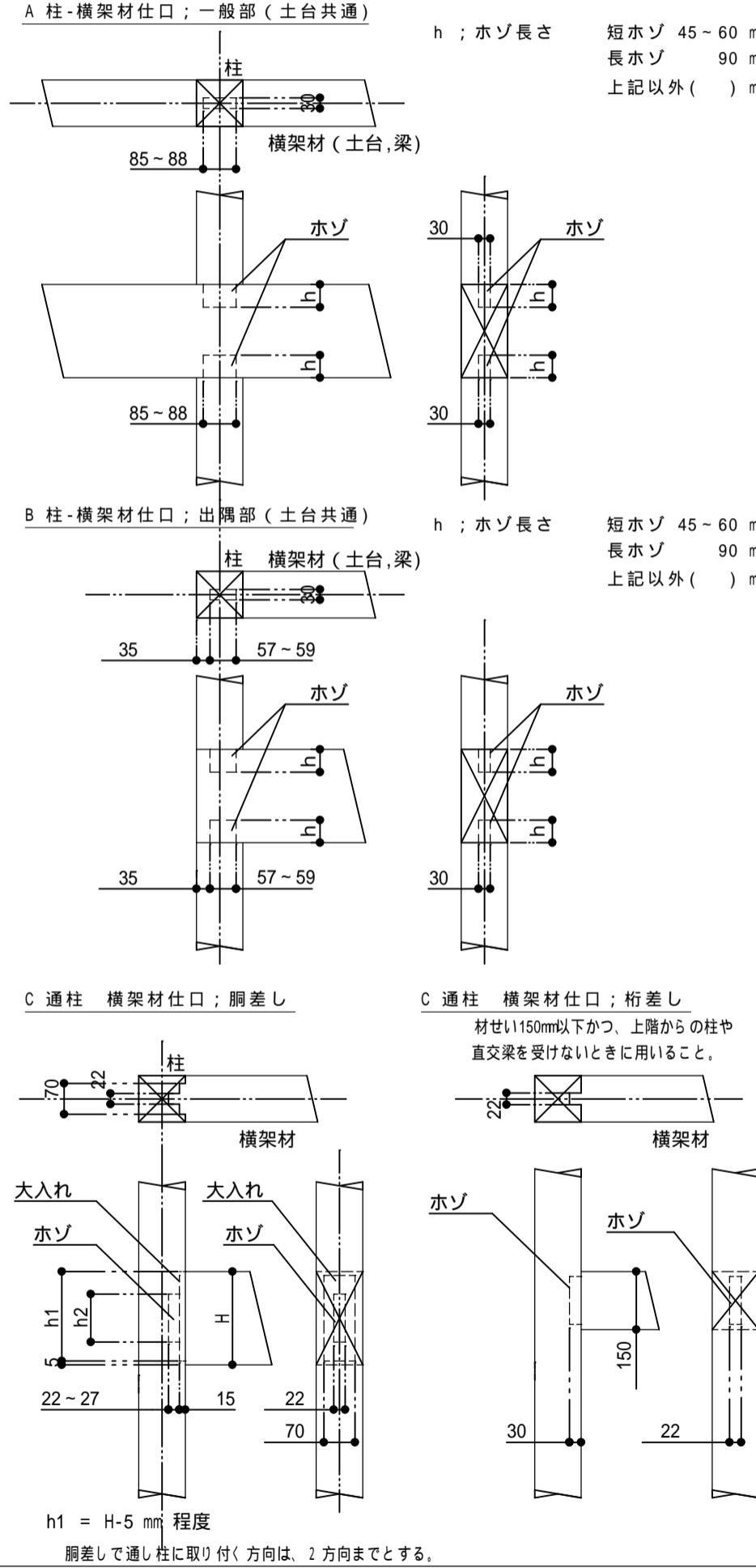
# 木造軸組接合部標準図(2)

## 5. 軸組標準接合部

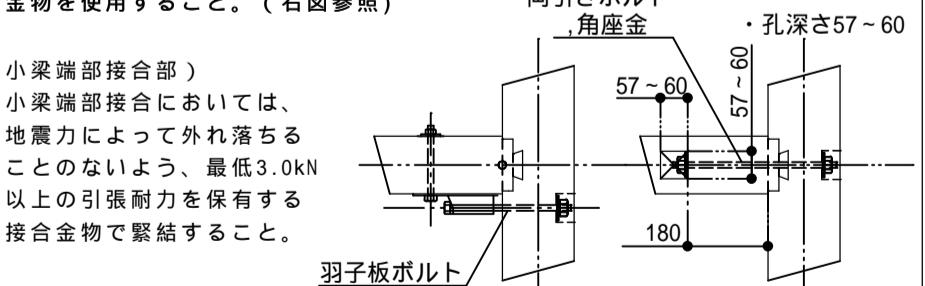
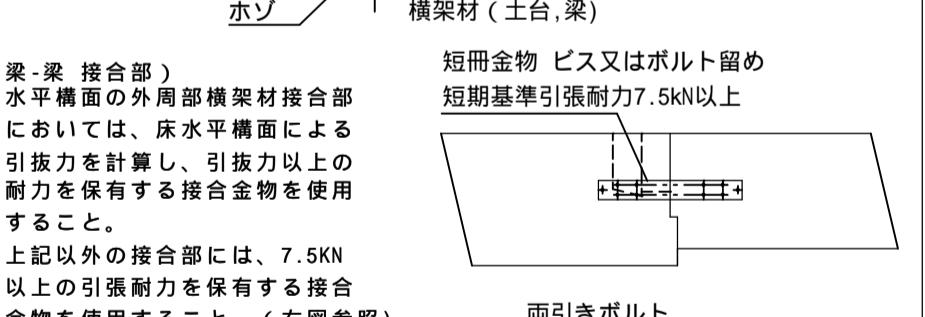
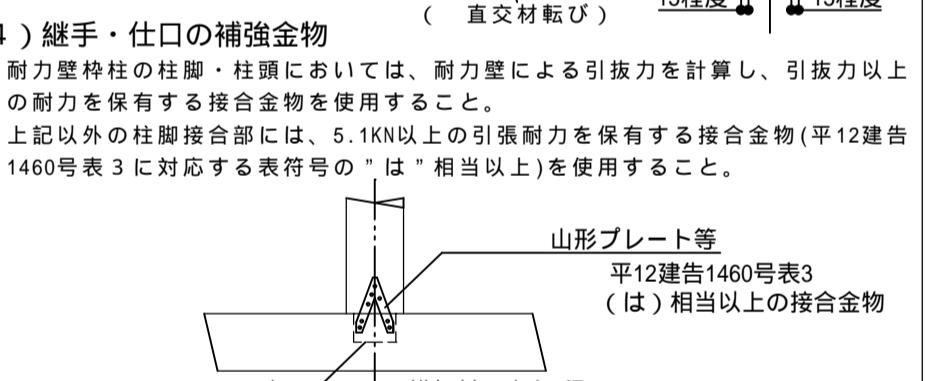
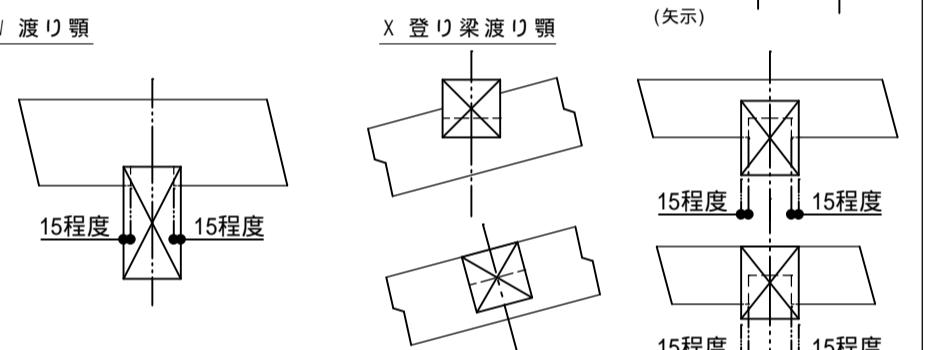
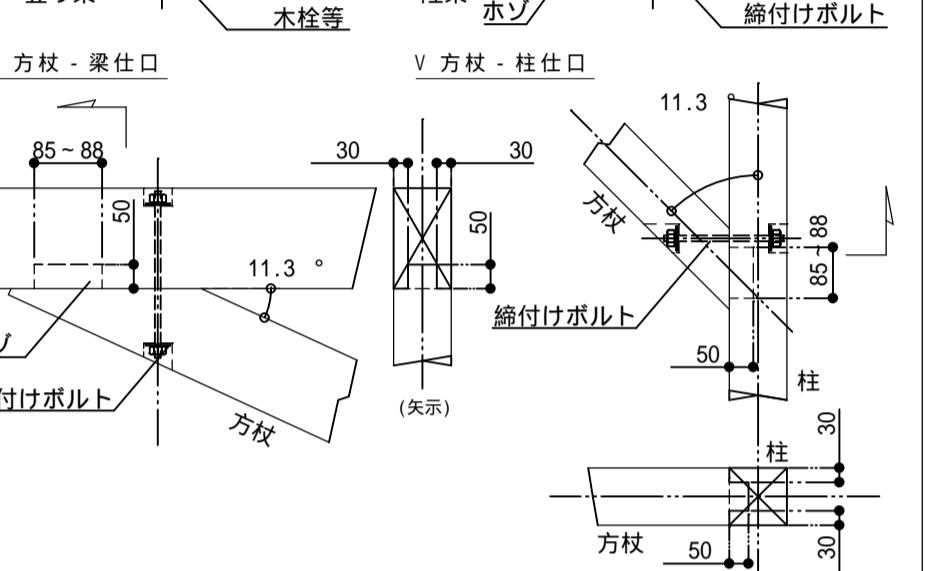
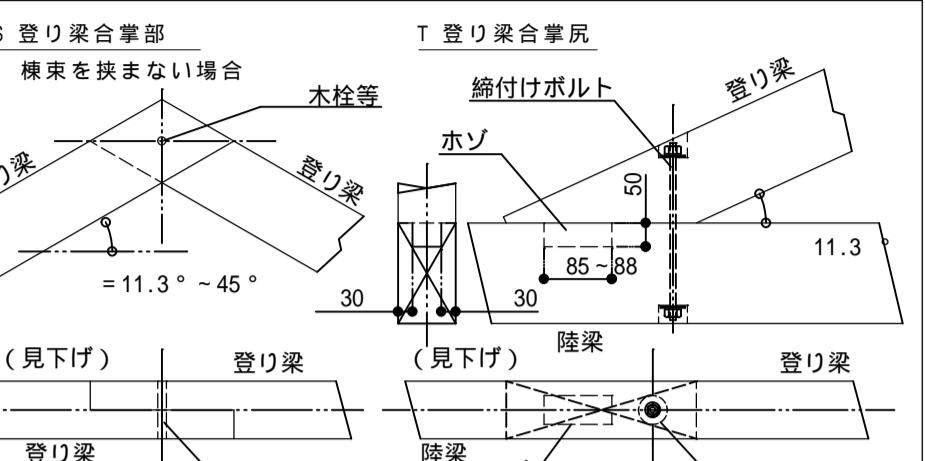
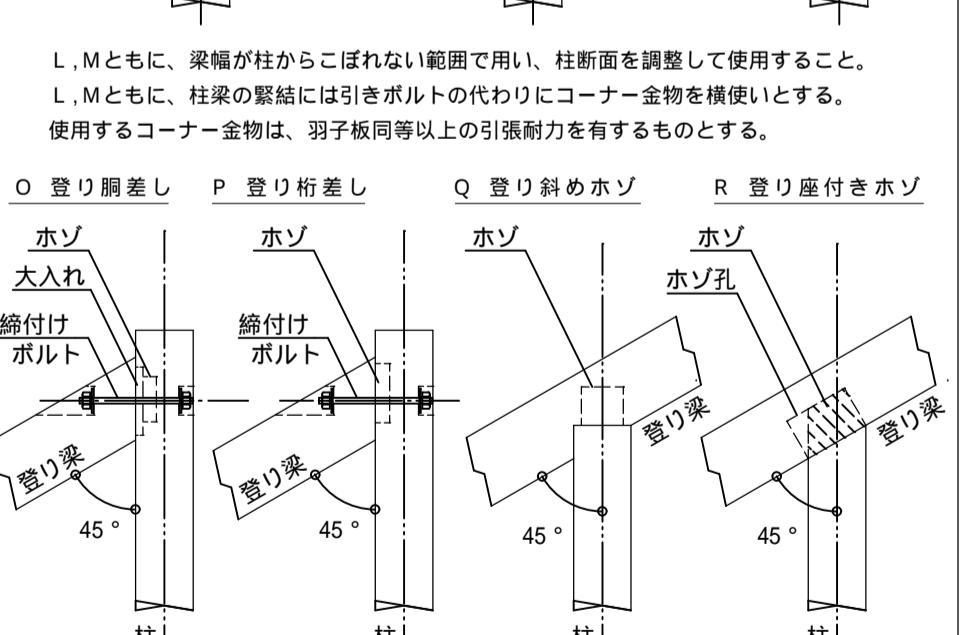
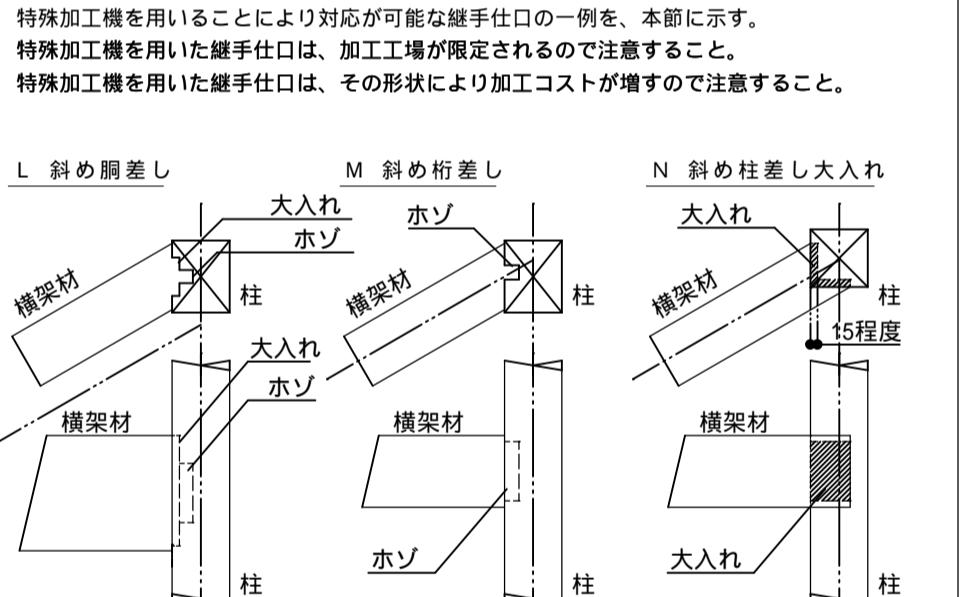
### (1) 共通事項及びキーフレーム



### (2) 標準的な継手仕口 (mm)



### (3) 特殊加工機を用いた標準的な継手仕口 (mm)



一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会

工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No.	A-28
図面名	木造軸組接合部標準図(2)	令和7年度	

宇治市役所建設部施設建築課

# 木造軸組接合部標準図(3)

## 6. 面材耐力壁

### 6.1 共通事項

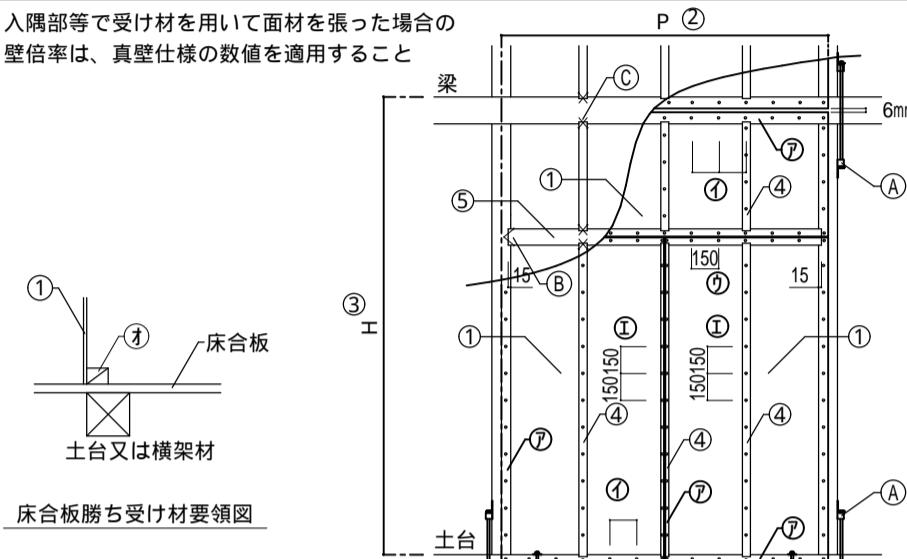
各部仕口形状は、(3)高耐力仕様構造用合板張り耐力壁を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。面材張り耐力壁の面材に対する釘頭のめり込みは、面材厚の10%未満かつ1mmを限度とする。左記を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること。耐力壁の土台と基礎との間は、無収縮モルタル又は十分な耐久力を有するセメント系接着剤を挿入し隙間を埋めること。柱の有効細長比(断面の最小二次半径に対する座屈長さの比)は、150以下とすること。

### 6.2 面材耐力壁の仕様

(1) 昭56建告1100号に準じた耐力壁 面材種類：構造用パーティクルボード、構造用MDF、構造用合板、構造用パネル(OSB)

#### a. 面材張り大壁仕様耐力壁

入隅部等で受け材を用いて面材を張った場合の  
壁倍率は、真壁仕様の数値を適用すること



#### a-1. 高倍率仕様大壁耐力壁

壁倍率：4.3または3.7  
面材および構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm  
壁倍率  
構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上

① 壁倍率  
600mm P 2000mm  
② 柱間隔  
H 6000mm、かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下

③ 高さ  
幅45以上、間隔500mm以下  
④ 間柱  
幅90mm以上

⑤ 中棟  
幅90mm以上  
⑥ 受け材  
幅45mm以上

#### 2) 各部仕口形状及び性能

① 各階の柱頭柱脚部  
ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する

② 中棟端部  
まぐさ欠きに15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち

③ 間柱端部  
間柱欠きに6~15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち

④ アンカーボルト  
耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：

M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける

#### 3) 面材の釘打ち方法

面材の4周を釘打ちする。  
金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする。

柱及び梁に対するかかり寸法  
22.5mm以上

面材に対するへり空き  
10mm以上

柱はりのへり空き  
12.5mm以上

① 横架材・柱  
構造用合板：CN50@75mm以下、左記以外の面材：N50@75mm以下

② 中棟  
構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下

③ 間柱  
構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下

受け材  
45×60以上

受け材  
受け材と柱梁  
釘N90@120mm以下(両面張りの場合は、@60mm以下)

柱材用ホールダウン金物は、45mm用を用いること(30mm用は不可)

#### a-2. 標準仕様大壁耐力壁

壁倍率：2.5  
面材および構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm  
構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上

① 壁倍率  
a-1.(高倍率仕様)に同じ

#### 2) 各部仕口形状及び性能

① a-1.(高倍率仕様)に同じ

#### 3) 面材の釘打ち方法

a-1.(高倍率仕様)に同じ

① 横架材・柱  
N50@150mm以下

② 中棟  
N50@150mm以下

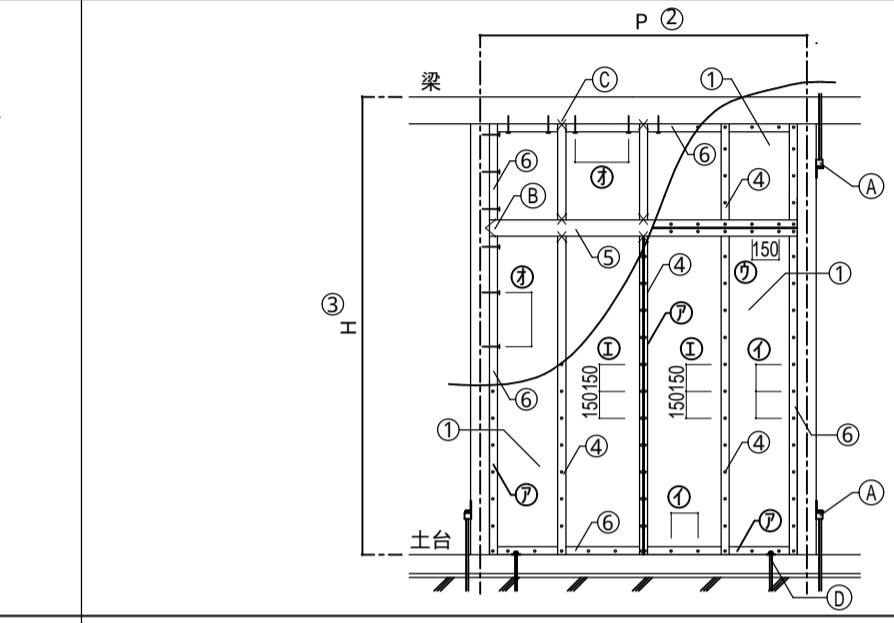
③ 間柱  
N50@150mm以下

受け材  
45×60以上

受け材  
受け材と柱梁  
釘N90@200mm以下(両面張りの場合は、@100mm以下)

(注) (単位)mm

#### b. 受け材付き真壁仕様耐力壁



#### b-1. 高倍率仕様真壁耐力壁

壁倍率：4.0または3.3  
面材および構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm  
壁倍率  
構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上

① 壁倍率  
600mm P 2000mm  
② 柱間隔  
H 6000mm、かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下

③ 高さ  
幅45以上、間隔500mm以下  
④ 間柱  
幅90mm以上  
⑤ 中棟  
幅90mm以上  
⑥ 受け材  
幅45mm以上

#### 2) 各部仕口形状及び性能

① 各階の柱頭柱脚部  
ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する

② 中棟端部  
まぐさ欠きに15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち

③ 間柱端部  
間柱欠きに6~15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち

④ アンカーボルト  
耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：

M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける

#### 3) 面材の釘打ち方法

面材の4周を釘打ちする。  
金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする。

柱及び梁に対するかかり寸法  
22.5mm以上

面材に対するへり空き  
10mm以上

受け材のへり空き  
12.5mm以上

① 外周受材  
構造用合板：CN50@75mm以下、左記以外の面材：N50@75mm以下

② 中棟  
構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下

③ 間柱  
構造用合板：CN50@150mm以下、左記以外の面材：N50@150mm以下

受け材  
45×60以上

受け材  
受け材と柱梁  
釘N90@120mm以下(両面張りの場合は、@60mm以下)

構造用合板、構造用パネル：釘N90@200mm以下(両面張りの場合は、@100mm以下)

床勝ち仕様の場合の受け材及び釘打ち方法はa-1.に準ずる  
枠材用ホールダウン金物は、45mm用を用いること(30mm用は不可)

#### b-2. 標準仕様真壁耐力壁

壁倍率：2.5  
面材および構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm  
壁倍率  
構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上

① 壁倍率  
a-1.(高倍率仕様)に同じ

#### 2) 各部仕口形状及び性能

① a-1.(高倍率仕様)に同じ

#### 3) 面材の釘打ち方法

a-1.(高倍率仕様)に同じ

① 外周受材  
N50@150mm以下

② 中棟  
N50@150mm以下

③ 間柱  
N50@150mm以下

受け材  
45×60以上

受け材  
受け材と柱梁  
釘N90@300mm以下(両面張りの場合は、@150mm以下)

床勝ち仕様の場合の受け材及び釘打ち方法はa-2.に準ずる

(2) 高耐力仕様構造用合板張り耐力壁(JIS A 3301標準仕様)：短期許容せん断耐力 Qa = 29.6kN/m

本耐力壁を採用する場合は、設計図書に試験成績書を添付すること。

#### a. 条件及び仕様

##### ① 各部材料

① 面材：構造用合板 t=12mm 両面張り

② 間隔：900mm P 1000mm

③ 高さ：1800mm H 3650mm

④ 高耐力壁を用いる場合のグリッド柱：150mm×150mm以上

(グリッド柱：X方向とY方向の主要鉛直構面の交点の柱)

⑤ 高耐力壁の端部および合板継ぎ目部の柱：120mm×120mm以上

⑥ 構造用合板継ぎ目部横つなぎ材：120mm×120mm以上

⑦ グリッド柱に取付け材：75mm×120mm以上

⑧ 間柱：見付け45mm以上、見込み120mm以上、間隔P/3以下

⑨ 小屋柱：120mm×120mm以上

#### b. 各部仕口形状及び性能

##### ① 柱頭柱脚ホゾ：

片側から柱に取り付く場合：厚さ30mm×深さ90mmホゾ差し

両側から柱に取り付く場合：厚さ30mm×深さ60mmホゾ差し

##### ② 間柱両端横架材への溝加工及び15mm程度大入れ

##### ③ 各階の柱頭柱脚部：

水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る

耐力の金物を使用する

##### ④ 耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト：

M16アンカーボルト耐力壁 1P当たり2本設ける

#### 3) 各部への釘打及びビス止め

##### 構造用合板はたて張り、4周を釘打ちする

① を除き、柱及び梁に対するかかり寸法:60mm以上

② 2階耐力壁板を2階床大梁へ留め付ける場合かかり寸法:50mm以上

③ を除き、合板に対するへり空き:15mm以上

④ 柱はりのへり空き:25mm以上

⑤ 金物が干渉しへり空きが確保できない合板部分のへり空き:8mm以上

⑥ 横架材・柱・受け材：N50@60mmドリ打

⑦ ⑦の受け材とグリッド柱：

木質構造用ビス 6、L130~150@100(2列)で留め付ける

柱頭柱脚部

# 木造軸組接合部標準図(3A)

## 6A. 施行令46条に基づく45×90以上の筋かい端部納まり図

(注) (単位)mm

### 共通事項

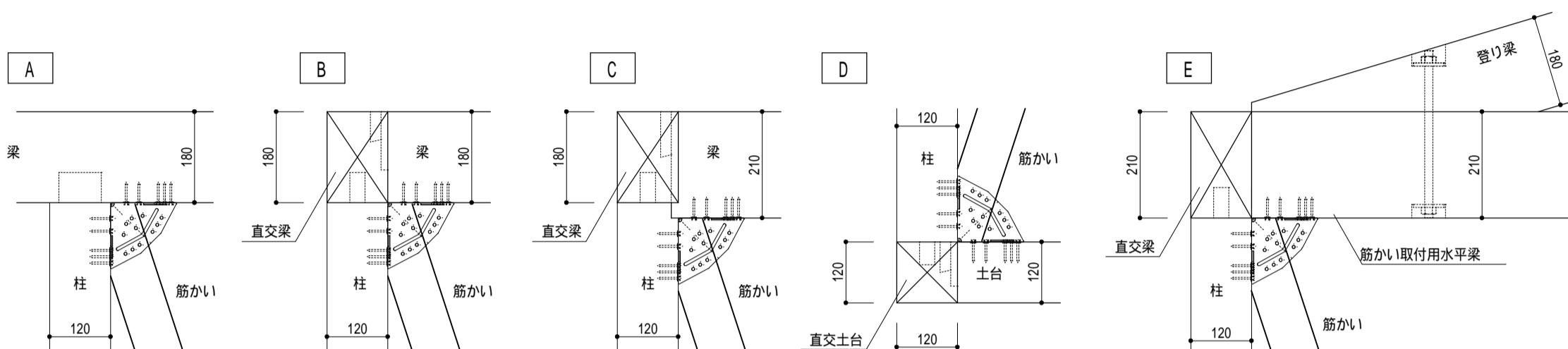
筋かいプレートは、柱梁ビス止めタイプを標準とする。

筋かいプレートを柱取付タイプのみとする場合は柱頭のホゾに作用するせん断力に対する検討を行うこと。ただし、端部及び出隅部の柱が寄せホゾとなる場合は柱梁ビス止めタイプを使用すること。

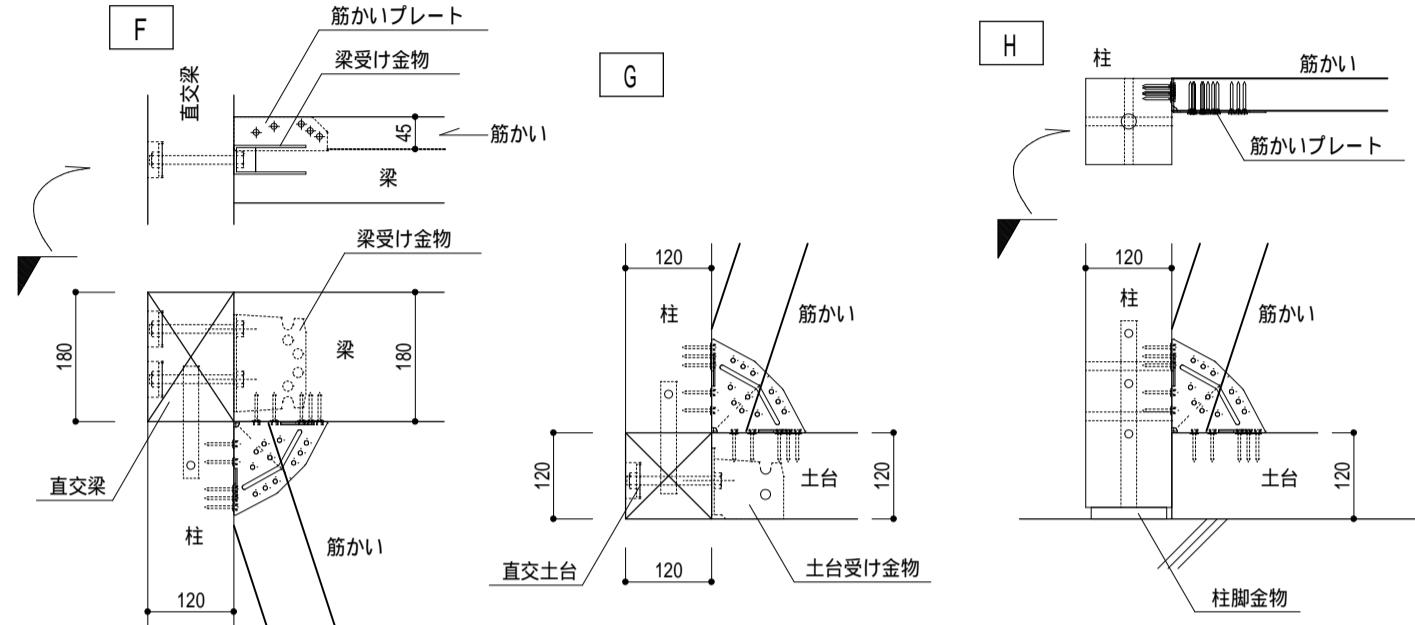
筋かいプレートの取付ビスのへりあきが不足又は、金物工法の金物にビスが干渉する場合は、そのビスを無効とし、所定のビス本数に満たないときは柱取付筋かいプレートを追加する等の補強をすること。

梁仕口部及び柱頭柱脚部の接合金物は、木造軸組接合部標準図(2)を参照すること。

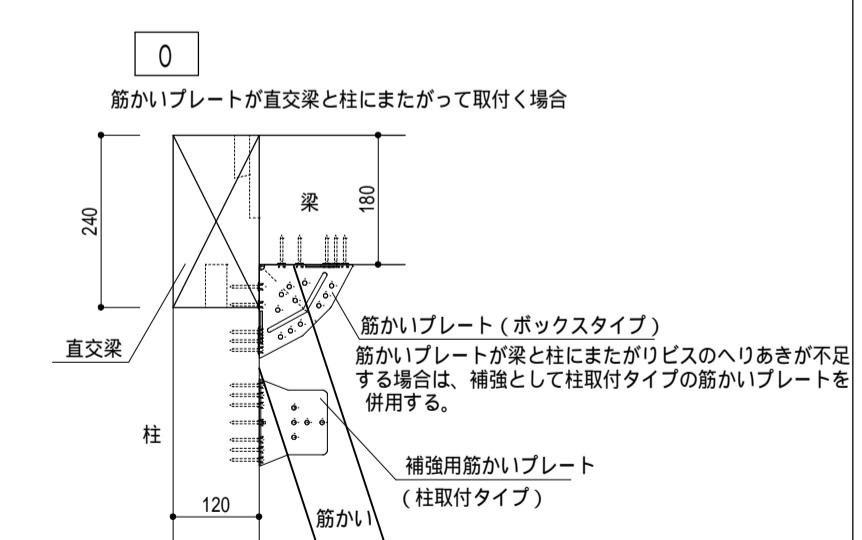
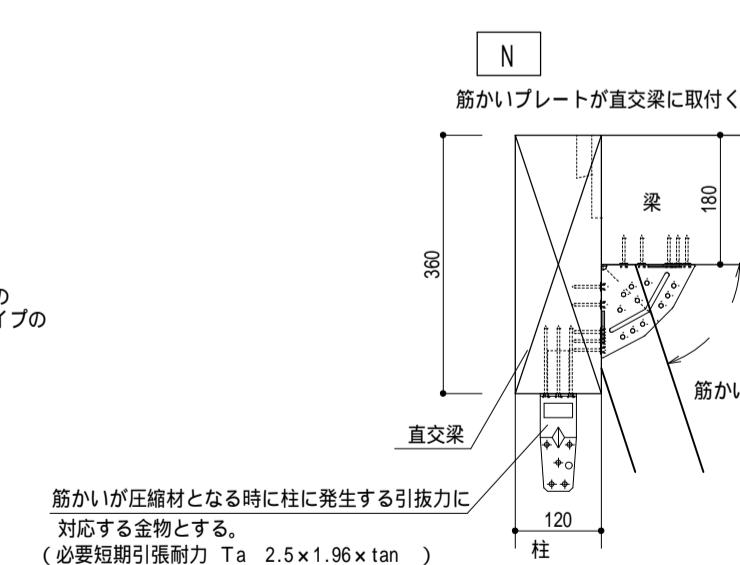
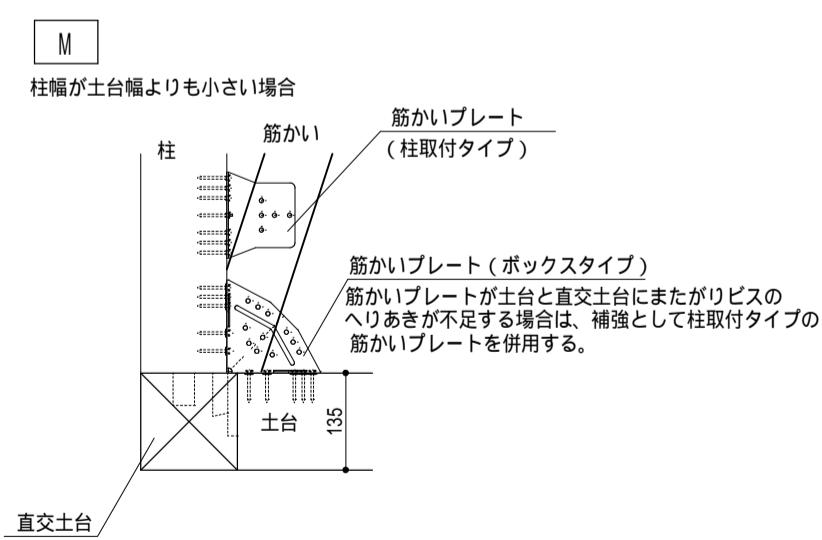
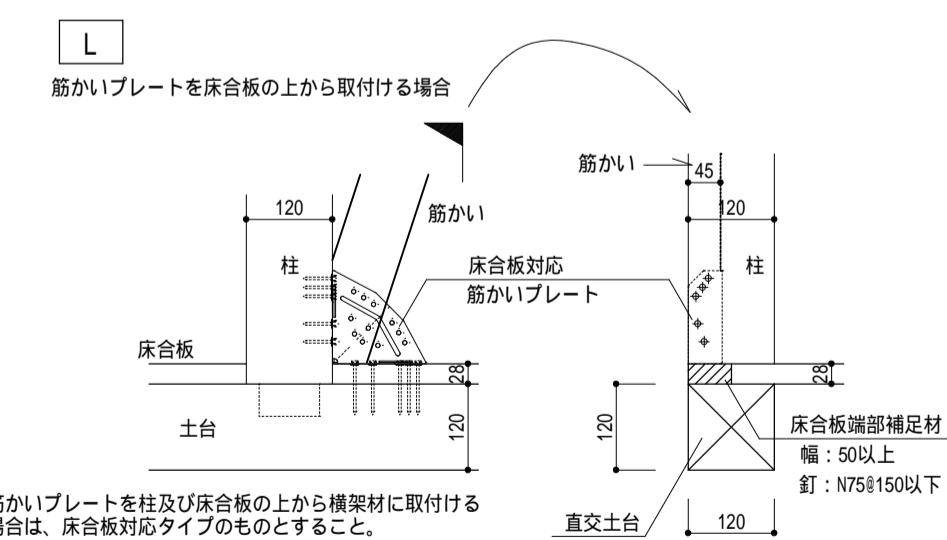
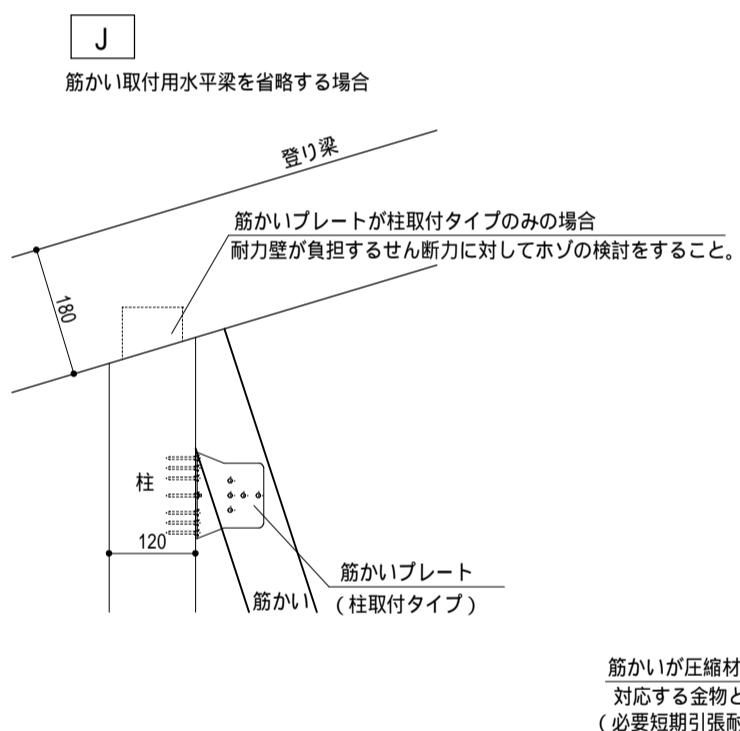
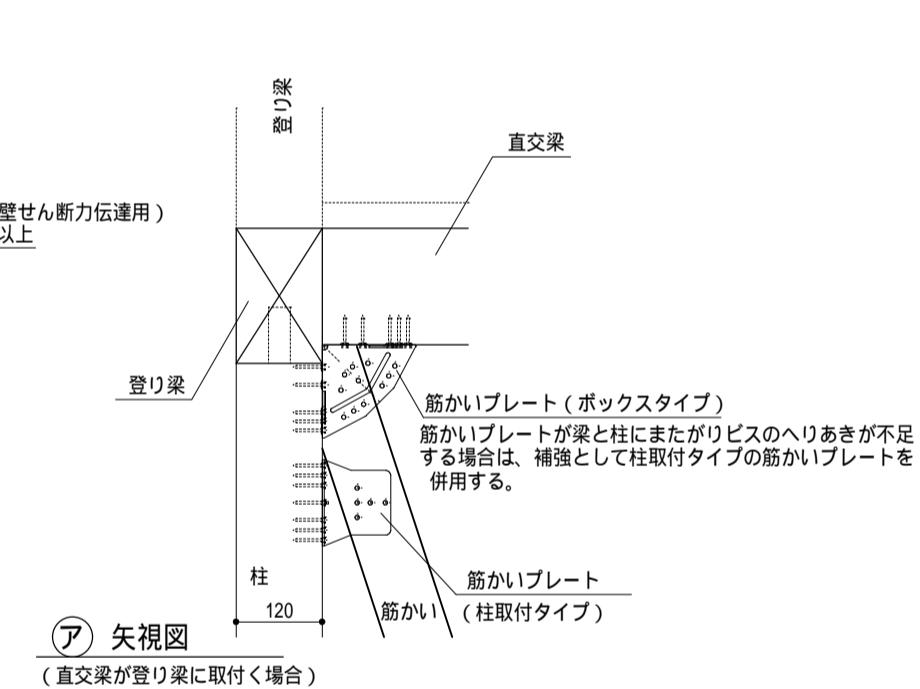
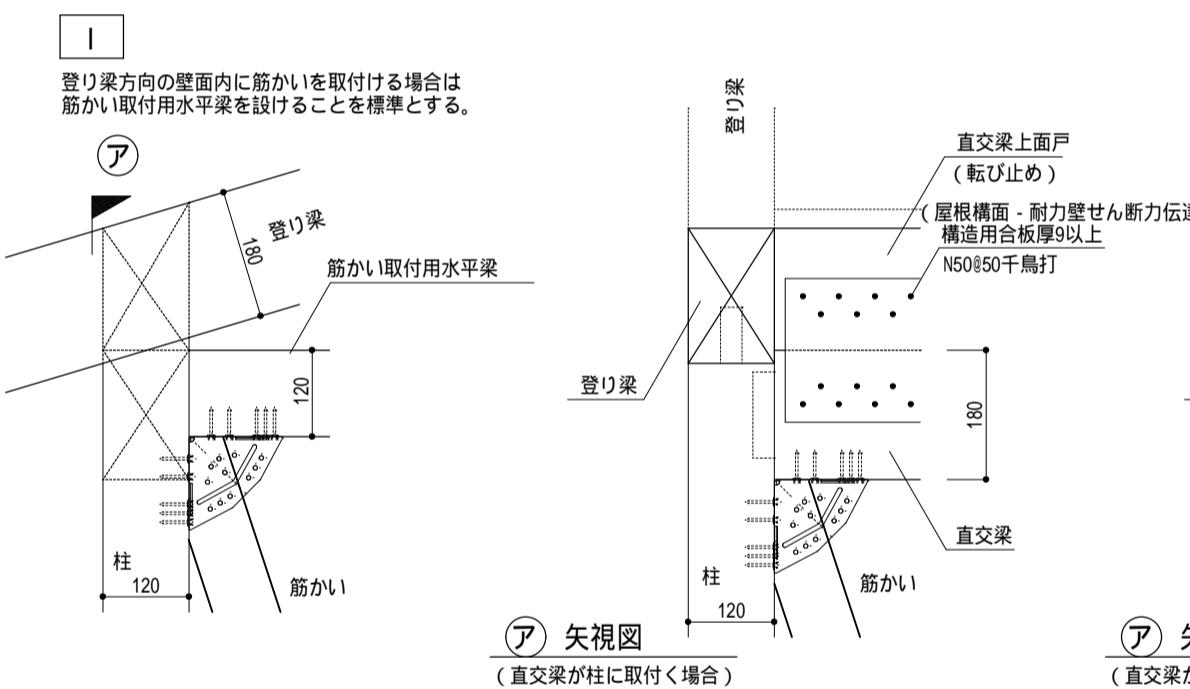
### 標準納まり図(在来工法)



### 標準納まり図(金物工法)



### 標準以外の納まり図



一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会

工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No.	A-30
図面名	木造軸組接合部標準図(3A)	令和7年度	

宇治市役所建設部施設建築課

# 木造軸組接合部標準図(3B)

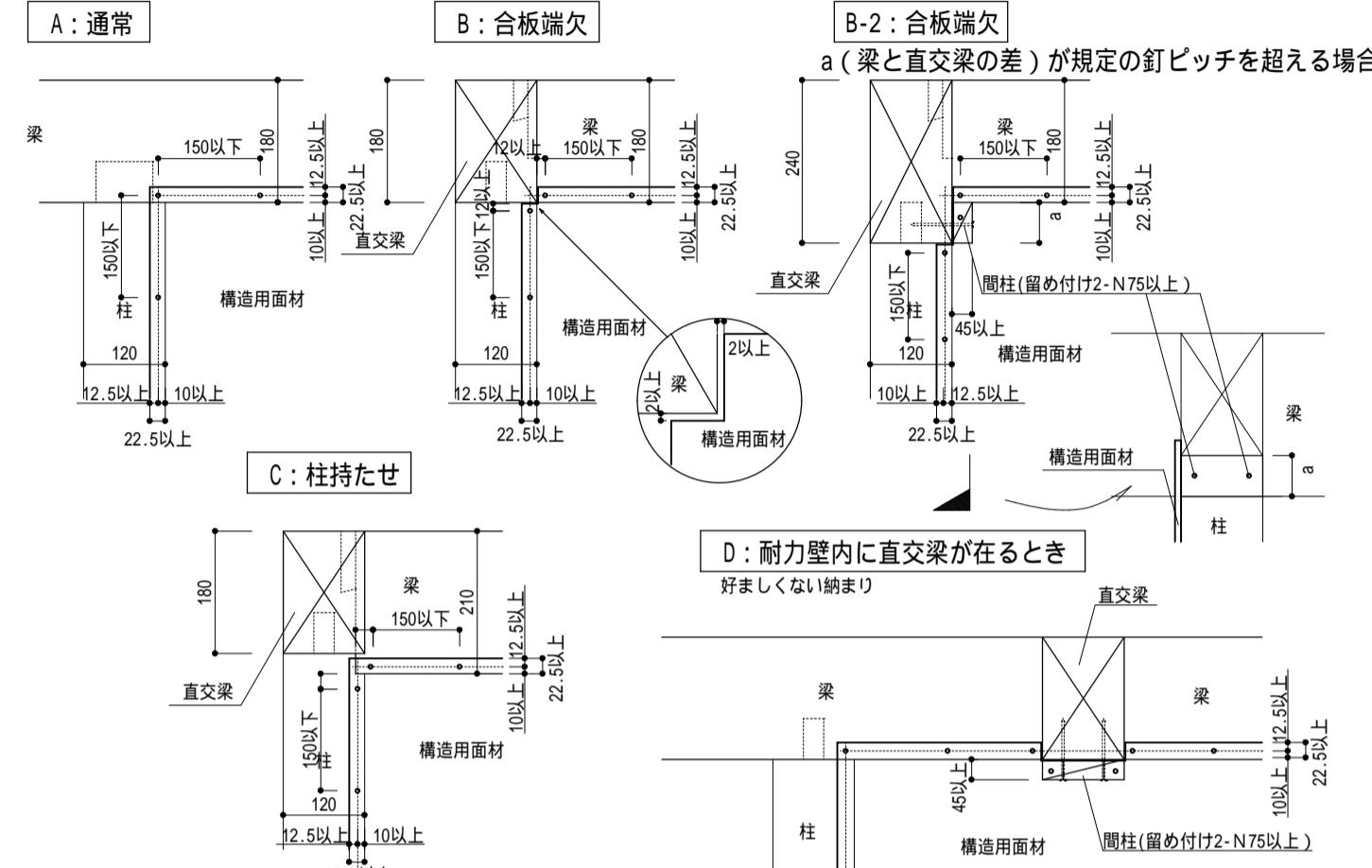
## 6B. 昭56建告第1100号第1第一号に基づく面材張り大壁耐力壁納まり図

(注) (単位)mm

### <共通事項>

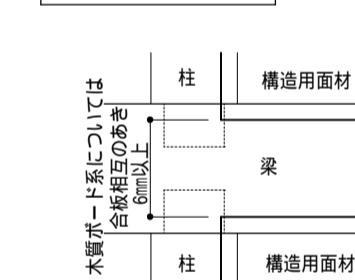
- ・面材は、9mm以上を標準とする。
- ・梁仕口部及び柱頭柱脚部の接合金物は、木造軸組接合部標準図(2)を参照すること。
- ・間柱・受材・筋違等構造に関わる羽柄材の品質については、未乾燥材および皮付き材は不可とし、四面ビン角、ねじれ、反りの無い物とすることを原則とする。
- ・釘ピッチの基準は使用釘本数を満たしている必要がある。記載のピッチは「辺の長さ + ピッチ + 1本」と読むこととする。
- ・開口直下の梁への間柱欠きは、原則行わない事。
- ・間柱(受材)を梁等へ留め付ける場合、釘及び木質構造用ビスの長さは、受け材厚さの2.5倍以上を標準とする。
- 受け材厚30mmの場合は、N75、CN75以上
- 受け材厚45mm(耐力壁:水平力のみを負担する場合)は、N90、CN90(真壁の受け材留め付けと合わせる)以上
- 受け材厚45mm(水平構面:鉛直力と水平力を負担する場合)は、N115、木質構造用ビスL110以上

### 1. 直交梁との取り合い

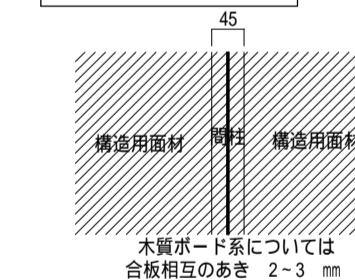


### 4. 面材相互あきのルール

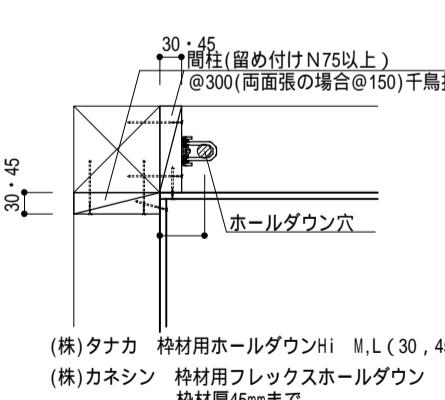
#### A: 上下面材あき



#### B: 間柱取付面材あき

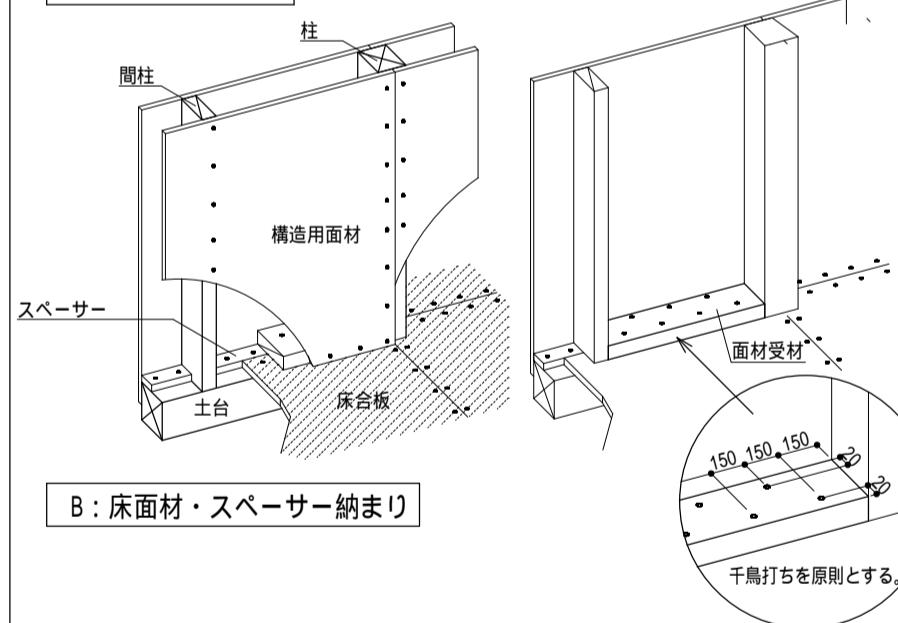


### 5. 入隅時納めおよび 柱材用ホールダウン納め



### 6. 床勝面材との取り合い

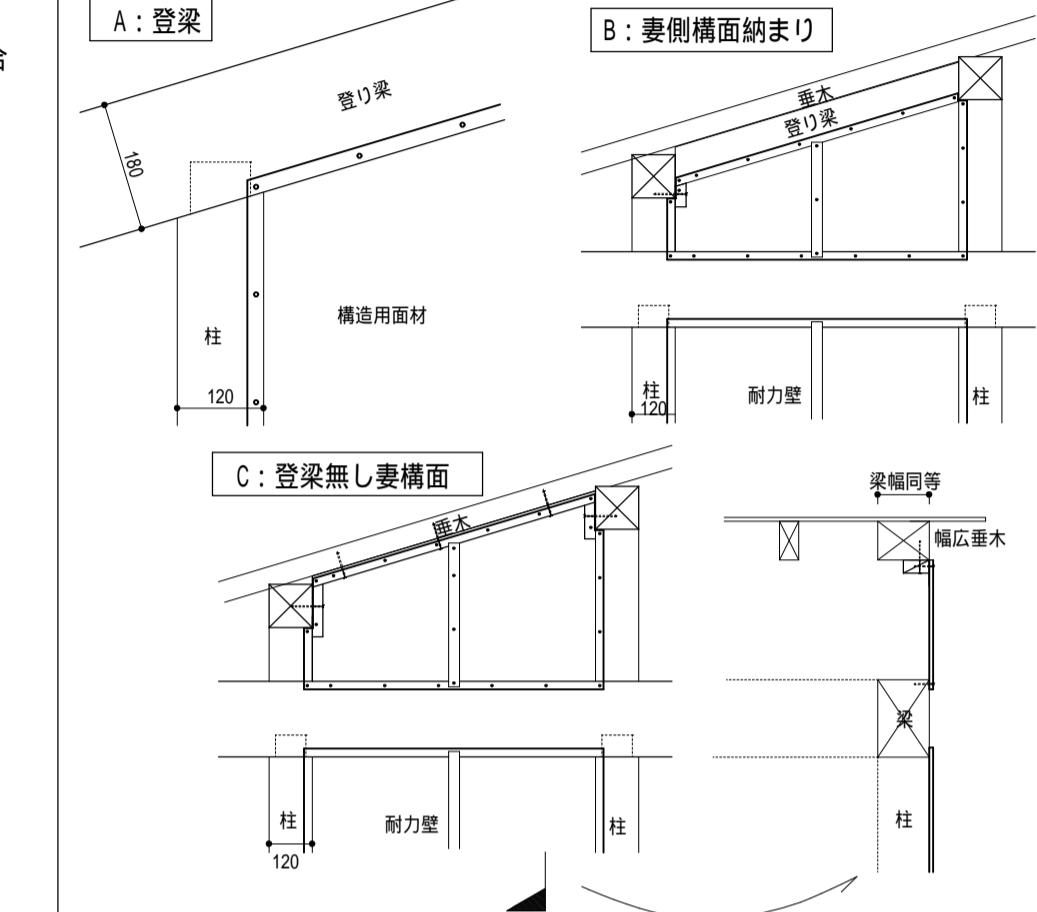
#### A: 面材受材納まり



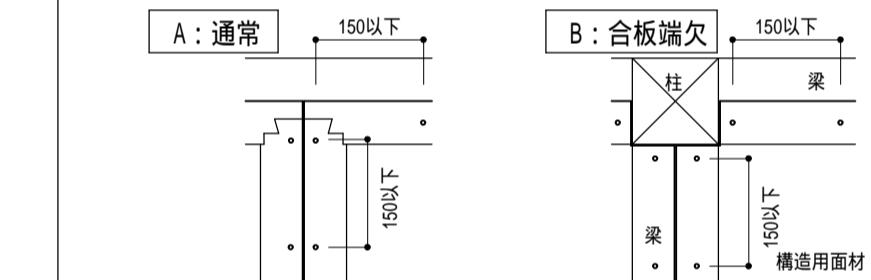
#### B: 床面材・スペーサー納まり



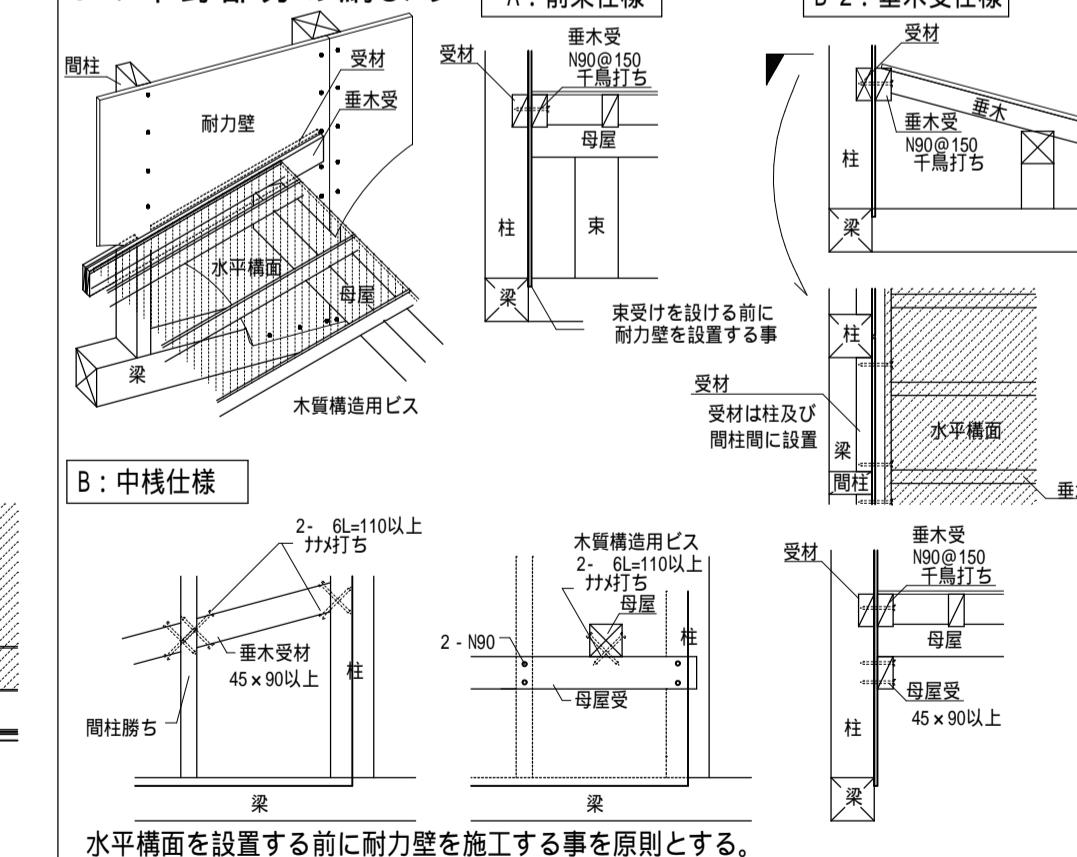
### 2. 勾配屋根の納まり



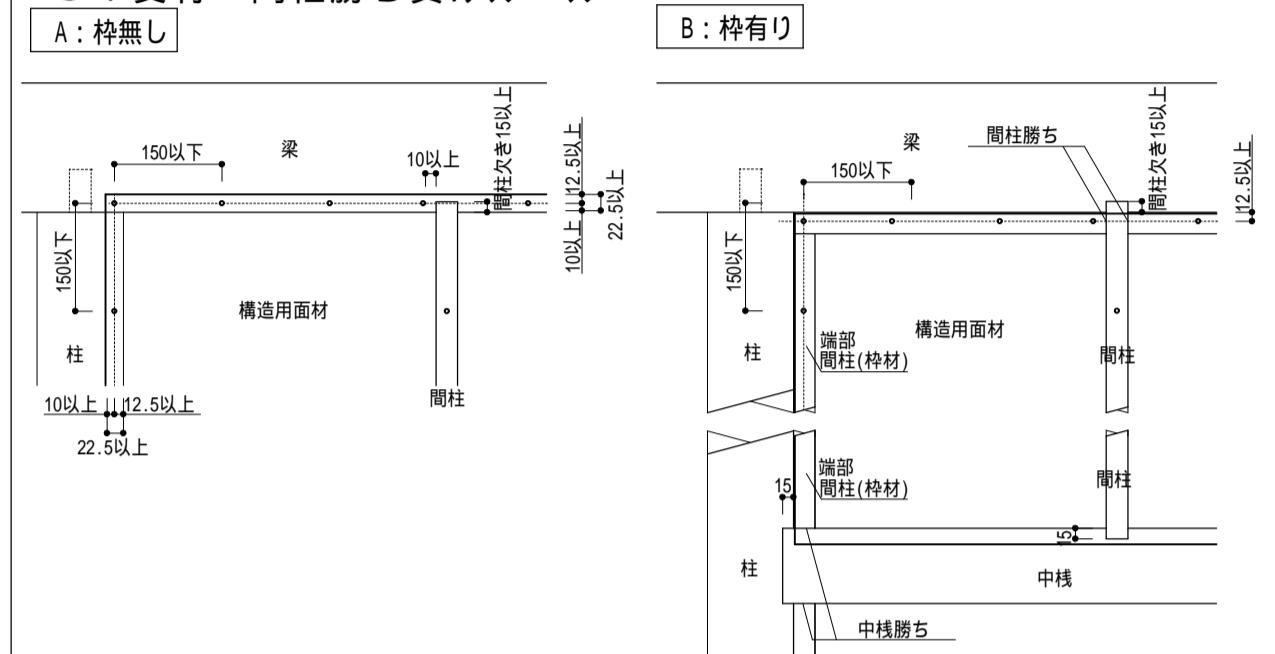
### 7. 水平構面



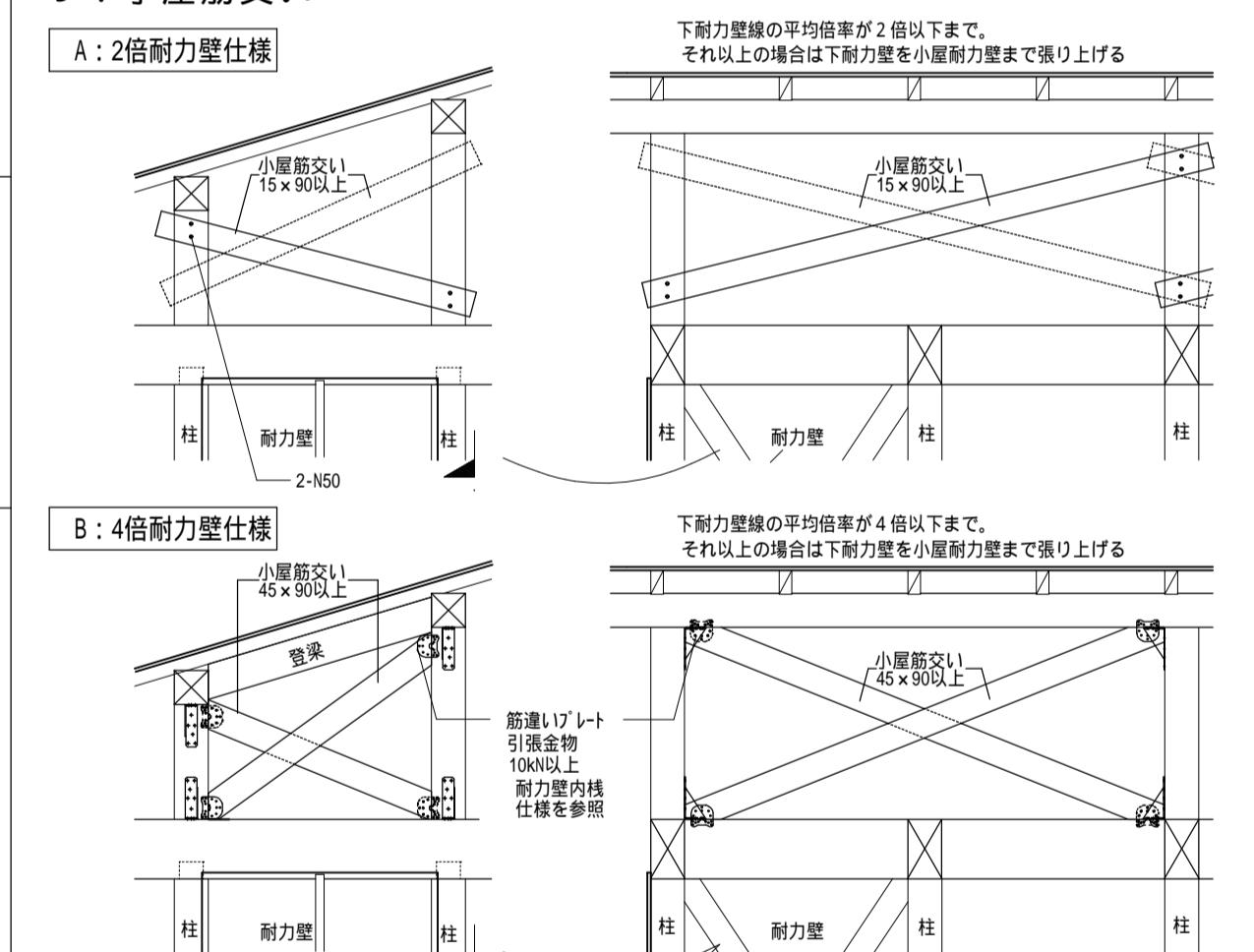
### 8. 下野部分の納まり



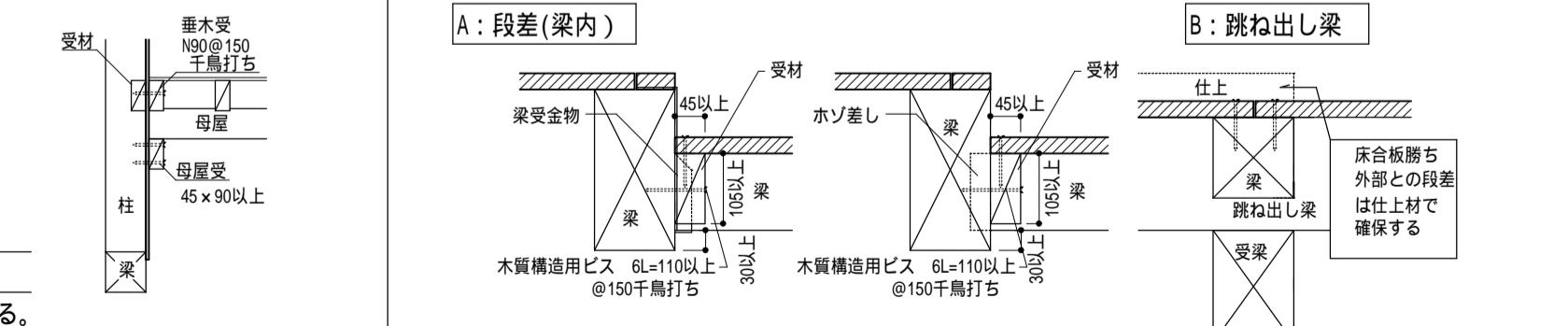
### 3. 受材・間柱勝ち負けルール



### 9. 小屋筋交い



### 10. 段差



一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会

工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No.	A-31
図面名	木造軸組接合部標準図(3B)	令和7年度	

宇治市役所建設部施設建築課



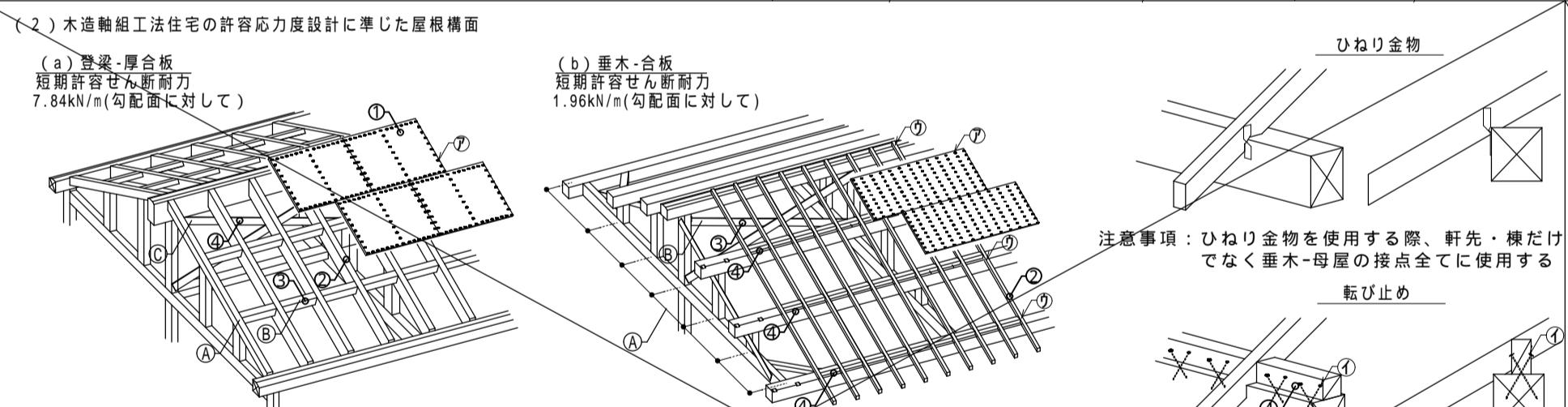
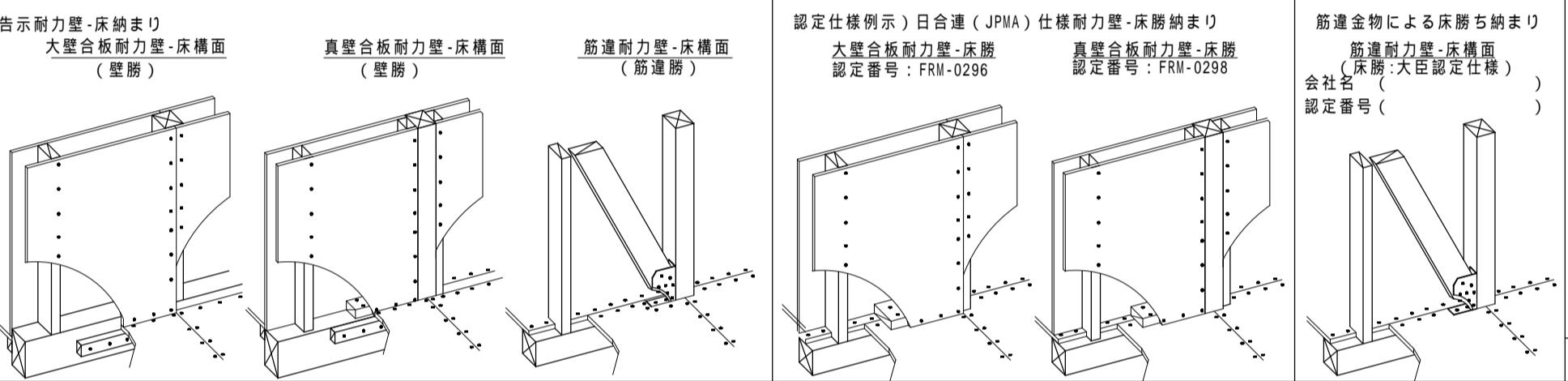
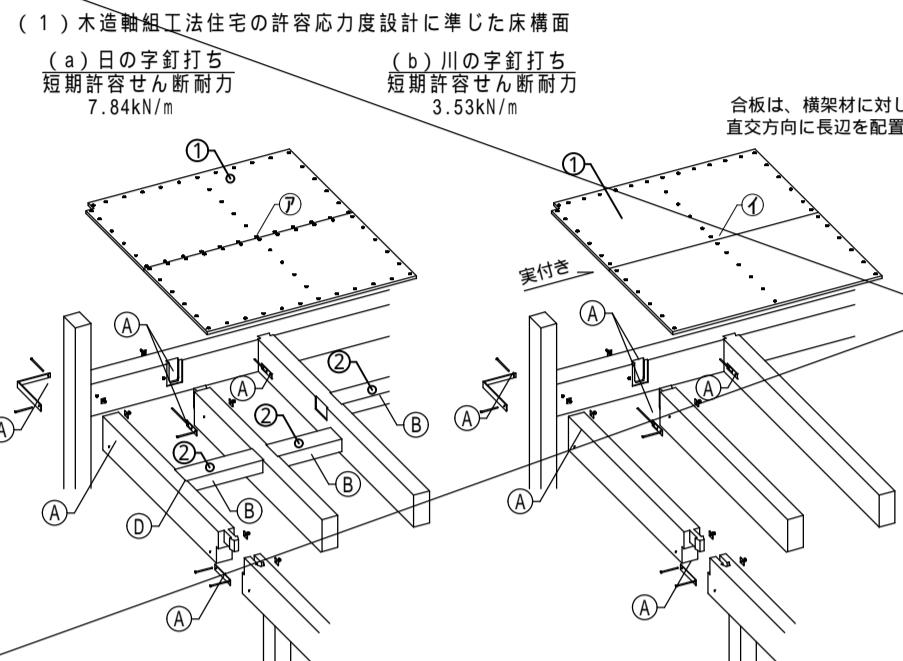
# 木造軸組接合部標準図(4)

## 7. 水平構面

### 7.1 共通事項

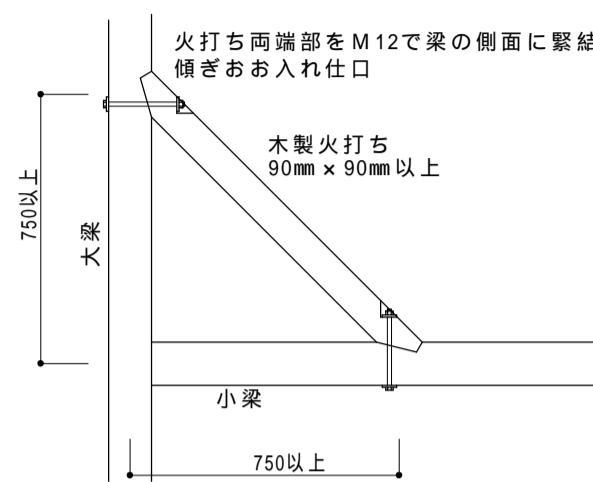
- 各部仕口形状は、(3)高耐力仕様屋根・床水平構面を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。
- 木造軸組み工法住宅の許容応力度設計(2008年)の詳細計算法による水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- 指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様に準拠することとする。

### 7.2 水平構面の仕様



## 火打ち

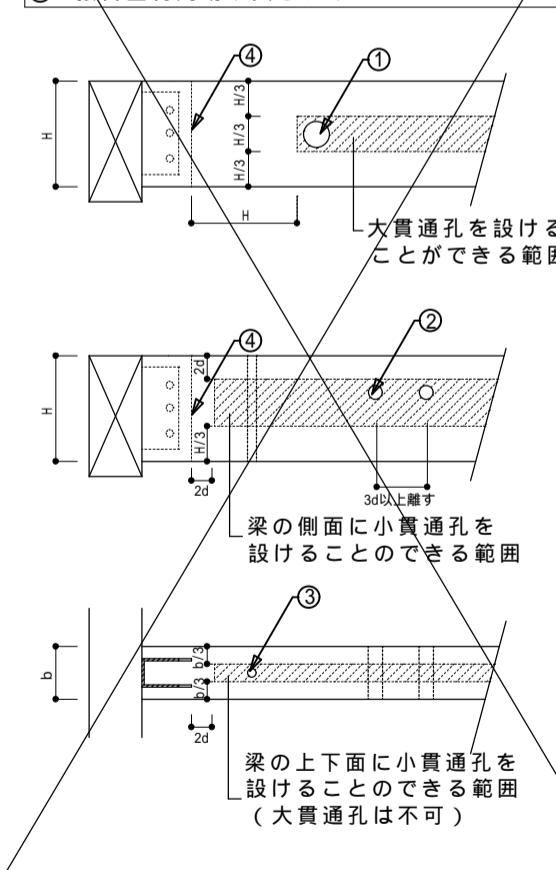
鋼製火打ちはZマーク同等以上とする。  
 木製火打ちと鋼製火打ちは併用は不可とする。



## 8. 貫通孔

### 8.1 梁貫通孔の条件及び仕様

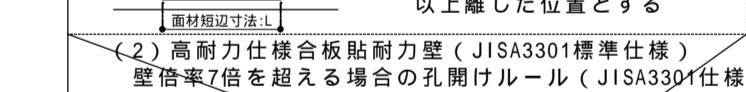
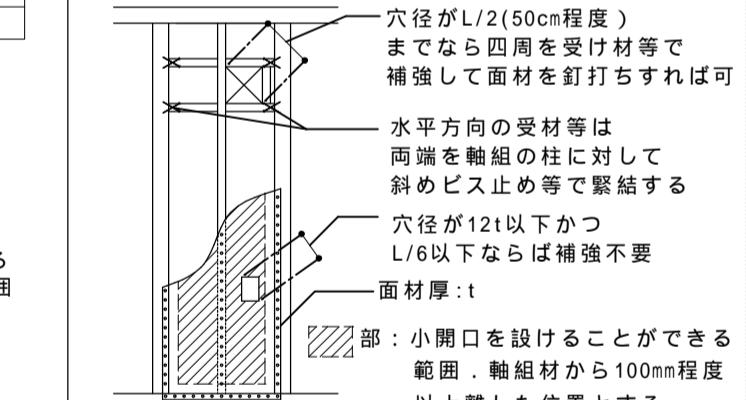
- 大貫通孔: d H/4かつ150mm
- 小貫通孔: d 30mm(隣り合う孔は3d以上離す)
- 縦貫通孔: d b/6かつ30mm
- 接合金物用切り欠きライン



### 8.2 耐力壁貫通孔

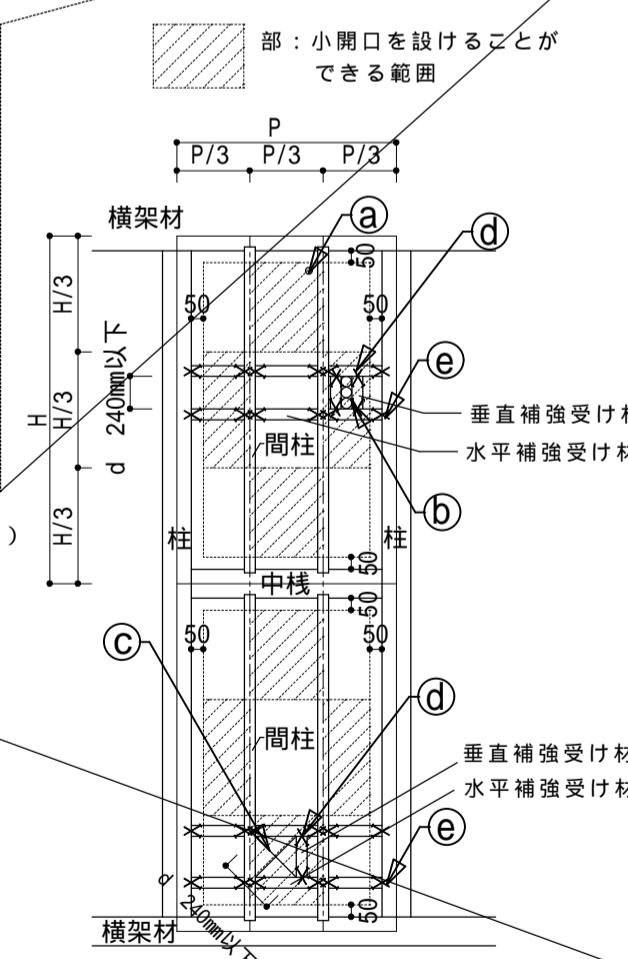
- (1) 小開口付耐力壁：木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)  
 壁倍率7倍までの孔開けルール

剛性・耐力に影響しない面材耐力壁の小開口の設け方



(2) 高耐力様合板貼耐力壁 (JISA3301標準仕様)  
 壁倍率7倍を超える場合の孔開けルール (JISA3301仕様)

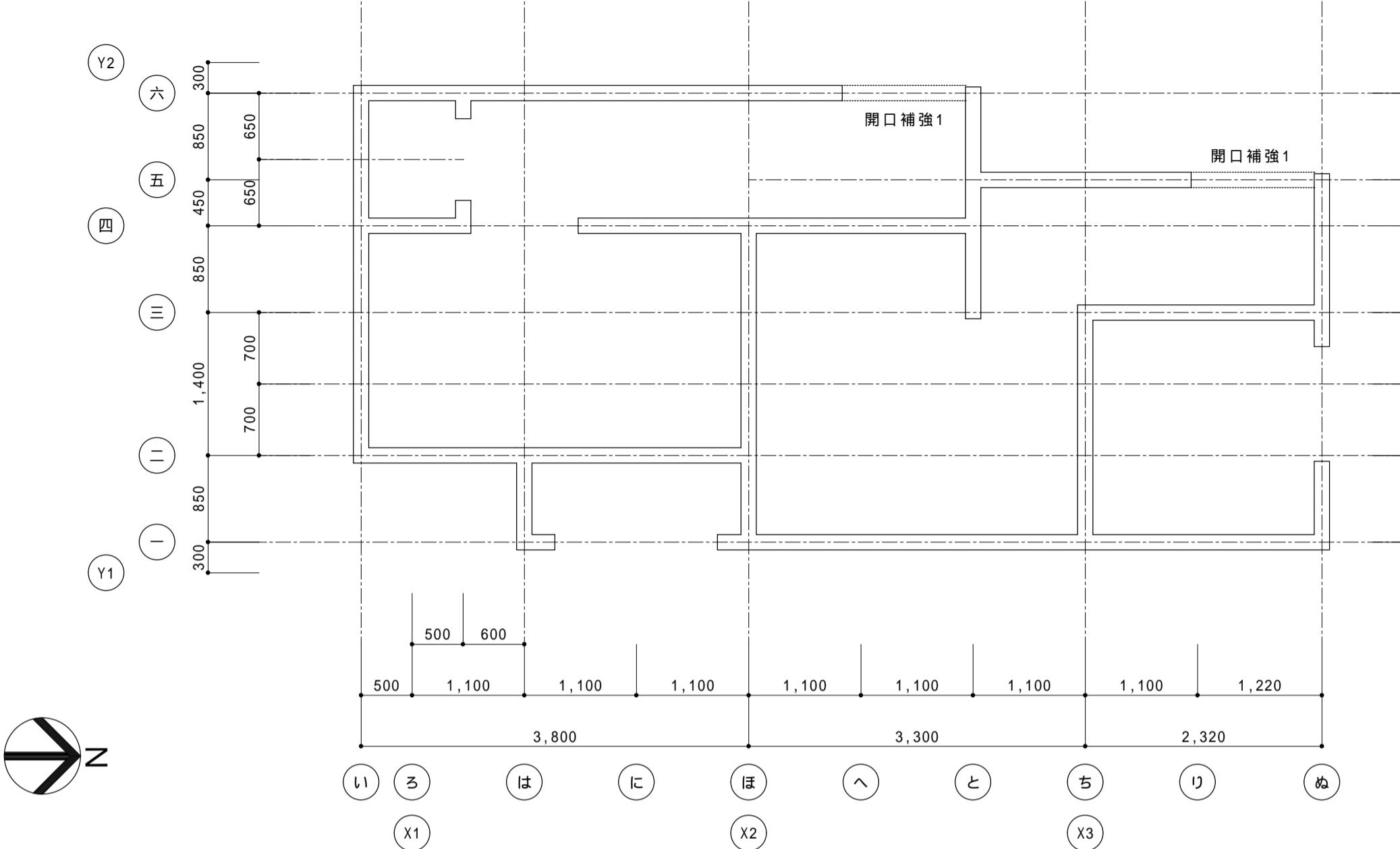
- a) 貫通孔基準  
 ① 大貫通孔(d 30mm)：1区画につき1か所までなら補強不要  
 ② 小貫通孔×3(外接円の径d 240mm)：四周を補強受材で補強  
 面材1枚につき1か所のみ可
- b) 貫通孔(d 240mm)：四周を補強受材で補強  
 面材1枚につき1か所のみ可
- c) 合板がら補強受材へN50@90mmで釘打ち  
 補強受材は間柱と同寸以上の断面
- d) 補強受け材の留め付けは斜めビス2本止め



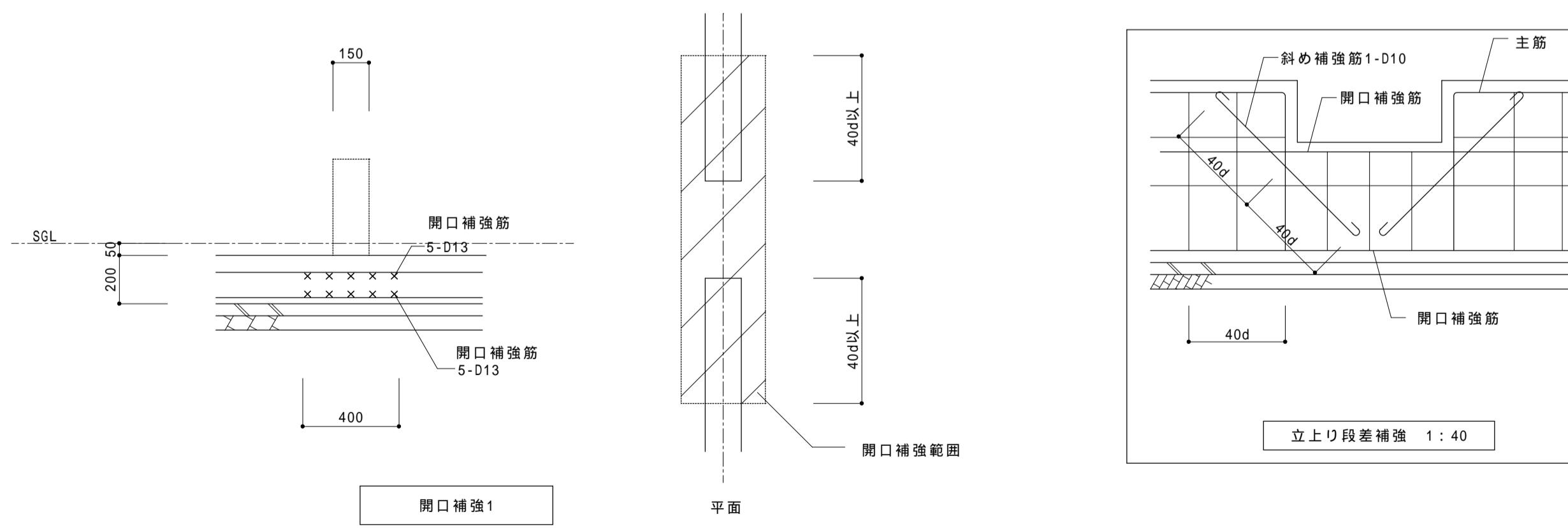
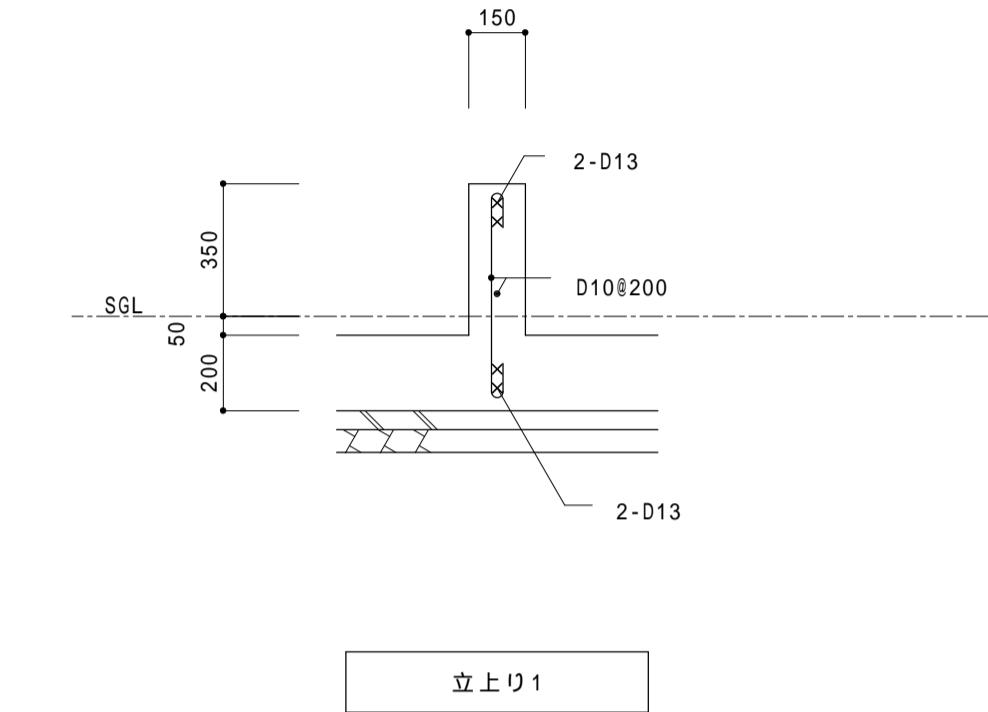
一般社団法人 中大規模木造プレカット技術協会

工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No.	A-33
図面名	木造軸組接合部標準図(4)	令和7年度	

宇治市役所建設部施設建築課



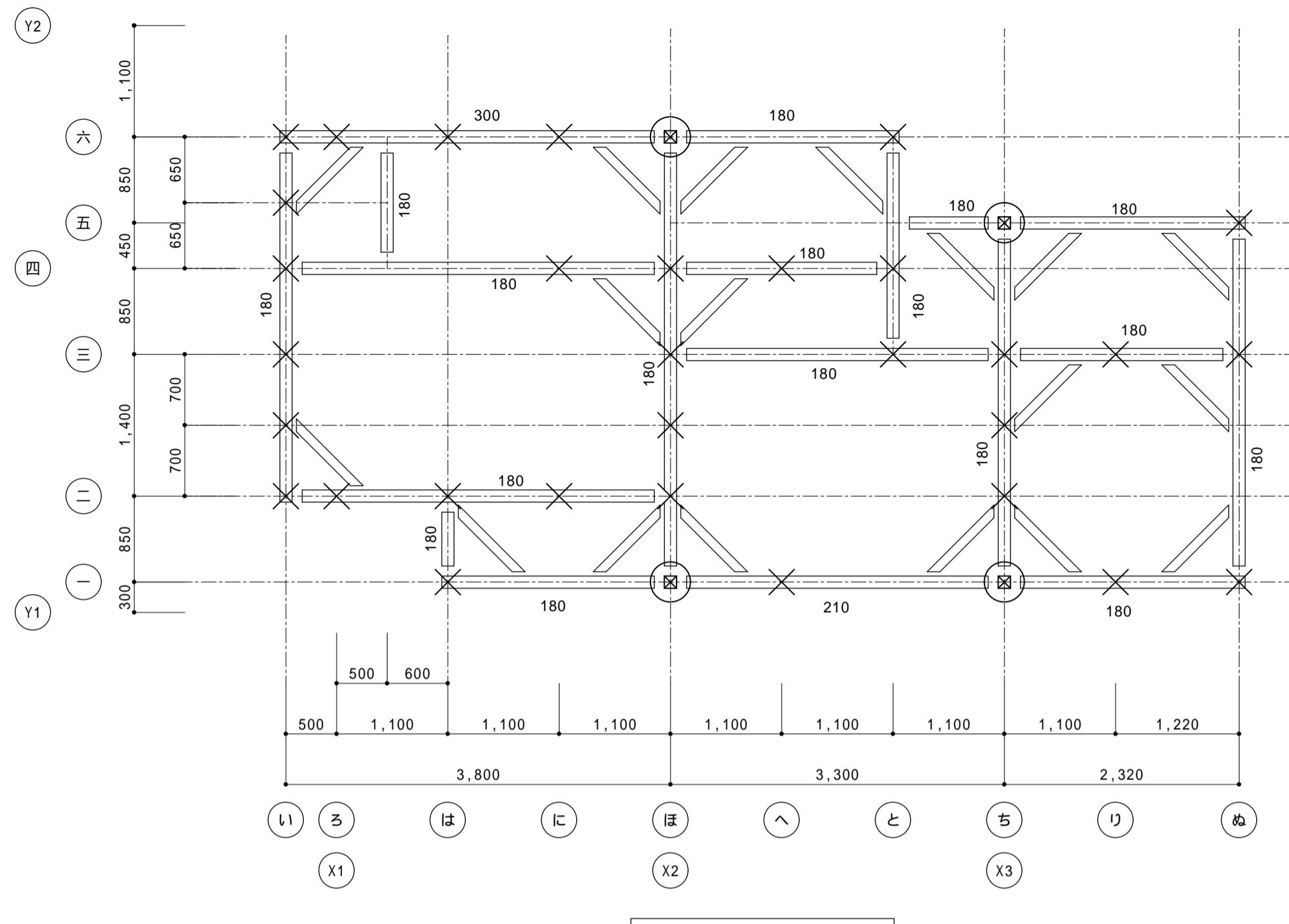
特記なきは立上り1とする。



基礎リスト 1/20 共通事項(特記なき限り)  
。巾止め筋は、D10@1,000とする。

工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No.	A-34
図面名	木部 基礎伏図	令和7年度	

宇治市役所建設部施設建築課



記号	
■	柱 105×105 杉 無等級
◎	通し柱を示す。
○	束 105×105 杉 無等級 記入なき束位置は意匠図による。
×	下階柱、下階束
180	梁 無等級 杉 を示す。 梁幅は105とする。 数字は梁せいとする。
	構造用合板 t9.0以上
	— 土台 105×105
	桧 無等級とする。
◎	土台アンカーボルト: M12 埋込長さ=250以上 @ 2.0m以内
	各通り耐力壁周辺は記号本数以上とする。 その他のアンカーボルト位置は 標準図S-05「3.アンカーボルト」による。
	座金 ホールダウンコーナー 10kN用の 取り付く柱周辺の土台アンカーボルト座金は $t = 6\text{mm}$ 60mm角とする。 それ以外は $t = 4.5\text{mm}$ 40mm角とする。

床構造用合板外周部継手金物の内、横架材どうしの接合部  
T1は腰掛け蝶、もしくは、大入れ蝶掛け  
+ (羽子板ボルト、又は、短冊金物)  
特記なき横架材どうしの接合部はT1に準ずる  
横架材と通し柱の接合部  
J1は大入れねじ差し、もしくは、傾ぎ大入れ  
+ (羽子板ボルト、又は、短冊金物、又は、かね折り金物)  
特記なき横架材と通し柱接合部はJ1に準ずる

柱頭柱脚金物	
記号	
LC	5kN用引き寄せ金物(リトルコーナー等)
10	10kN用引き寄せ金物
15	15kN用引き寄せ金物

金物は意匠性に配慮し、監理者と協議の上決定すること。

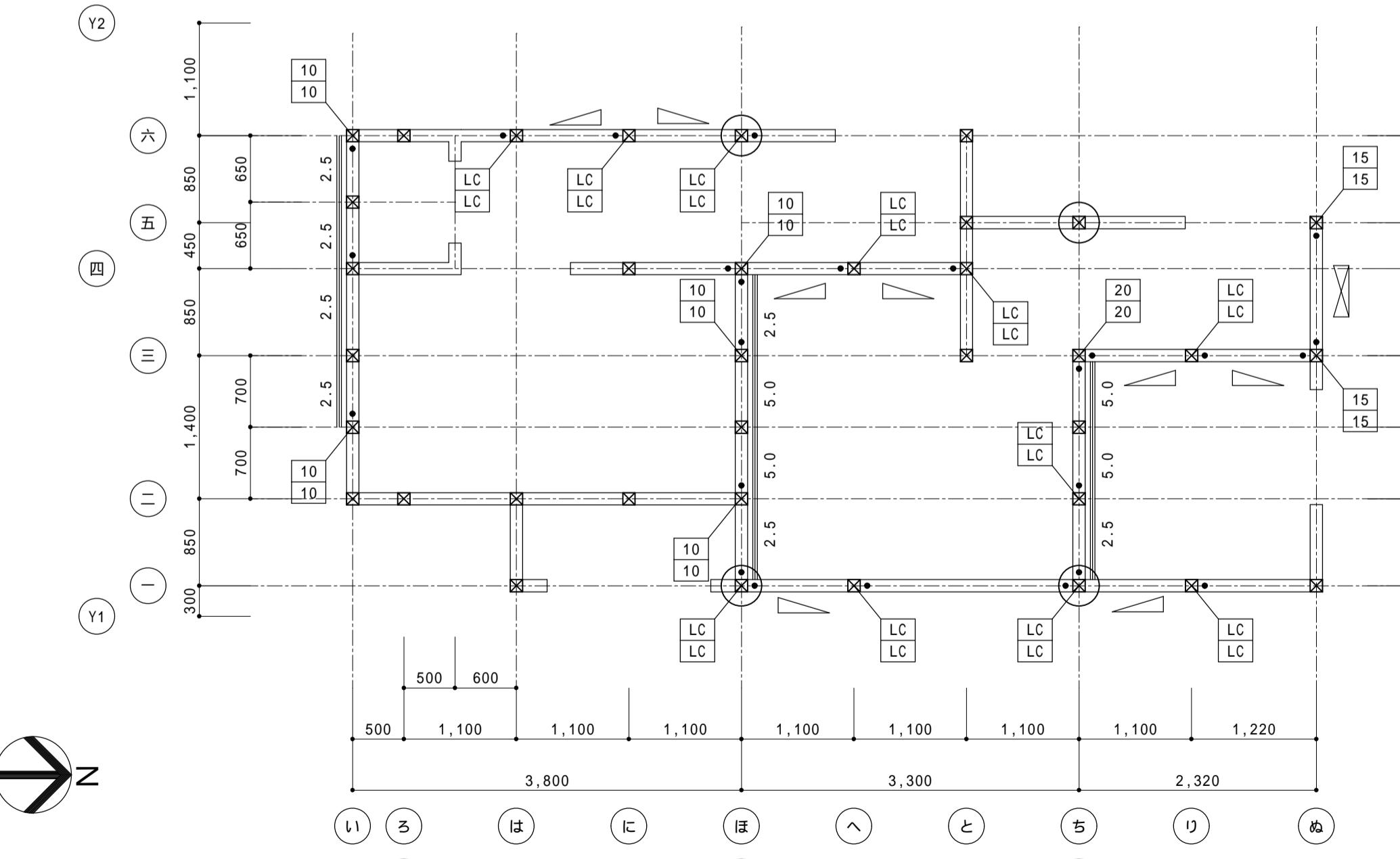
\*\* : 柱頭柱脚金物を表す

すじかいプレートは柱梁に両方に取りつくものとする

特記無き建物の柱の柱頭柱脚にも  
5.0kN以上の引き抜き耐力のコーナー金物や短冊金物等を配置すること  
鉄骨大梁下部にある木柱・束はGPLにドリットビン 12等で接続すること。

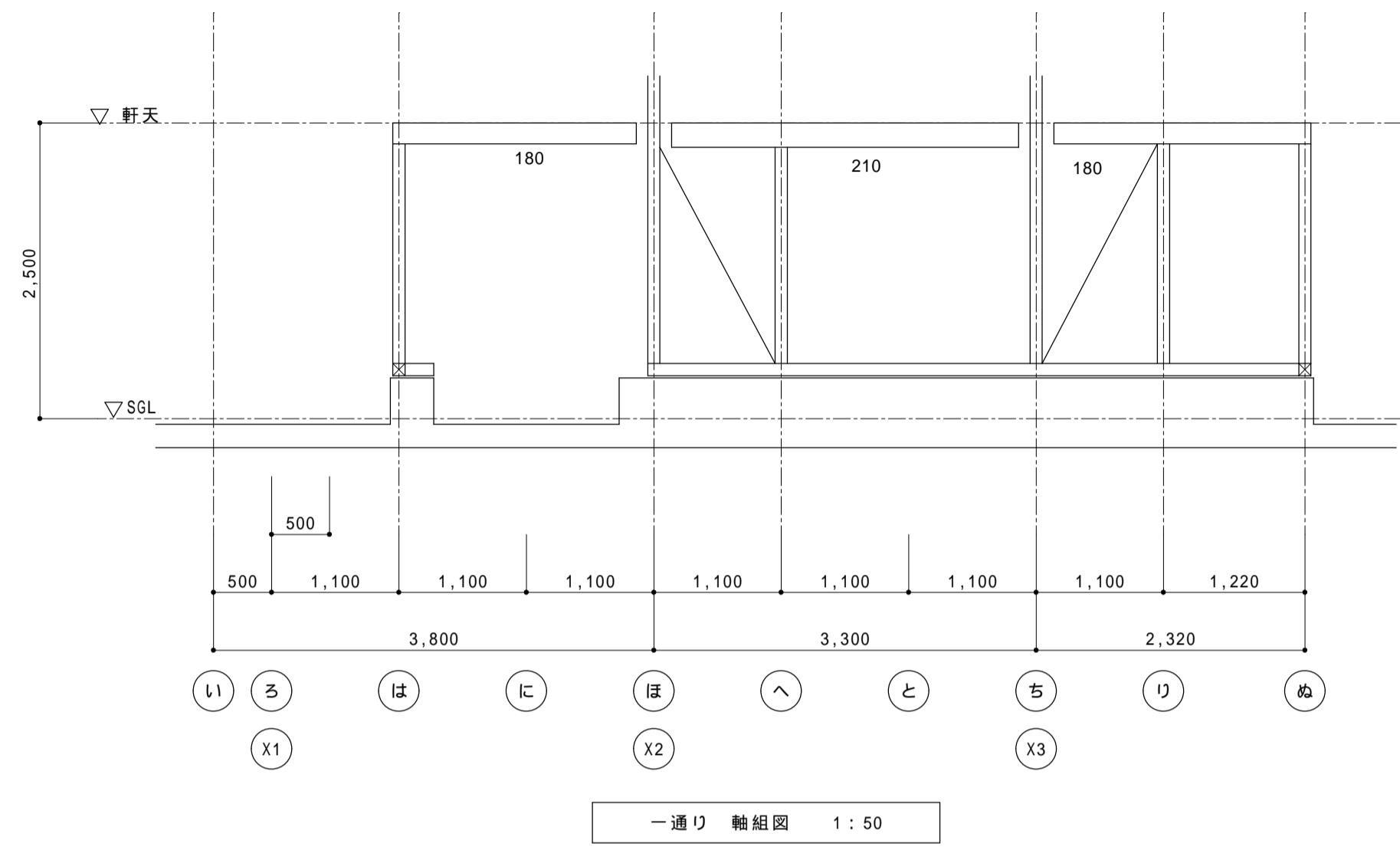
ホールダウンコーナーを使用する場合は10kN用までとし、  
15kNを10kN+5kNでの代用は不可とする。

アンカーボルト  
ホールダウンM16でJ型及びL型アンカーホルトを用いる場合は  
埋込長さを下記長さ以上とし、  
コンクリート打設前にアンカーをセットすること  
引き抜き耐力25kN以下の場合 360mm以上  
引き抜き耐力25kNを超える場合 510mm以上  
標準図S-05「3.アンカーボルト」を参照

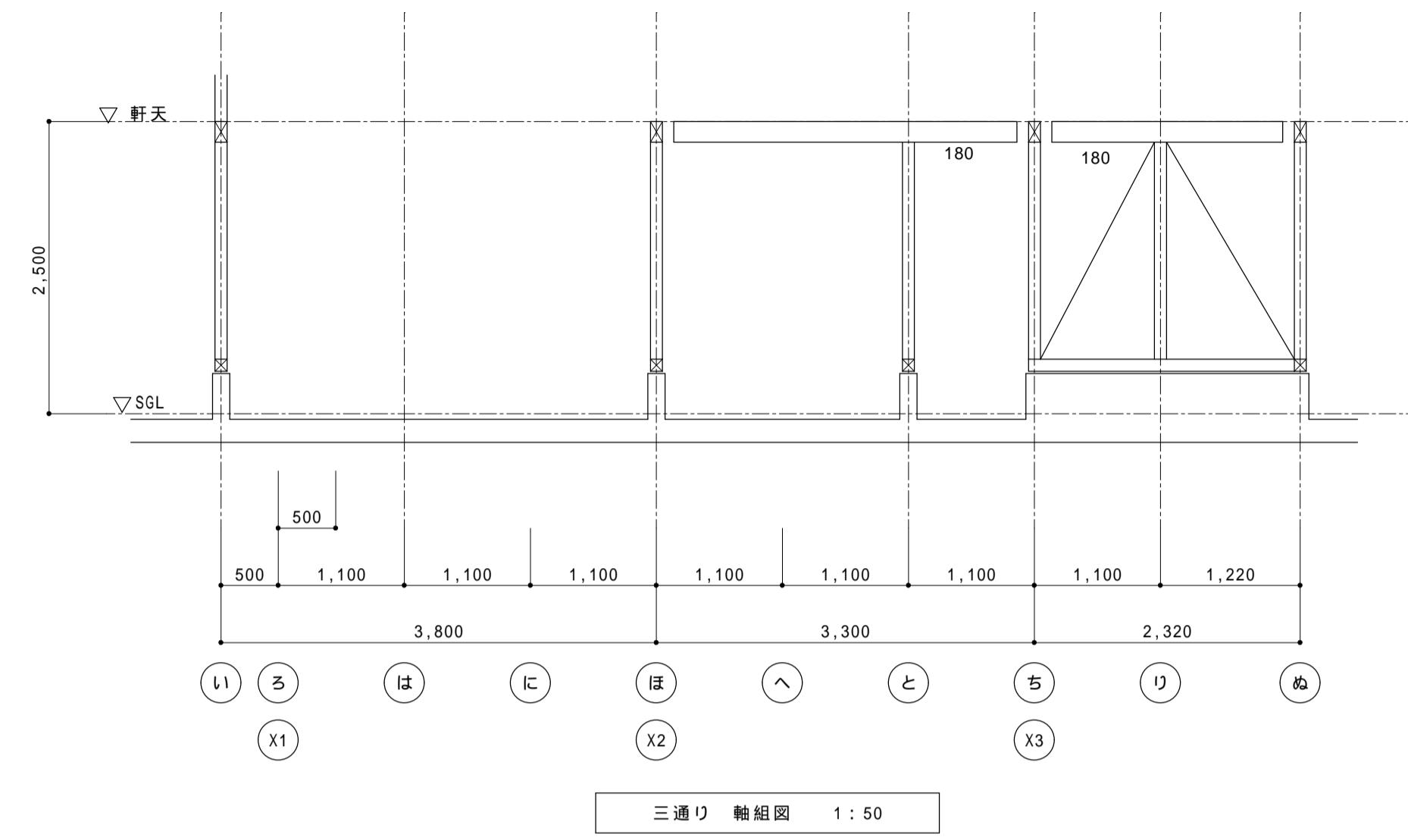


工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No.	A-35
図面名	木部 伏図	令和7年度	

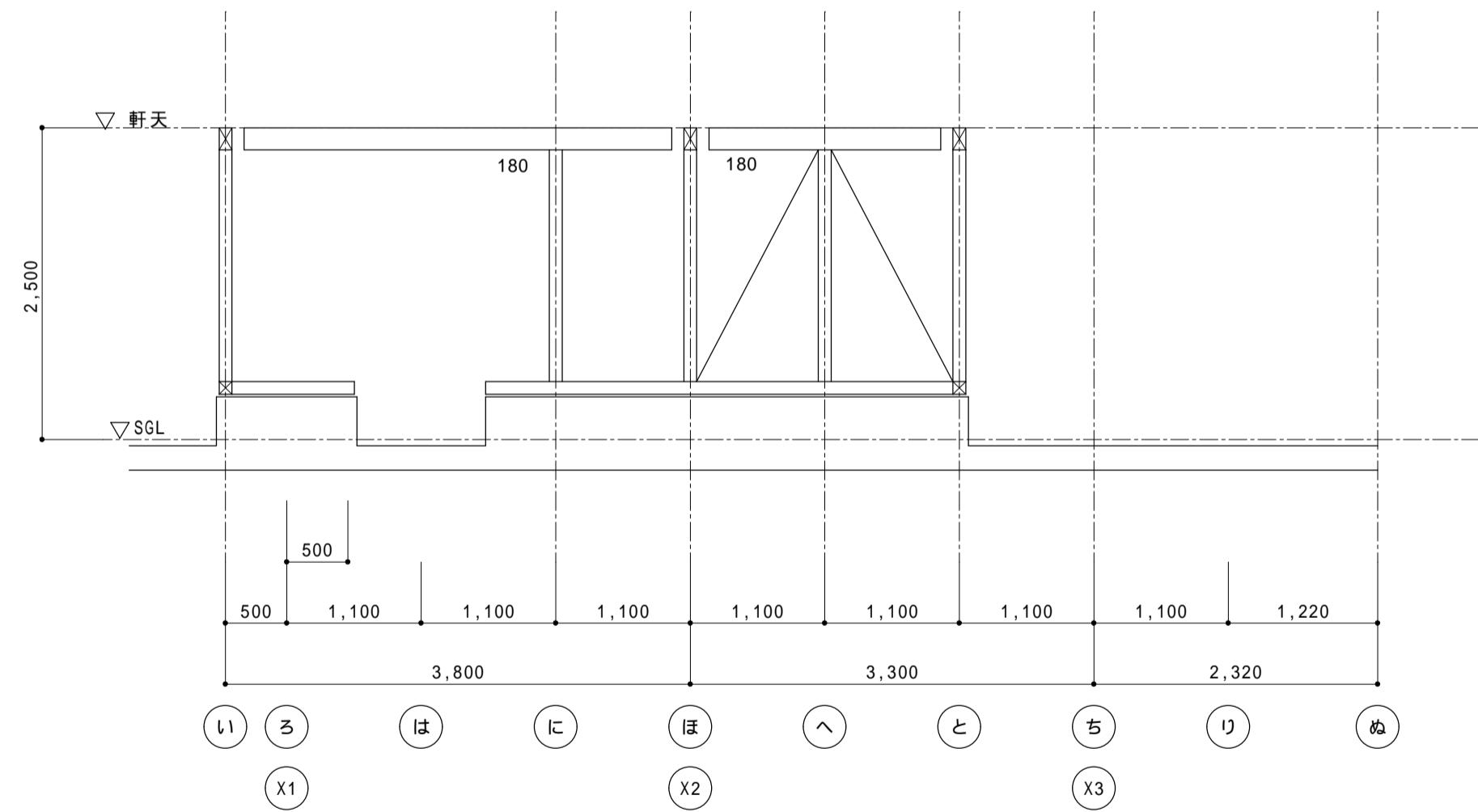
宇治市役所建設部施設建築課



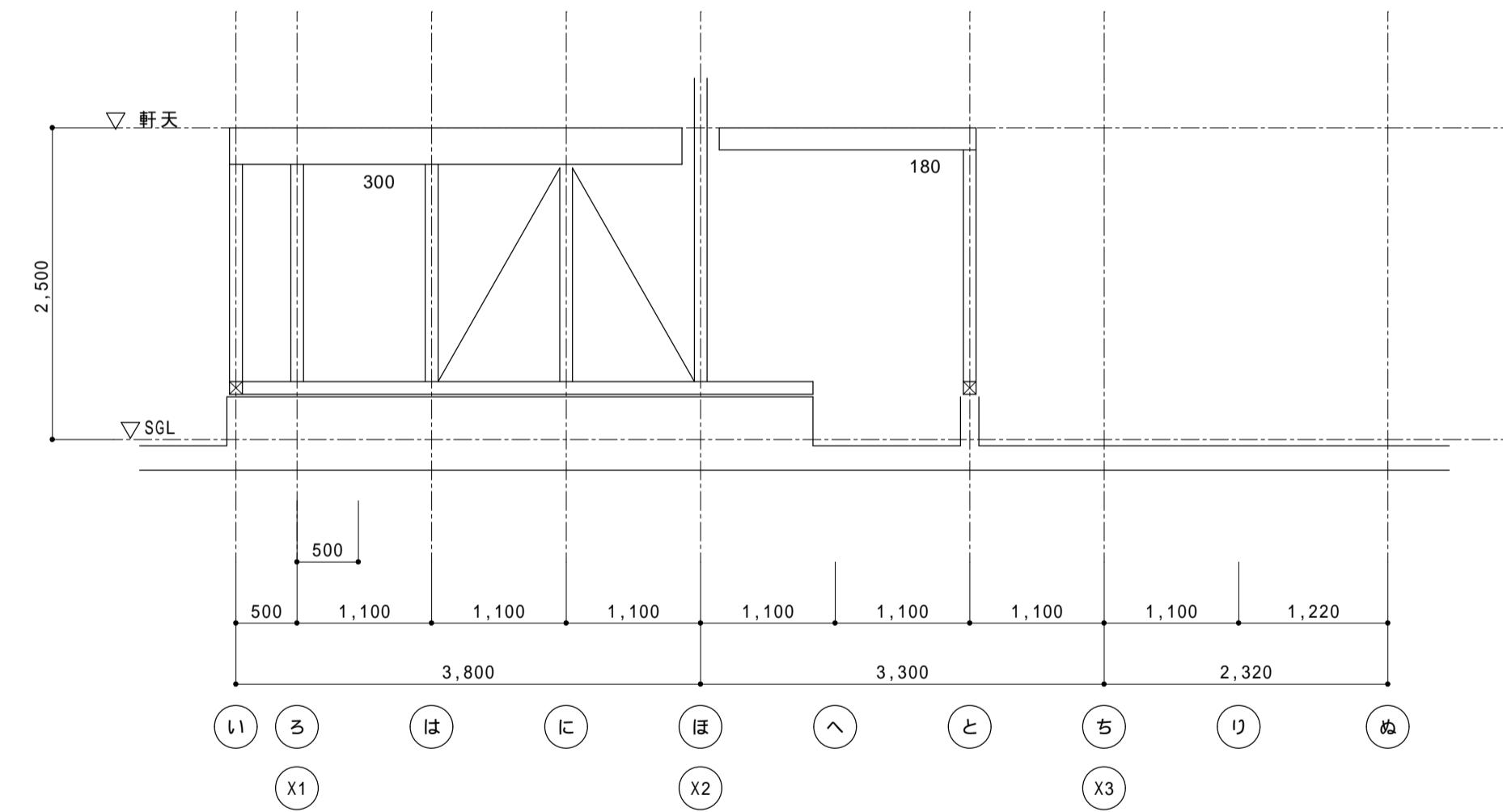
一通り 軸組図 1 : 50



三通り 軸組図 1 : 50

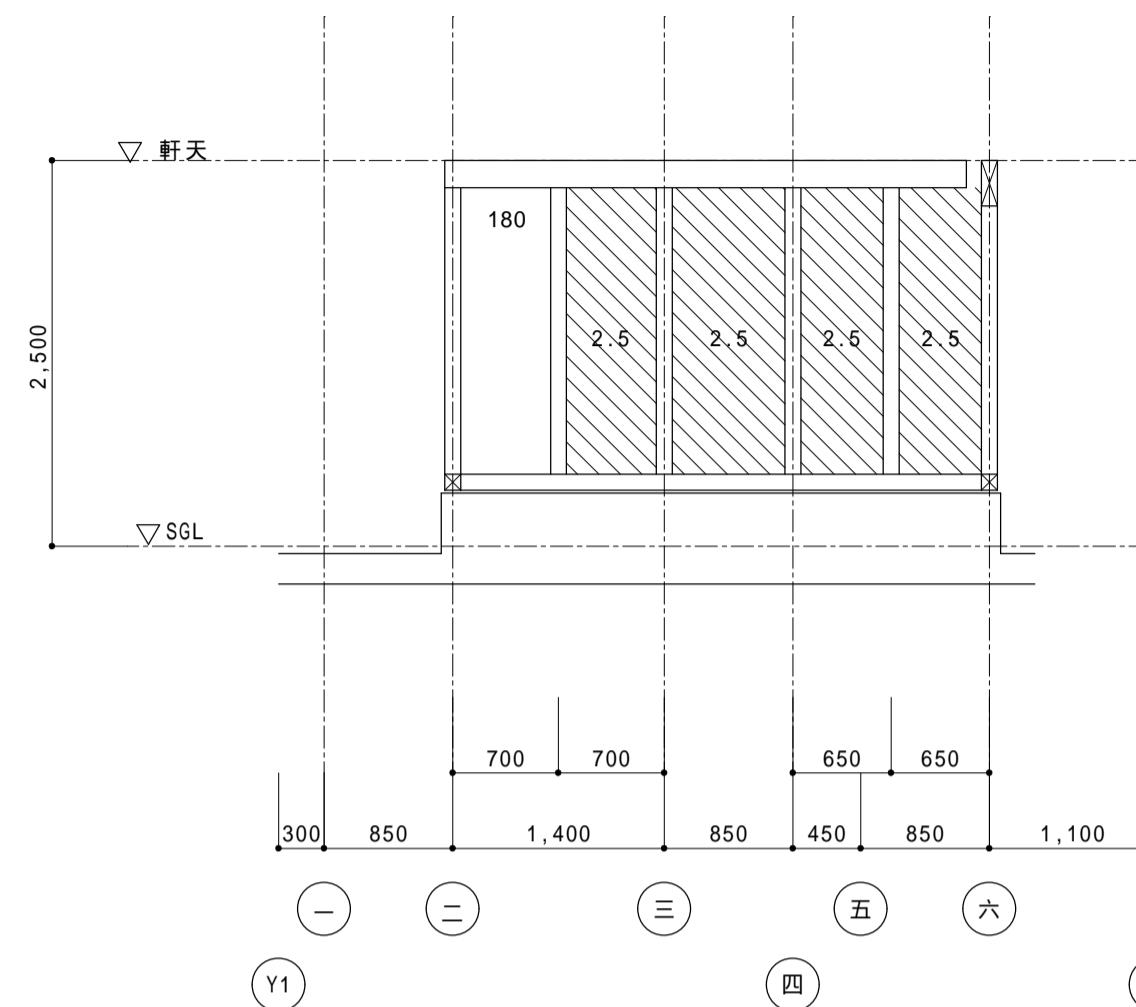


四通り 軸組図 1 : 50

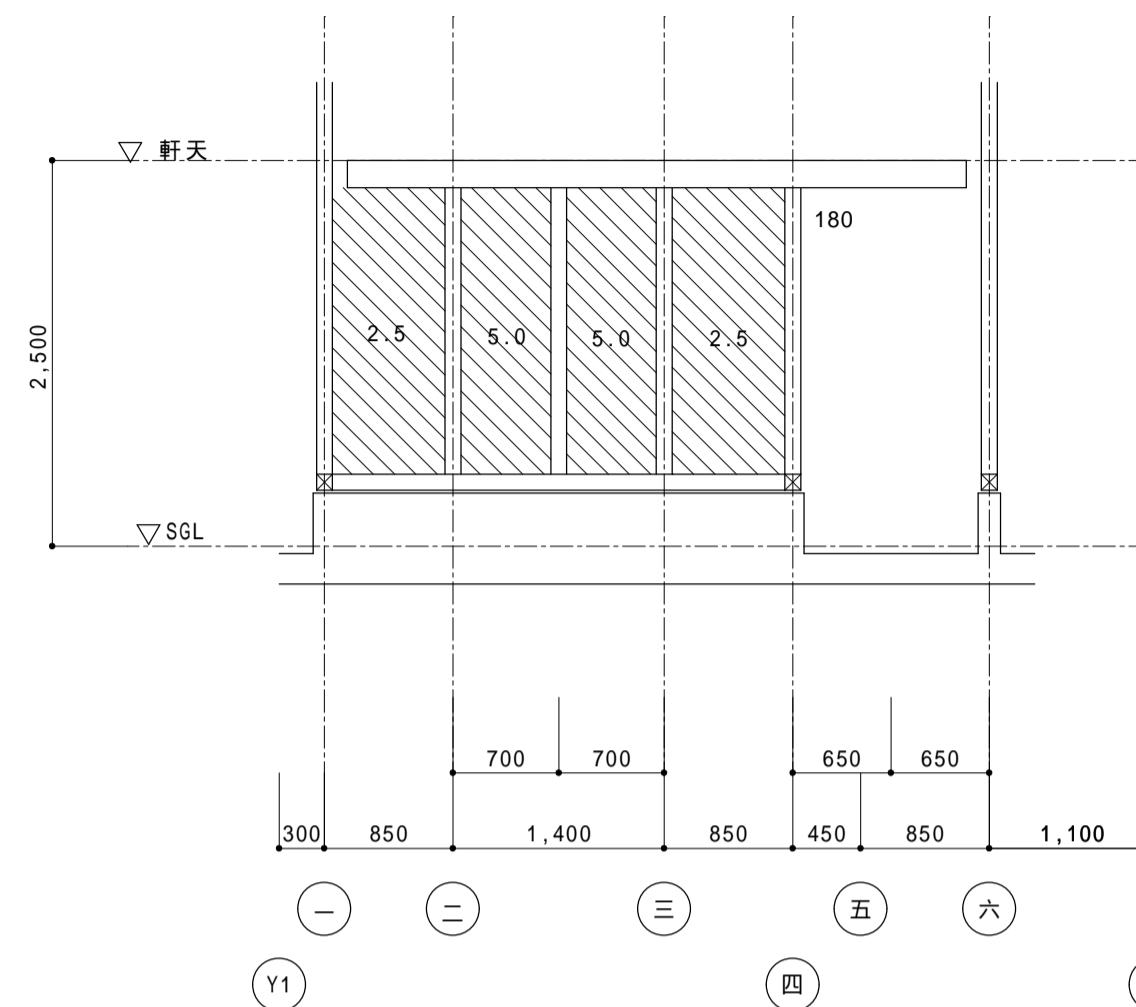


六通り 軸組図 1 : 50

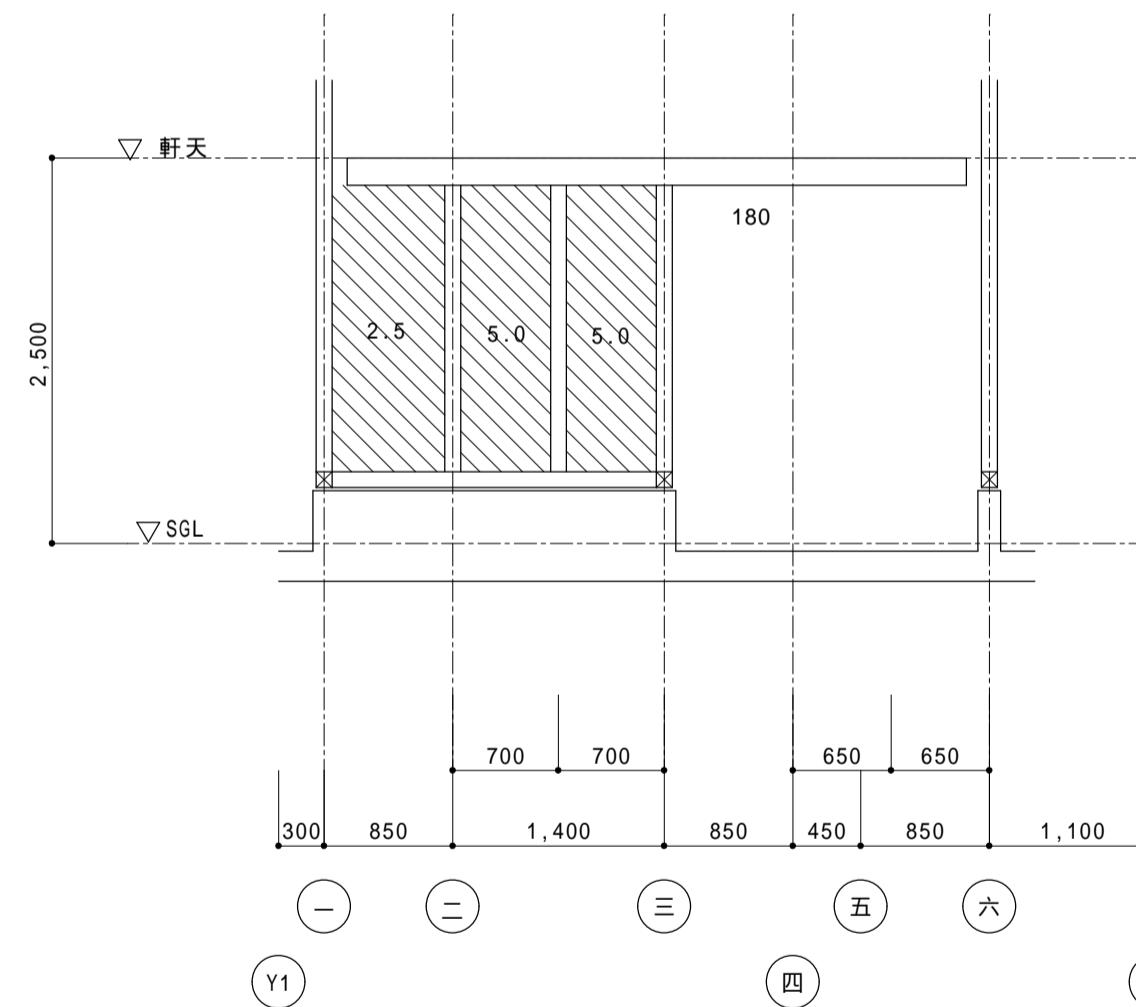
工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事（休憩施設等）	No. A-36
図面名	木部 軸組図1	令和7年度
宇治市役所建設部施設建築課		



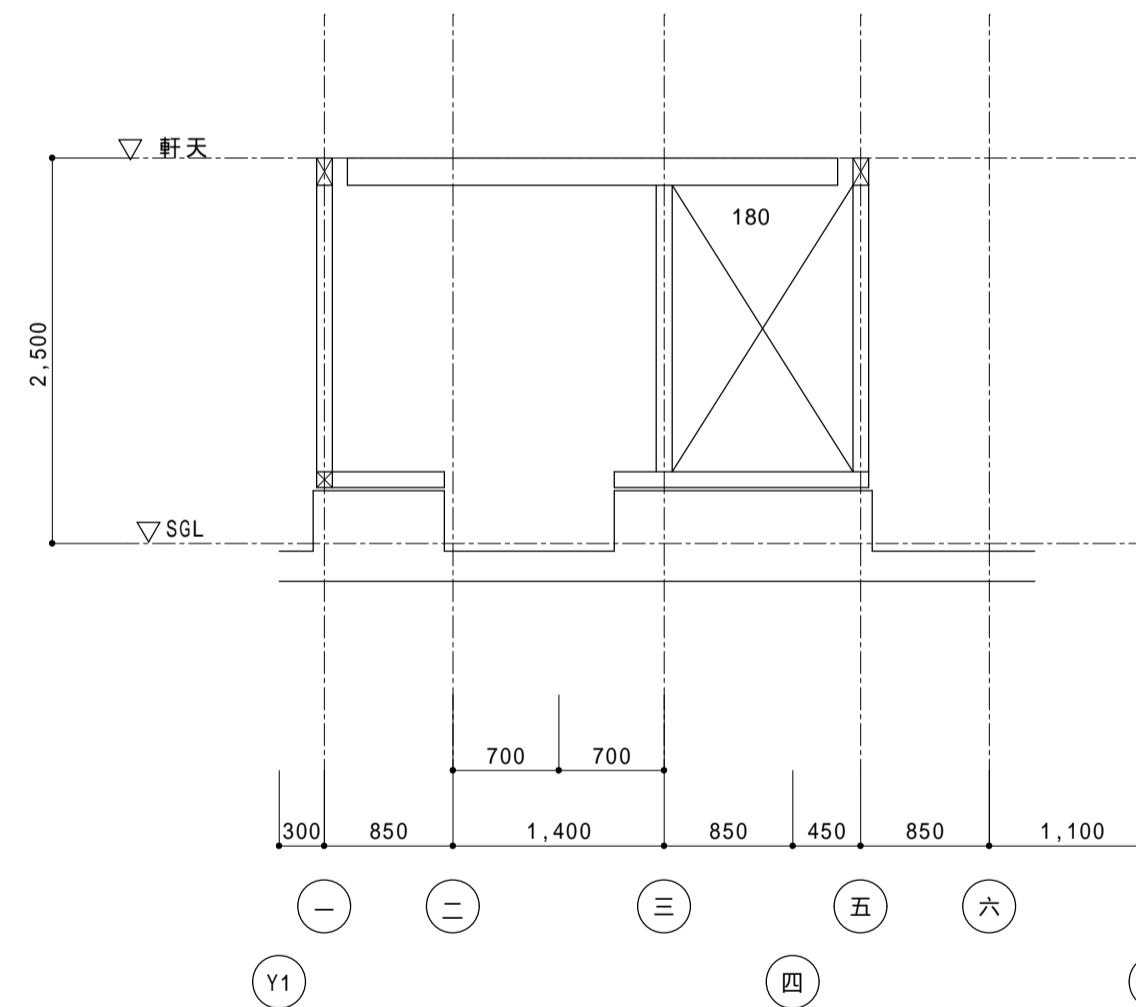
い通り 軸組図 1:50



ほ通り 軸組図 1:50



ち通り 軸組図 1:50



ぬ通り 軸組図 1:50

工事名	天ヶ瀬ダムかわまちづくり広場等整備工事(休憩施設等)	No.	A-37
図面名	木部 軸組図 2	令和7年度	

宇治市役所建設部施設建築課